

高山市まちづくりアンケート調査  
—報告書—

(市民アンケート編)

平成25年10月

高山市

# 目次

## 第1章 調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査の期間	1
3	調査の項目	1
4	調査の方法	1
5	回収結果	1
6	標本の構成	2
7	その他	2

## 第2章 調査結果の分析

### 1 高山市への想いや生活環境について

1	高山市への「誇り」や「愛着」	3
2	高山市への定住意向	7
3	高山市の暮らしやすさ	15
4	日常生活での不安	21
5	働く場としての高山市の魅力	27

### 2 高山市の市政運営について

1	市政運営への関心	33
2	今後の重要課題	36
3	高山市の取り組みに対する満足度と重要度	43

### 3 市民（地域）と行政との協働によるまちづくりについて

1	町内会への加入状況	48
2	地域活動に参加しやすくするための条件	55
3	重点的に市民と行政が協働で取り組むべき分野	60
4	協働でまちづくりをすすめていくうえで望まれる施策	65

### 4 将来に向けた高山市のまちづくりへのご意見など

	自由記述	70
--	------	----

# 第1章 調査の概要

## 1 調査の目的

本アンケート調査は、高山市第八次総合計画の策定に向け、市民意識の把握・分析を行い、第七次総合計画の評価・検証や今後の政策立案の基礎資料として活用することを目的に実施。

## 2 調査の期間

平成25年5月17日～6月7日

## 3 調査の項目

高山市への想いや生活環境について

- ・高山市への「誇り」や「愛着」
- ・高山市への定住意向
- ・高山市の暮らしやすさ
- ・日常生活での不安
- ・働く場としての高山市の魅力

高山市の市政運営について

- ・市政運営への関心
- ・今後の重要課題
- ・高山市の取り組みに対する満足度と重要度

市民（地域）と行政との協働によるまちづくりについて

- ・町内会への加入状況
- ・地域活動に参加しやすくするための条件
- ・重点的に市民と行政が協働で取り組むべき分野
- ・協働でまちづくりをすすめていくうえで望まれる施策

将来に向けた高山市のまちづくりへのご意見など（自由記述）

## 4 調査の方法

調査地域 高山市内全地域

実施方法 郵送による配布・回収、無記名式

調査対象 18歳以上の市民、3,000人

抽出方法 平成25年5月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出

## 5 回収結果

発送数 3,000人

回収数 1,239人

回収率 41.3%

## 6 標本の構成

		件数 (件)	構成比 (%)
性別	男性	499	40.3
	女性	691	55.8
	無回答	49	4.0
年齢	10・20代	70	5.7
	30代	144	11.6
	40代	170	13.7
	50代	219	17.7
	60代	305	24.6
	70代以上	318	25.7
	無回答	13	1.1
	居住地域	高山地域	795
丹生川地域		66	5.3
清見地域		44	3.6
荘川地域		20	1.6
一之宮地域		29	2.3
久々野地域		56	4.5
朝日地域		26	2.1
高根地域		9	0.7
国府地域		124	10.0
上宝地域		34	2.7
奥飛騨温泉郷地域		18	1.5
無回答		18	1.5
家族構成		単身世帯	92
	夫婦のみ	236	19.1
	二世帯世帯 (うち中学生以下の子と同居)	572 (198)	46.2 (16.0)
	三世帯世帯 (うち中学生以下の子と同居)	284 (143)	22.9 (11.5)
	その他(※1)	31	2.5
	無回答	24	1.9

		件数 (件)	構成比 (%)
職業	農林畜産業	79	6.4
	自営業	147	11.9
	会社員・公務員・団体職員	309	24.9
	パート・アルバイト・内職	209	16.9
	家事従事者	131	10.6
	学生	14	1.1
	無職	308	24.9
	その他(※2)	22	1.8
	無回答	20	1.6
定住年数	1年未満	10	0.8
	1年以上～5年未満	58	4.7
	5年以上～10年未満	76	6.1
	10年以上～20年未満	111	9.0
	20年以上	966	78.0
	無回答	18	1.5
居住形態	持ち家(分譲マンション含む)	1,083	87.4
	借家(アパート含む)	112	9.0
	間借	0	0.0
	社宅・寮	25	2.0
	その他(※3)	6	0.5
	無回答	13	1.1

「その他」の内容

※1 四世代世帯、兄弟のみ、夫婦と姉 など

※2 僧侶、塾講師 など

※3 宗教法人所有の寺に居住、老人施設入所中 など

## 7 その他

この報告書における「回答率」は、次の計算式により算出している。

$$\text{回答率} = \text{回答数} / \text{標本数}$$

回答率は百分率(%)で、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計値が必ずしも100%とならない。また、2つ以上の回答を求めたものについての合計値は100%を超える。

属性別集計では、各属性の中で最も回答率が高い項目を網掛け表示している。なお、一部の集計表で、紙面の都合により、行と列を入れかえているものがある。

## 第2章 調査結果の分析

### 1 高山市への想いや生活環境について

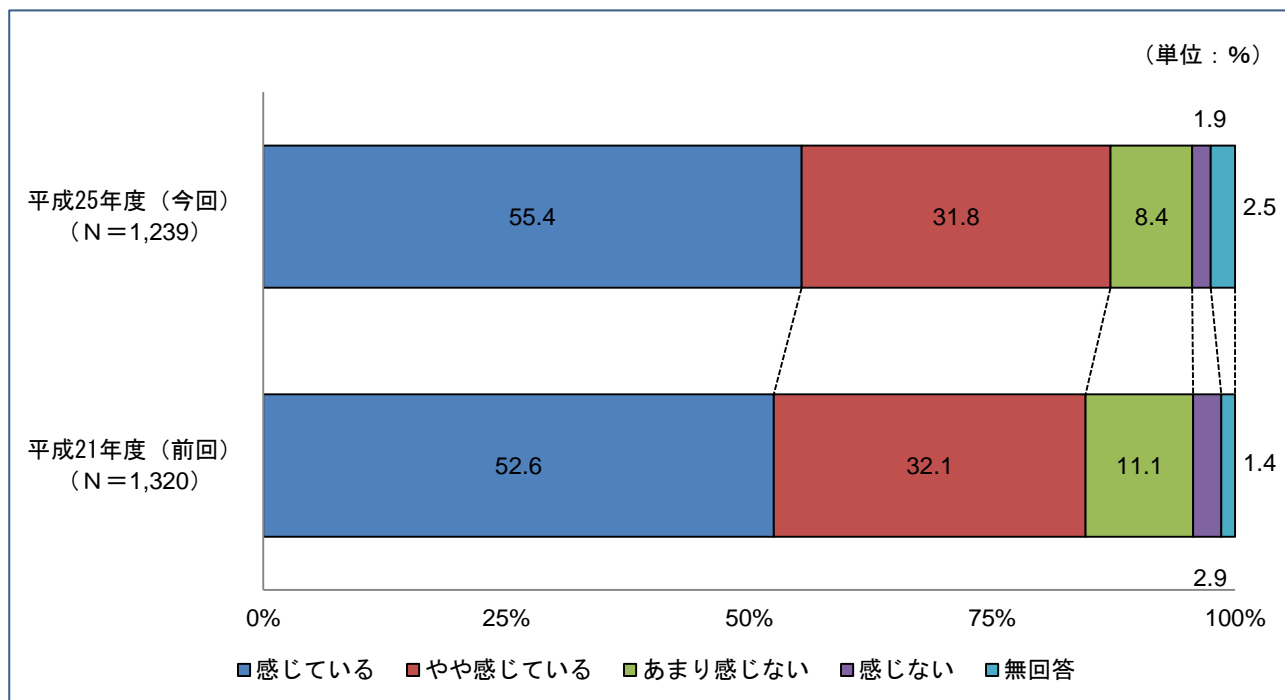
#### 1 高山市への「誇り」や「愛着」

- ・「感じている」の割合が最も高い。
- ・「感じている」と「やや感じている」を合わせると87.2%を占め、前回の調査結果（84.7%）に比べ2.5ポイント上昇している。

問1 あなたは、高山市に対し「誇り」や「愛着」を感じていますか。（1つに○印）

	回答数（件）	回答率（%）
感じている	686	55.4
やや感じている	394	31.8
あまり感じない	104	8.4
感じない	24	1.9
無回答	31	2.5
計	1,239	

（標本数：1,239件）



属性別集計（年齢別、居住地域別、定住年数別）

		標本数 (件)	高山市への「誇り」や「愛着」 (%)				
			感じている	やや感じている	いや	あまり感じない	感じない
年齢	10代・20代	70	55.7	27.1	14.3	2.9	0.0
	30代	144	43.1	43.1	10.4	3.5	0.0
	40代	170	43.5	44.7	10.6	0.6	0.6
	50代	219	50.2	37.0	10.0	1.4	1.4
	60代	305	64.9	25.6	6.9	1.0	1.6
	70代以上	318	61.9	24.5	5.7	2.8	5.0
居住地域	高山地域	795	56.5	32.3	7.4	1.8	2.0
	丹生川地域	66	65.2	30.3	0.0	3.0	1.5
	清見地域	44	68.2	20.5	9.1	2.3	0.0
	荘川地域	20	40.0	40.0	10.0	10.0	0.0
	一之宮地域	29	44.8	41.4	10.3	0.0	3.4
	久々野地域	56	60.7	26.8	10.7	0.0	1.8
	朝日地域	26	61.5	23.1	11.5	3.8	0.0
	高根地域	9	55.6	22.2	22.2	0.0	0.0
	国府地域	124	49.2	33.9	12.9	0.8	3.2
	上宝地域	34	47.1	32.4	14.7	5.9	0.0
	奥飛騨温泉郷地域	18	27.8	38.9	22.2	5.6	5.6
定住年数	1年未満	10	20.0	30.0	30.0	20.0	0.0
	1年以上～5年未満	58	36.2	39.7	13.8	8.6	1.7
	5年以上～10年未満	76	39.5	40.8	17.1	1.3	1.3
	10年以上～20年未満	111	41.4	38.7	16.2	2.7	0.9
	20年以上	966	60.1	30.2	6.4	1.2	2.0

【年齢別】

- ・「感じている」と「やや感じている」を合わせた割合は、60代が最も高く（90.5%）、10代・20代が最も低い（82.8%）。

【居住地域別】

- ・「感じている」と「やや感じている」を合わせた割合は、丹生川地域が最も高く（95.5%）、奥飛騨温泉郷地域が最も低い（66.7%）。

【定住年数別】

- ・「感じている」と「やや感じている」を合わせた割合は、20年以上が最も高く（90.3%）、1年未満が最も低い（50.0%）。
- ・1年未満で他の定住年数に比べ、「あまり感じていない」の割合が高い。

## 1-2 高山市への「誇り」や「愛着」を感じるどころ

・「自然環境」の割合が最も高い。

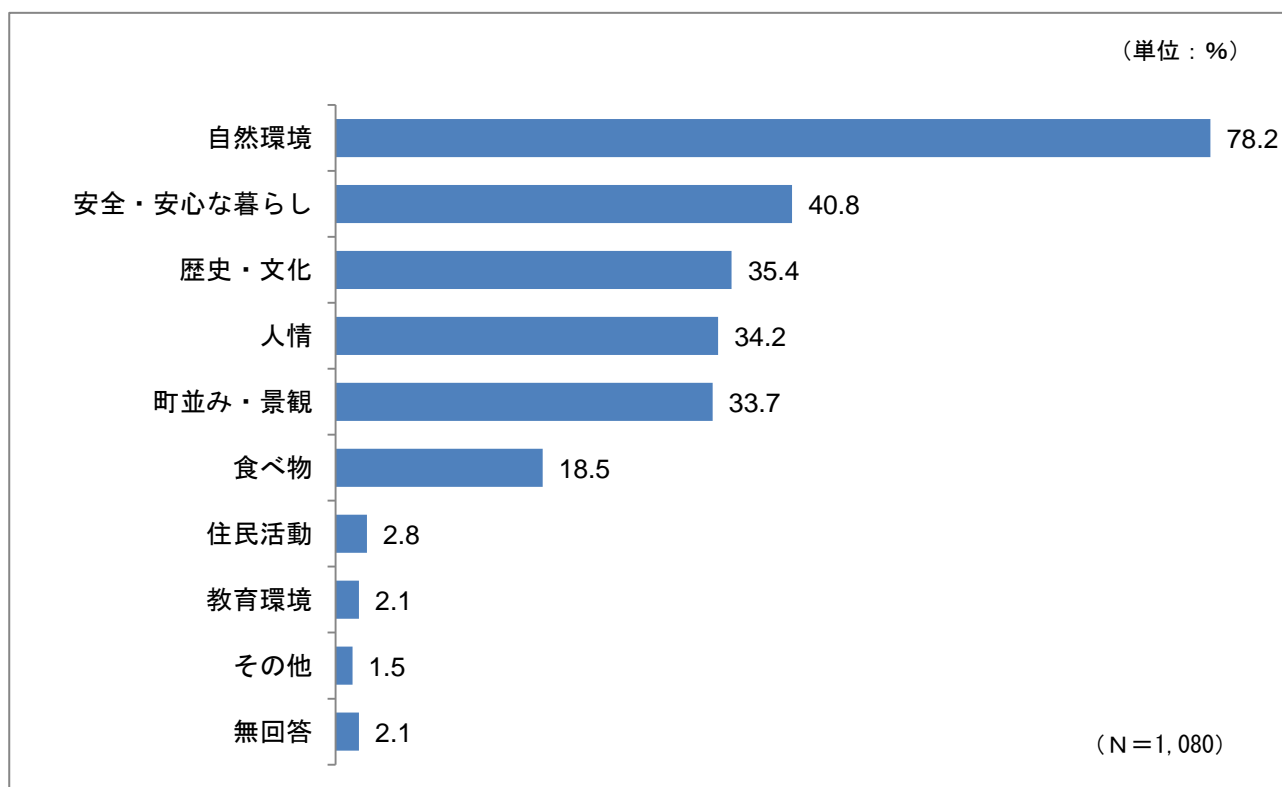
問1-2 問1で、「感じている」または「やや感じている」に○をつけた方に伺います。どんなところに「誇り」や「愛着」を感じますか。(3つまで○印)

	回答数 (件)	回答率 (%)
自然環境	845	78.2
安全・安心な暮らし	441	40.8
歴史・文化	382	35.4
人情	369	34.2
町並み・景観	364	33.7
食べ物	200	18.5
住民活動	30	2.8
教育環境	23	2.1
その他(※)	16	1.5
無回答	23	2.1
計	2,693	

(標本数：1,080件)

※「その他」の内容

・「生まれ育った場所だから」、「住み慣れた土地だから」 など



属性別集計（年齢別、居住地域別、定住年数別）

		標本数(件)	高山市への「誇り」や「愛着」を感じる場所(%)									
			自然環境	安全・安心な暮らし	歴史・文化	人情	町並み・景観	食べ物	住民活動	教育環境	その他	無回答
年齢	10代・20代	58	70.7	31.0	29.3	34.5	51.7	32.8	0.0	1.7	1.7	0.0
	30代	124	75.0	38.7	24.2	17.7	47.6	29.0	2.4	3.2	2.4	3.2
	40代	150	74.7	32.7	33.3	32.7	40.7	19.3	2.7	4.0	0.7	3.3
	50代	191	79.1	42.4	40.8	29.8	34.6	18.8	3.1	1.6	0.5	1.6
	60代	276	84.1	45.7	41.3	34.1	26.4	17.8	1.8	1.8	1.8	2.5
	70代以上	275	76.7	42.2	33.5	45.5	26.9	10.9	4.4	1.5	1.8	1.1
居住地域	高山地域	706	76.2	40.5	38.1	31.2	39.1	17.4	2.1	1.7	1.6	2.4
	丹生川地域	63	87.3	49.2	27.0	36.5	25.4	28.6	4.8	1.6	4.8	0.0
	清見地域	39	76.9	35.9	20.5	56.4	17.9	20.5	5.1	7.7	0.0	5.1
	荘川地域	16	81.3	31.3	43.8	56.3	25.0	6.3	0.0	0.0	6.3	0.0
	一之宮地域	25	80.0	48.0	36.0	24.0	24.0	8.0	8.0	4.0	0.0	0.0
	久々野地域	49	73.5	38.8	22.4	55.1	24.5	18.4	6.1	4.1	0.0	2.0
	朝日地域	22	81.8	63.6	18.2	59.1	0.0	13.6	4.5	0.0	0.0	0.0
	高根地域	7	71.4	28.6	0.0	57.1	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3
	国府地域	103	85.4	41.7	39.8	23.3	27.2	27.2	1.0	3.9	0.0	1.0
	上宝地域	27	77.8	29.6	29.6	51.9	14.8	14.8	7.4	0.0	3.7	3.7
奥飛騨温泉郷地域	12	91.7	33.3	41.7	33.3	41.7	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	
定住年数	1年未満	5	40.0	40.0	20.0	0.0	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0
	1年以上～5年未満	44	65.9	20.5	40.9	13.6	56.8	18.2	0.0	0.0	2.3	11.4
	5年以上～10年未満	61	75.4	31.1	23.0	37.7	41.0	24.6	1.6	4.9	0.0	1.6
	10年以上～20年未満	89	77.5	44.9	33.7	25.8	39.3	20.2	0.0	2.2	4.5	2.2
	20年以上	873	79.3	42.2	36.2	35.9	31.5	18.0	3.3	2.1	1.3	1.6

【年齢別】

- ・全ての年代で「自然環境」の割合が最も高い。
- ・「食べ物」の割合は若い年代ほど高く、10代・20代で最も高い(32.8%)。

【居住地域別】

- ・全ての居住地域で「自然環境」の割合が最も高い。
- ・朝日地域は他の居住地域に比べ、「安全・安心な暮らし」の割合が高い。

【定住年数別】

- ・1年未満を除く定住年数で「自然環境」の割合が最も高い。





属性別集計（年齢別、居住地域別）

		標本数(件)	高山市への定住意向(%)					
			住み続けたい	どちらかといえば住み続けたい	どちらかといえば住み続けたくない	住み続けたくない	分からない	無回答
年齢	10代・20代	70	44.3	25.7	8.6	2.9	18.6	0.0
	30代	144	44.4	34.7	16.7	0.7	3.5	0.0
	40代	170	44.7	37.1	8.8	1.2	6.5	1.8
	50代	219	59.4	25.1	7.8	1.4	5.5	0.9
	60代	305	74.4	18.0	4.6	0.3	2.6	0.0
	70代以上	318	75.2	16.0	2.8	0.9	3.8	1.3
居住地域	高山地域	795	63.1	23.8	6.9	0.9	4.8	0.5
	丹生川地域	66	66.7	24.2	0.0	3.0	6.1	0.0
	清見地域	44	75.0	20.5	2.3	2.3	0.0	0.0
	荘川地域	20	55.0	20.0	15.0	5.0	5.0	0.0
	一之宮地域	29	65.5	17.2	10.3	0.0	3.4	3.4
	久々野地域	56	62.5	21.4	5.4	0.0	7.1	3.6
	朝日地域	26	65.4	19.2	11.5	0.0	3.8	0.0
	高根地域	9	44.4	33.3	0.0	0.0	22.2	0.0
	国府地域	124	64.5	21.8	8.1	0.0	4.8	0.8
	上宝地域	34	44.1	35.3	8.8	2.9	8.8	0.0
	奥飛騨温泉郷地域	18	38.9	33.3	22.2	0.0	5.6	0.0

【年齢別】

- ・「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は、60代が最も高く（92.4%）、10代・20代が最も低い（70.0%）。
- ・30代は他の年代に比べ、「どちらかといえば住み続けたくない」の割合が高い。

【居住地域別】

- ・「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は、清見地域が最も高く（95.5%）、奥飛騨温泉郷地域が最も低い（72.2%）。

属性別集計（定住年数別、居住形態別）

		標本数(件)	高山市への定住意向(%)					
			住み続けたい	どちらかといえば住み続けたい	どちらかといえば住み続けたくない	住み続けたくない	分からない	無回答
定住年数	1年未満	10	20.0	10.0	30.0	10.0	30.0	0.0
	1年以上～5年未満	58	36.2	24.1	27.6	3.4	5.2	3.4
	5年以上～10年未満	76	52.6	27.6	10.5	0.0	7.9	1.3
	10年以上～20年未満	111	41.4	33.3	9.9	0.9	13.5	0.9
	20年以上	966	67.9	22.6	4.9	0.8	3.5	0.3
居住形態	持ち家	1,083	65.8	23.0	5.3	0.7	4.5	0.6
	借家	112	42.9	28.6	17.0	0.9	10.7	0.0
	間借	0	-	-	-	-	-	-
	社宅・寮	25	20.0	36.0	32.0	12.0	0.0	0.0
	その他	6	50.0	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0

【定住年数別】

- ・「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は、20年以上が最も高く（90.5%）、1年未満が最も低い（30.0%）。
- ・1年未満では、「住み続けたくない」・「どちらかといえば住み続けたくない」の割合（40.0%）が「住み続けたい」・「どちらかといえば住み続けたい」の割合（30.0%）を上回っている。

【居住形態別】

- ・「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は、持ち家が最も高く（88.8%）、社宅・寮が最も低い（56.0%）。

## 2-2 高山市に住み続けたくない理由

- ・「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。
- ・次いで、「市内に雇用の場が少ない」の割合が高い。

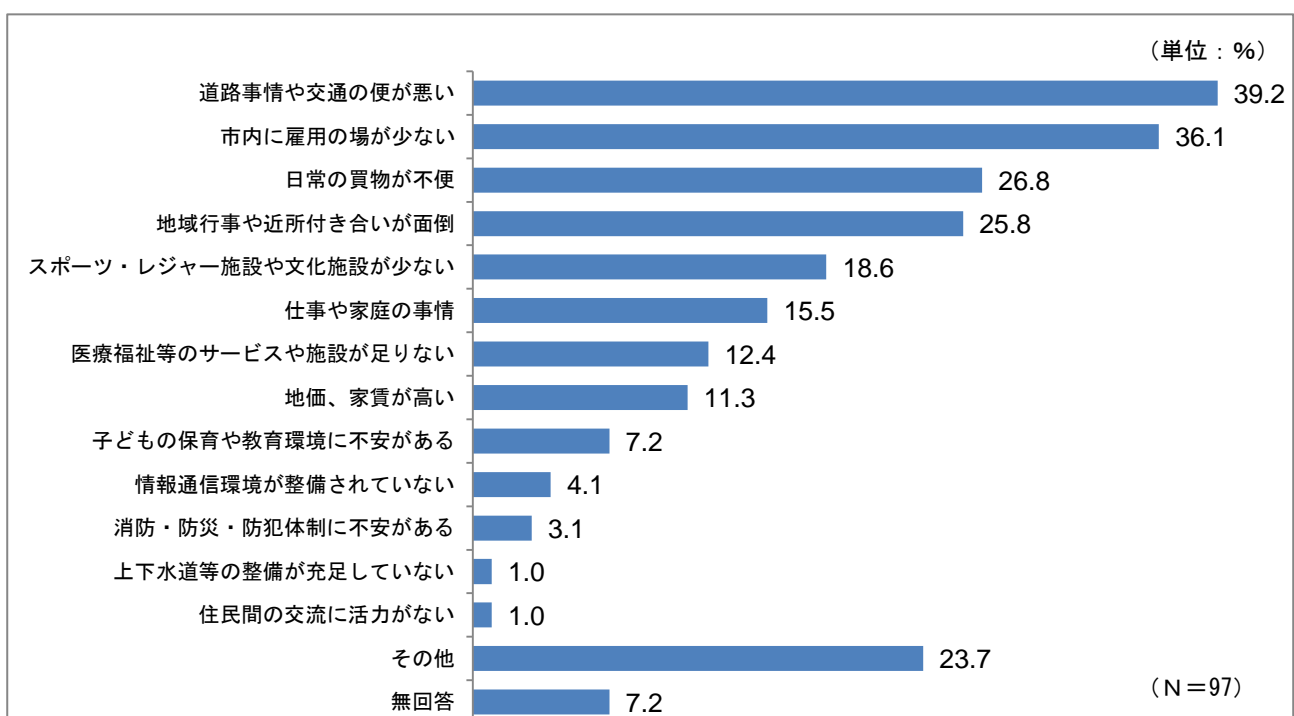
問2-2 問2で、「住み続けたくない」または「どちらかといえば住み続けたくない」に○をつけた方に伺います。高山市に住み続けたくない理由はなんですか。（3つまで○印）

	回答数（件）	回答率（％）
道路事情や交通の便が悪い	38	39.2
市内に雇用の場が少ない	35	36.1
日常の買物が不便	26	26.8
地域行事や近所付き合いが面倒	25	25.8
スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	18	18.6
仕事や家庭の事情	15	15.5
医療福祉等のサービスや施設が足りない	12	12.4
地価、家賃が高い	11	11.3
子どもの保育や教育環境に不安がある	7	7.2
情報通信環境が整備されていない	4	4.1
消防・防災・防犯体制に不安がある	3	3.1
上下水道等の整備が充足していない	1	1.0
住民間の交流に活力がない	1	1.0
その他（※）	23	23.7
無回答	7	7.2
計	226	

（標本数：97件）

※「その他」の内容

- ・「冬の生活が厳しい（寒さ、除雪の苦勞、暖房費等の負担など）」、「物価が高い」 など



属性別集計（年齢別）

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数（件）		8	25	17	20	15	12
高山市に住み続けたくない理由（％）	道路事情や交通の便が悪い	37.5	36.0	35.3	35.0	66.7	25.0
	市内に雇用の場が少ない	12.5	44.0	58.8	25.0	33.3	25.0
	日常の買物が不便	25.0	32.0	5.9	20.0	46.7	33.3
	地域行事や近所付き合いが面倒	12.5	32.0	35.3	25.0	20.0	16.7
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	50.0	20.0	11.8	15.0	20.0	8.3
	仕事や家庭の事情	25.0	32.0	0.0	15.0	6.7	8.3
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	0.0	4.0	0.0	20.0	20.0	33.3
	地価、家賃が高い	0.0	20.0	11.8	10.0	6.7	8.3
	子どもの保育や教育環境に不安がある	12.5	20.0	0.0	0.0	0.0	8.3
	情報通信環境が整備されていない	25.0	0.0	0.0	0.0	13.3	0.0
	消防・防災・防犯体制に不安がある	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	8.3
	上下水道等の整備が充足していない	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0
	住民間の交流に活力がない	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0
	その他	25.0	4.0	47.1	30.0	13.3	33.3
無回答	0.0	8.0	17.6	5.0	6.7	0.0	

【年齢別】

- ・ 10代・20代は他の年代に比べ、「スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない」及び「情報通信環境が整備されていない」の割合が高い。
- ・ 30代及び40代は他の年代に比べ、「市内に雇用の場が少ない」の割合が高い。
- ・ 50代以上は40代以下に比べ、「医療福祉等のサービスや施設が足りない」の割合が高い。
- ・ 60代は他の年代に比べ、「道路事情や交通の便が悪い」及び「日常の買い物が不便」の割合が高い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域										
		高山地域	丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝地域	奥飛騨温泉郷地域
標本数（件）		62	2	2	4	3	3	3	0	10	4	4
高山市に住み続けたくない理由（％）	道路事情や交通の便が悪い	40.3	0.0	100.0	50.0	0.0	33.3	66.7	-	20.0	50.0	50.0
	市内に雇用の場が少ない	32.3	0.0	100.0	50.0	0.0	33.3	66.7	-	40.0	50.0	50.0
	日常の買物が不便	22.6	50.0	0.0	50.0	0.0	66.7	66.7	-	20.0	25.0	50.0
	地域行事や近所付き合いが面倒	21.0	50.0	50.0	25.0	33.3	0.0	33.3	-	60.0	0.0	25.0
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	22.6	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	33.3	-	10.0	0.0	0.0
	仕事や家庭の事情	16.1	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	-	20.0	0.0	25.0
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	11.3	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	-	0.0	75.0	25.0
	地価、家賃が高い	16.1	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	-	0.0	0.0	0.0
	子どもの保育や教育環境に不安がある	6.5	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	-	0.0	0.0	50.0
	情報通信環境が整備されていない	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	-	10.0	25.0	25.0
	消防・防災・防犯体制に不安がある	1.6	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	-	10.0	0.0	0.0
	上下水道等の整備が充足していない	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0
	住民間の交流に活力がない	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0
	その他	24.2	50.0	0.0	25.0	33.3	0.0	0.0	-	40.0	25.0	0.0
無回答	9.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	-	0.0	0.0	0.0	

【居住地域別】

（高山地域を除く居住地域の標本数が少ないため、分析は行わない。）

属性別集計（定住年数別）

		定住年数				
		1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上
標本数（件）		4	18	8	12	55
高山市に住み続けたくない理由（％）	道路事情や交通の便が悪い	100.0	27.8	12.5	33.3	43.6
	市内に雇用の場が少ない	0.0	44.4	50.0	33.3	34.5
	日常の買物が不便	25.0	33.3	25.0	25.0	25.5
	地域行事や近所付き合いが面倒	0.0	16.7	25.0	50.0	25.5
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	25.0	27.8	0.0	8.3	20.0
	仕事や家庭の事情	0.0	33.3	50.0	16.7	5.5
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	0.0	5.6	0.0	16.7	16.4
	地価、家賃が高い	25.0	22.2	12.5	0.0	9.1
	子どもの保育や教育環境に不安がある	0.0	16.7	12.5	8.3	3.6
	情報通信環境が整備されていない	25.0	0.0	0.0	0.0	5.5
	消防・防災・防犯体制に不安がある	0.0	0.0	0.0	8.3	3.6
	上下水道等の整備が充足していない	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8
	住民間の交流に活力がない	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8
	その他	25.0	11.1	12.5	33.3	27.3
無回答	0.0	11.1	12.5	8.3	5.5	

【定住年数別】

- ・ 1年未満は他の定住年数に比べ、「道路事情や交通の便が悪い」及び「情報通信環境が整備されていない」の割合が高い。
- ・ 5年以上～10年未満は他の定住年数に比べ、「仕事や家庭の事情」の割合が高い。
- ・ 10年以上～20年未満は他の定住年数に比べ、「地域行事や近所付き合いが面倒」の割合が高い。
- ・ 10年以上～20年未満及び20年以上は他の定住年数に比べ、「医療福祉等のサービスや施設が足りない」の割合が高い。

属性別集計（居住形態別）

		居住形態				
		持ち家	借家	間借	社宅・寮	その他
標本数（件）		65	20	0	11	0
高山市に住み続けたくない理由（％）	道路事情や交通の便が悪い	40.0	30.0	-	54.5	-
	市内に雇用の場が少ない	33.8	45.0	-	27.3	-
	日常の買物が不便	27.7	20.0	-	36.4	-
	地域行事や近所付き合いが面倒	33.8	15.0	-	0.0	-
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	12.3	25.0	-	45.5	-
	仕事や家庭の事情	7.7	30.0	-	36.4	-
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	18.5	0.0	-	0.0	-
	地価、家賃が高い	9.2	25.0	-	0.0	-
	子どもの保育や教育環境に不安がある	3.1	20.0	-	9.1	-
	情報通信環境が整備されていない	4.6	0.0	-	9.1	-
	消防・防災・防犯体制に不安がある	4.6	0.0	-	0.0	-
	上下水道等の整備が充足していない	1.5	0.0	-	0.0	-
	住民間の交流に活力がない	1.5	0.0	-	0.0	-
	その他	24.6	20.0	-	27.3	-
無回答	7.7	10.0	-	0.0	-	

【居住形態別】

- ・借家を除く居住形態で「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。
- ・借家は他の居住形態に比べ、「地価、家賃が高い」及び「子どもの保育や教育環境に不安がある」の割合が高い。



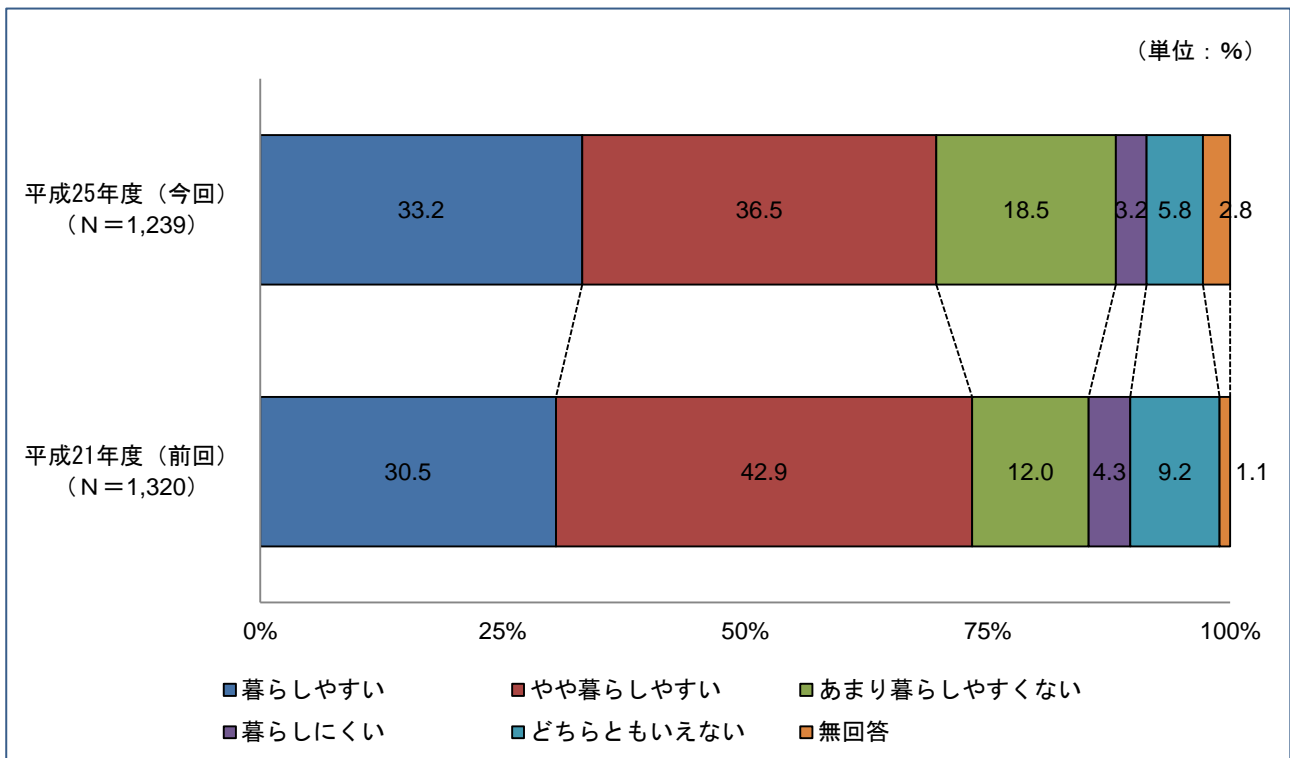
### 3 高山市の暮らしやすさ

- ・「やや暮らしやすい」の割合が最も高い。
- ・「暮らしやすい」と「やや暮らしやすい」を合わせると69.7%を占め、前回の調査結果（73.4%）に比べ3.7ポイント低下している。

問3 全体的に、高山市の暮らしやすさについてどのようにお考えですか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
暮らしやすい	411	33.2
やや暮らしやすい	452	36.5
あまり暮らしやすくない	229	18.5
暮らしにくい	40	3.2
どちらともいえない	72	5.8
無回答	35	2.8
計	1,239	

(標本数：1,239件)



属性別集計（年齢別、居住地域別、家族構成別）

		標本数(件)	高山市の暮らしやすさ(%)						
			暮らしやすい	い やや暮らしやすい	すくない あまり暮らしやすい	暮らしにくい	ない どちらともいえない	無回答	
年齢	10代・20代	70	22.9	38.6	28.6	2.9	5.7	1.4	
	30代	144	26.4	43.8	20.1	5.6	3.5	0.7	
	40代	170	22.4	36.5	30.0	4.1	7.1	0.0	
	50代	219	26.9	35.6	22.4	5.0	7.3	2.7	
	60代	305	36.1	42.0	13.4	1.6	4.6	2.3	
	70代以上	318	45.9	28.6	11.6	1.9	6.3	5.7	
居住地域	高山地域	795	34.1	39.0	15.2	2.9	6.2	2.6	
	丹生川地域	66	42.4	30.3	16.7	4.5	4.5	1.5	
	清見地域	44	27.3	40.9	25.0	4.5	0.0	2.3	
	荘川地域	20	20.0	30.0	45.0	5.0	0.0	0.0	
	一之宮地域	29	27.6	37.9	20.7	0.0	6.9	6.9	
	久々野地域	56	39.3	30.4	21.4	0.0	7.1	1.8	
	朝日地域	26	50.0	19.2	19.2	7.7	0.0	3.8	
	高根地域	9	33.3	11.1	44.4	0.0	11.1	0.0	
	国府地域	124	33.1	38.7	15.3	2.4	8.1	2.4	
	上宝地域	34	11.8	17.6	44.1	11.8	8.8	5.9	
	奥飛騨温泉郷地域	18	11.1	27.8	50.0	11.1	0.0	0.0	
家族構成	単身世帯	92	35.9	39.1	14.1	2.2	5.4	3.3	
	夫婦のみ	236	28.0	38.6	18.6	3.8	7.6	3.4	
	二世帯世帯(親と子)	572	34.6	35.0	19.4	3.5	5.6	1.9	
	(うち中学生以下の子と同居)	(198)	(33.3)	(36.9)	(19.2)	(3.5)	(5.6)	(1.5)	
	三世帯世帯(親と子と孫)	284	34.2	37.3	18.7	2.5	4.2	3.2	
	(うち中学生以下の子と同居)	(143)	(35.0)	(39.2)	(16.8)	(2.1)	(4.2)	(2.8)	
その他	31	29.0	45.2	12.9	3.2	9.7	0.0		

【年齢別】

- ・「暮らしやすい」と「やや暮らしやすい」を合わせた割合は、60代が最も高く(78.1%)、40代が最も低い(58.9%)。

【居住地域別】

- ・「暮らしやすい」と「やや暮らしやすい」を合わせた割合は、高山地域が最も高く(73.1%)、上宝地域が最も低い(29.4%)。

【家族構成別】

- ・「暮らしやすい」と「やや暮らしやすい」を合わせた割合は、単身世帯が最も高く(75.0%)、夫婦のみの世帯が最も低い(66.6%)。

### 3-2 暮らしにくさを感じる場所

- ・「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。
- ・次いで、「日常の買物が不便」、「市内に雇用の場が少ない」の割合が高い。

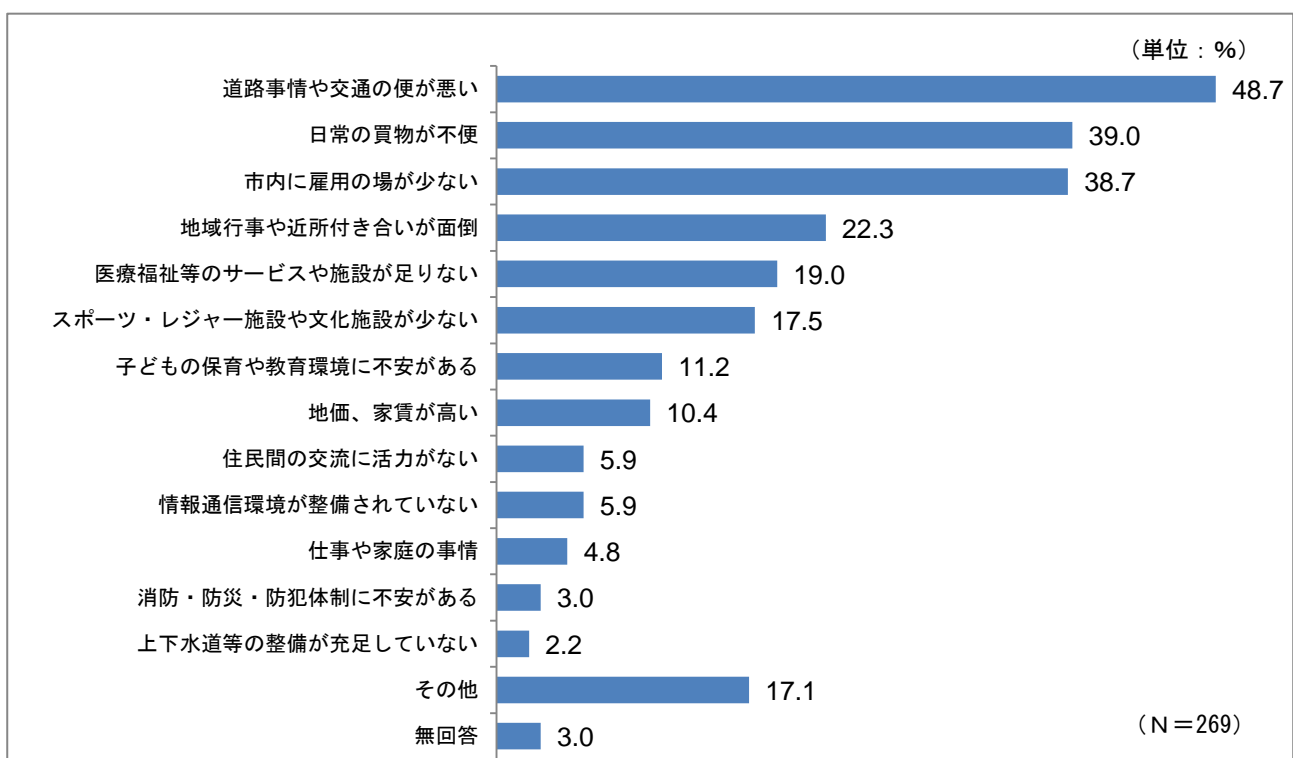
問3-2 問3で、「暮らしにくい」または「あまり暮らしやすくない」に○をつけた方に伺います。  
 どんなどころに暮らしにくさを感じますか。(3つまで○印)

	回答数(件)	回答率(%)
道路事情や交通の便が悪い	131	48.7
日常の買物が不便	105	39.0
市内に雇用の場が少ない	104	38.7
地域行事や近所付き合いが面倒	60	22.3
医療福祉等のサービスや施設が足りない	51	19.0
スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	47	17.5
子どもの保育や教育環境に不安がある	30	11.2
地価、家賃が高い	28	10.4
住民間の交流に活力がない	16	5.9
情報通信環境が整備されていない	16	5.9
仕事や家庭の事情	13	4.8
消防・防災・防犯体制に不安がある	8	3.0
上下水道等の整備が充足していない	6	2.2
その他(※)	46	17.1
無回答	8	3.0
計	669	

(標本数：269件)

※「その他」の内容

- ・「冬の生活が不便である」、「給与水準が低い」、「物価が高い」、「税金が高い」 など



属性別集計（年齢別）

		年齢別					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数(件)		22	37	58	60	46	43
暮らしにくさを感じる理由(%)	道路事情や交通の便が悪い	59.1	40.5	53.4	53.3	41.3	46.5
	日常の買物が不便	45.5	35.1	27.6	41.7	45.7	46.5
	市内に雇用の場が少ない	27.3	45.9	36.2	50.0	37.0	27.9
	地域行事や近所付き合いが面倒	13.6	29.7	27.6	18.3	21.7	18.6
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	13.6	8.1	8.6	25.0	21.7	27.9
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	36.4	24.3	25.9	11.7	10.9	7.0
	子どもの保育や教育環境に不安がある	9.1	27.0	10.3	11.7	4.3	7.0
	地価、家賃が高い	0.0	16.2	17.2	11.7	6.5	4.7
	住民間の交流に活力がない	4.5	2.7	1.7	6.7	13.0	7.0
	情報通信環境が整備されていない	13.6	5.4	5.2	8.3	4.3	2.3
	仕事や家庭の事情	4.5	8.1	1.7	5.0	4.3	4.7
	消防・防災・防犯体制に不安がある	0.0	0.0	1.7	3.3	0.0	9.3
	上下水道等の整備が充足していない	0.0	2.7	3.4	1.7	0.0	4.7
	その他	13.6	18.9	17.2	18.3	17.4	16.3
	無回答	0.0	2.7	5.2	1.7	4.3	2.3

【年齢別】

- ・ 30代及び60代を除く年代で「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。
- ・ 「スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない」の割合は若い年代ほど高く、10代・20代で最も高い。
- ・ 30代及び40代は他の年代に比べ、「地域行事や近所付き合いが面倒」の割合が高い。
- ・ 30代は他の年代に比べ、「子どもの保育や教育環境に不安がある」の割合が高い。
- ・ 50代以上は40代以下に比べ、「医療福祉等のサービスや施設が足りない」の割合が高い。
- ・ 60代は他の年代に比べ、「住民間の交流に活力がない」の割合が高い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域										
		高山地域	丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝地域	奥飛騨温泉郷地域
標本数（件）		144	14	13	10	6	12	7	4	22	19	11
暮らしにくさを感じるところ（％）	道路事情や交通の便が悪い	40.3	50.0	46.2	50.0	50.0	75.0	71.4	75.0	40.9	78.9	72.7
	日常の買物が不便	25.7	42.9	53.8	90.0	33.3	58.3	85.7	75.0	36.4	68.4	54.5
	市内に雇用の場が少ない	38.9	35.7	46.2	50.0	50.0	33.3	28.6	25.0	45.5	26.3	18.2
	地域行事や近所付き合いが面倒	17.4	35.7	38.5	10.0	50.0	25.0	28.6	25.0	31.8	21.1	18.2
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	16.0	14.3	23.1	20.0	33.3	8.3	0.0	75.0	13.6	31.6	36.4
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	23.6	7.1	7.7	0.0	0.0	16.7	14.3	0.0	18.2	5.3	9.1
	子どもの保育や教育環境に不安がある	7.6	0.0	7.7	30.0	16.7	16.7	0.0	25.0	18.2	5.3	45.5
	地価、家賃が高い	16.7	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	5.3	9.1
	住民間の交流に活力がない	6.3	7.1	7.7	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	13.6	0.0	9.1
	情報通信環境が整備されていない	2.8	14.3	23.1	10.0	16.7	0.0	0.0	0.0	4.5	15.8	9.1
	仕事や家庭の事情	7.6	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	消防・防災・防犯体制に不安がある	2.1	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	4.5	0.0	9.1
	上下水道等の整備が充足していない	2.1	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	5.3	0.0
	その他	22.2	28.6	0.0	20.0	0.0	25.0	0.0	0.0	18.2	5.3	0.0
無回答	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

【居住地域別】

- ・清見地域、荘川地域、朝日地域及び国府地域を除く居住地域で「道路事情や交通の便が悪い」の割合が高い。
- ・高山地域は他の居住地域に比べ、「地価、家賃が高い」の割合が高い。
- ・荘川地域、朝日地域及び高根地域は他の居住地域に比べ、「日常の買物が不便」の割合が高い。
- ・一之宮地域は他の居住地域に比べ、「地域行事や近所付き合いが面倒」の割合が高い。
- ・高根地域は他の居住地域に比べ、「医療福祉等のサービスや施設が足りない」の割合が高い。
- ・奥飛騨温泉郷地域は他の居住地域に比べ、「子どもの保育や教育環境に不安がある」の割合が高い。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世代世帯	(うち中学生以下の子と同居)	三世代世帯	(うち中学生以下の子と同居)	その他
標本数（件）		15	53	131	(45)	60	(27)	5
暮らしにくさを感じるところ（％）	道路事情や交通の便が悪い	60.0	34.0	48.1	(48.9)	60.0	(48.1)	60.0
	日常の買物が不便	33.3	34.0	38.9	(35.6)	45.0	(44.4)	20.0
	市内に雇用の場が少ない	20.0	35.8	38.9	(40.0)	43.3	(40.7)	60.0
	地域行事や近所付き合いが面倒	13.3	17.0	23.7	(22.2)	26.7	(33.3)	20.0
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	26.7	18.9	19.1	(8.9)	16.7	(22.2)	0.0
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	13.3	24.5	17.6	(24.4)	13.3	(14.8)	20.0
	子どもの保育や教育環境に不安がある	6.7	5.7	9.9	(17.8)	21.7	(29.6)	0.0
	地価、家賃が高い	20.0	18.9	11.5	(15.6)	0.0	(0.0)	0.0
	住民間の交流に活力がない	0.0	7.5	5.3	(2.2)	8.3	(3.7)	0.0
	情報通信環境が整備されていない	0.0	3.8	6.1	(4.4)	10.0	(3.7)	0.0
	仕事や家庭の事情	6.7	9.4	2.3	(2.2)	5.0	(0.0)	0.0
	消防・防災・防犯体制に不安がある	0.0	1.9	3.1	(2.2)	3.3	(7.4)	0.0
	上下水道等の整備が充足していない	13.3	0.0	2.3	(0.0)	1.7	(0.0)	0.0
	その他	26.7	22.6	17.6	(20.0)	8.3	(3.7)	40.0
	無回答	0.0	3.8	4.6	(6.7)	0.0	(0.0)	0.0

【家族構成別】

- ・夫婦のみの世帯を除く家族構成で「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。
- ・夫婦のみの世帯及び中学生以下の子と同居する二世代世帯は他の家族構成に比べ、「スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない」の割合が高い。
- ・中学生以下の子と同居する三世代世帯は他の家族構成に比べ、「子どもの保育や教育環境に不安がある」の割合が高い。

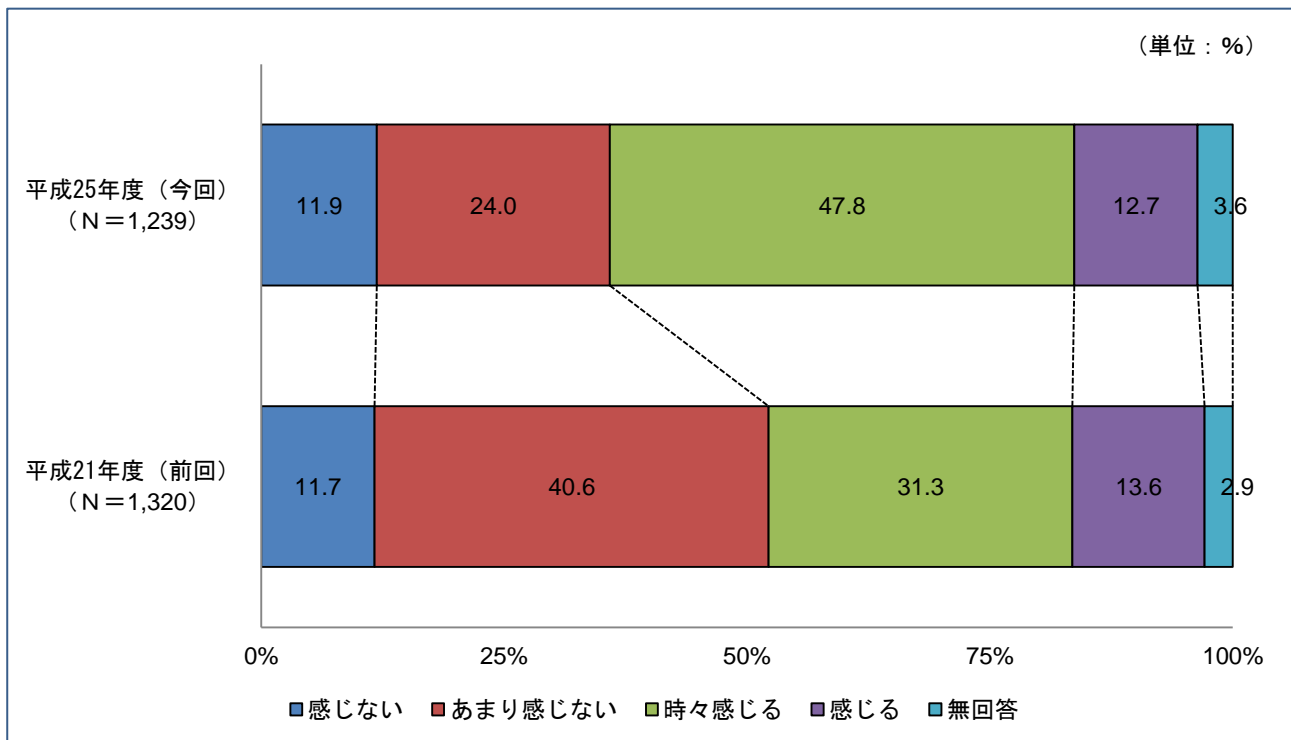
#### 4 日常生活での不安

- ・「時々感じる」の割合が最も高い。
- ・「感じる」と「時々感じる」を合わせると60.5%を占め、前回の調査結果（44.9%）に比べ15.6ポイント上昇している。

問4 あなたは、日常の暮らしの中で不安を感じることはありますか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
感じない	148	11.9
あまり感じない	297	24.0
時々感じる	592	47.8
感じる	157	12.7
無回答	45	3.6
計	1,239	

(標本数：1,239件)



属性別集計（年齢別、居住地域別、家族構成別）

		標本数(件)	暮らしの中での不安(%)				
			感じない	あまり感じない	時々感じる	感じる	無回答
年齢	10代・20代	70	14.3	34.3	42.9	7.1	1.4
	30代	144	8.3	21.5	54.9	13.9	1.4
	40代	170	4.7	24.1	57.6	12.9	0.6
	50代	219	7.8	17.8	56.2	15.5	2.7
	60代	305	13.1	26.2	48.5	9.8	2.3
	70代以上	318	18.6	25.5	34.6	13.2	8.2
居住地域	高山地域	795	12.8	24.5	47.0	12.2	3.4
	丹生川地域	66	13.6	24.2	53.0	7.6	1.5
	清見地域	44	11.4	31.8	40.9	15.9	0.0
	荘川地域	20	0.0	15.0	65.0	5.0	15.0
	一之宮地域	29	3.4	24.1	55.2	13.8	3.4
	久々野地域	56	10.7	26.8	48.2	10.7	3.6
	朝日地域	26	15.4	11.5	65.4	7.7	0.0
	高根地域	9	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0
	国府地域	124	12.9	25.8	46.0	11.3	4.0
	上宝地域	34	5.9	20.6	38.2	26.5	8.8
	奥飛騨温泉郷地域	18	0.0	5.6	61.1	33.3	0.0
家族構成	単身世帯	92	14.1	19.6	48.9	13.0	4.3
	夫婦のみ	236	11.0	23.7	47.5	12.7	5.1
	二世帯世帯(親と子)	572	12.6	23.1	47.7	14.3	2.3
	うち中学生以下の子と同居	(198)	(13.6)	(22.7)	(51.5)	(11.1)	(1.0)
	三世帯世帯(親と子と孫)	284	10.9	28.2	47.9	8.5	4.6
	うち中学生以下の子と同居	(143)	(11.2)	(25.2)	(49.0)	(9.8)	(4.9)
	その他	31	6.5	32.3	48.4	12.9	0.0

【年齢別】

・「感じる」と「時々感じる」を合わせた割合は、50代が最も高く（71.7%）、70代以上が最も低い（47.8%）。

【居住地域別】

・「感じる」と「時々感じる」を合わせた割合は、奥飛騨温泉郷地域が最も高く（94.4%）、清見地域が最も低い（56.8%）。

【家族構成別】

・「感じる」と「時々感じる」を合わせた割合は、中学生以下の子と同居する二世帯世帯が最も高く（62.6%）、三世帯世帯が最も低い（56.4%）。



## 4-2 不安を感じるどころ

- ・「経済的な不安」の割合が最も高い。
- ・次いで、「介護に対する不安」の割合が高い。

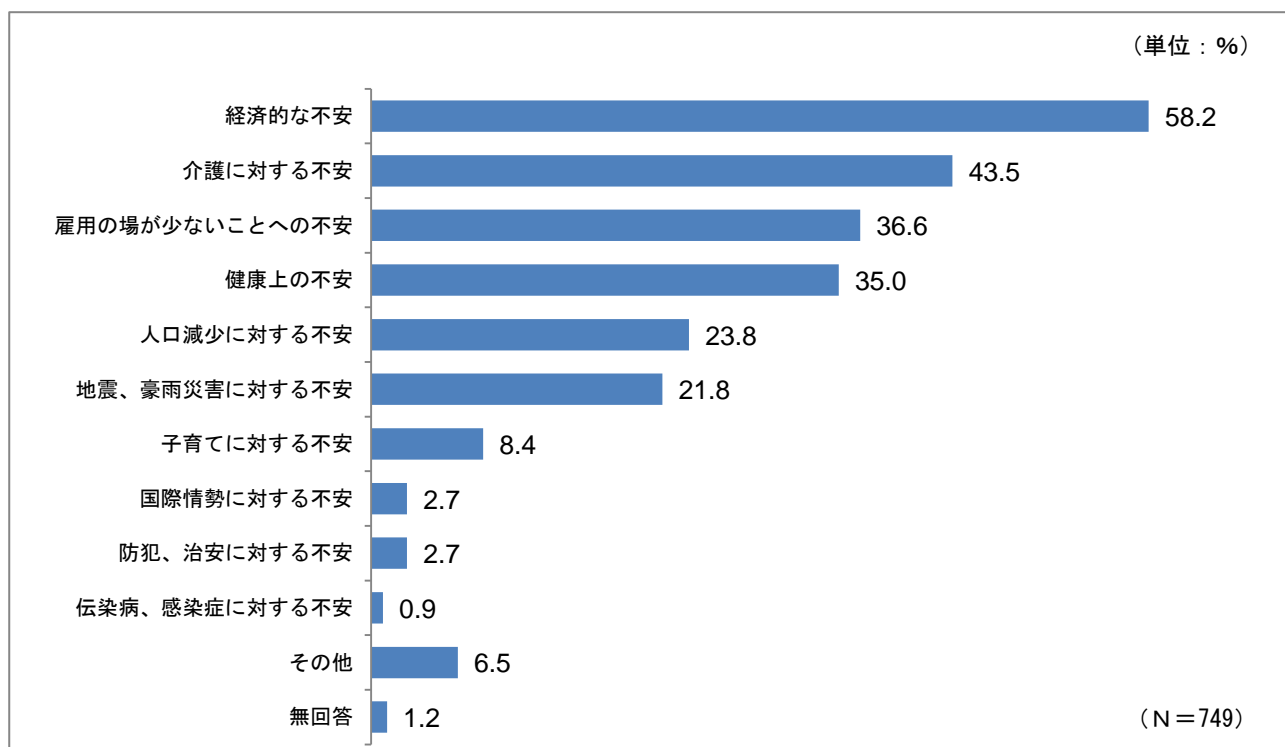
問4-2 問4で、「感じる」または「時々感じる」に○をつけた方に伺います。どんなところに不安を感じますか。(3つまで○印)

	回答数 (件)	回答率 (%)
経済的な不安	436	58.2
介護に対する不安	326	43.5
雇用の場が少ないことへの不安	274	36.6
健康上の不安	262	35.0
人口減少に対する不安	178	23.8
地震、豪雨災害に対する不安	163	21.8
子育てに対する不安	63	8.4
国際情勢に対する不安	20	2.7
防犯、治安に対する不安	20	2.7
伝染病、感染症に対する不安	7	0.9
その他	49	6.5
無回答	9	1.2
計	1,807	

(標本数：749件)

※「その他」の内容

- ・「医療のレベル」、「自分の老後」、「地域の過疎化」、「若者が市外へ出ていってしまうこと」など



属性別集計（年齢別）

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数(件)		35	99	120	157	178	152
不安を感じるところ(%)	経済的な不安	45.7	72.7	70.8	68.2	53.9	37.5
	介護に対する不安	8.6	16.2	33.3	43.3	55.1	63.8
	雇用の場が少ないことへの不安	65.7	49.5	47.5	47.8	27.0	13.8
	健康上の不安	5.7	14.1	15.0	29.9	48.9	60.5
	人口減少に対する不安	25.7	18.2	17.5	25.5	27.0	24.3
	地震、豪雨災害に対する不安	22.9	17.2	25.0	19.7	22.5	23.7
	子育てに対する不安	28.6	29.3	12.5	3.8	0.6	1.3
	国際情勢に対する不安	5.7	3.0	0.8	1.9	4.5	2.0
	防犯、治安に対する不安	11.4	3.0	5.8	2.5	0.0	1.3
	伝染病、感染症に対する不安	0.0	1.0	0.8	0.0	0.6	2.0
	その他	2.9	7.1	8.3	9.6	5.6	3.3
無回答	0.0	1.0	0.8	1.3	1.1	2.0	

【年齢別】

- ・「雇用が少ないことへの不安」の割合は若い年代ほど高く、10代・20代で最も高い。
- ・「健康上の不安」及び「介護に対する不安」を感じている割合は高齢の年代ほど高く、70代以上で最も高い。
- ・10代・20代及び30代は他の年代に比べ、「子育てに対する不安」の割合が高い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域										
		高山地域	丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝地域	奥飛騨温泉郷地域
標本数(件)		471	40	25	14	20	33	19	6	71	22	17
不安を感じる割合(%)	経済的な不安	61.6	62.5	60.0	50.0	35.0	51.5	36.8	16.7	59.2	45.5	47.1
	介護に対する不安	45.6	47.5	48.0	50.0	50.0	33.3	31.6	33.3	31.0	45.5	41.2
	雇用の場が少ないことへの不安	32.3	47.5	36.0	50.0	55.0	48.5	36.8	16.7	38.0	54.5	35.3
	健康上の不安	39.5	15.0	20.0	21.4	30.0	33.3	52.6	83.3	23.9	36.4	23.5
	人口減少に対する不安	17.4	32.5	36.0	57.1	15.0	33.3	68.4	50.0	16.9	40.9	52.9
	地震、豪雨災害に対する不安	19.3	22.5	24.0	7.1	40.0	24.2	15.8	0.0	40.8	18.2	23.5
	子育てに対する不安	7.6	5.0	4.0	7.1	15.0	6.1	0.0	16.7	15.5	9.1	17.6
	国際情勢に対する不安	3.0	2.5	0.0	7.1	5.0	3.0	0.0	0.0	0.0	4.5	5.9
	防犯、治安に対する不安	2.8	0.0	0.0	0.0	5.0	3.0	0.0	0.0	4.2	0.0	5.9
	伝染病、感染症に対する不安	0.6	0.0	0.0	7.1	0.0	3.0	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0
	その他	5.7	10.0	8.0	7.1	5.0	12.1	0.0	0.0	9.9	9.1	0.0
	無回答	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【居住地域別】

- ・ 朝日地域は他の居住地域に比べ、「人口減少に対する不安」の割合が高い。
- ・ 一之宮地域及び国府地域は他の居住地域に比べ、「地震、豪雨災害に対する不安」の割合が高い。
- ・ 高根地域は他の居住地域に比べ、「健康上の不安」の割合が高い。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成					
		単身世帯	夫婦のみ	二世帯世帯 (うち中学生以下の子と同居)	三世帯世帯 (うち中学生以下の子と同居)	その他	
標本数(件)		57	142	355 (124)	160 (84)	19	
不安を感じる割合(%)	経済的な不安	50.9	46.5	67.9 (70.2)	50.6 (47.6)	52.6	
	介護に対する不安	42.1	65.5	37.7 (25.8)	36.3 (38.1)	47.4	
	雇用の場が少ないことへの不安	17.5	25.4	38.3 (42.7)	50.6 (48.8)	26.3	
	健康上の不安	56.1	52.1	29.0 (21.0)	20.6 (26.2)	63.2	
	人口減少に対する不安	12.3	19.0	21.4 (14.5)	36.9 (31.0)	10.5	
	地震、豪雨災害に対する不安	22.8	16.9	22.5 (20.2)	24.4 (25.0)	21.1	
	子育てに対する不安	5.3	3.5	9.3 (21.8)	12.5 (20.2)	5.3	
	国際情勢に対する不安	1.8	2.8	2.0 (0.8)	5.0 (4.8)	0.0	
	防犯、治安に対する不安	3.5	2.1	2.8 (4.0)	1.9 (2.4)	5.3	
	伝染病、感染症に対する不安	1.8	0.7	0.8 (0.8)	0.6 (1.2)	5.3	
	その他	3.5	7.0	7.0 (7.3)	6.9 (6.0)	0.0	
	無回答	3.5	0.7	1.4 (1.6)	0.6 (1.2)	0.0	

【家族構成別】

- ・中学生以下の子と同居している二世帯世帯は他の家族構成に比べ、「経済的な不安」の割合が高い。
- ・三世帯世帯は他の家族構成に比べ、「雇用の場が少ないことへの不安」及び「人口減少に対する不安」の割合が高い。
- ・単身世帯及び夫婦のみの世帯は他の家族構成に比べ、「健康上の不安」の割合が高い。
- ・夫婦のみの世帯は他の家族構成に比べ、「介護に対する不安」の割合が高い。

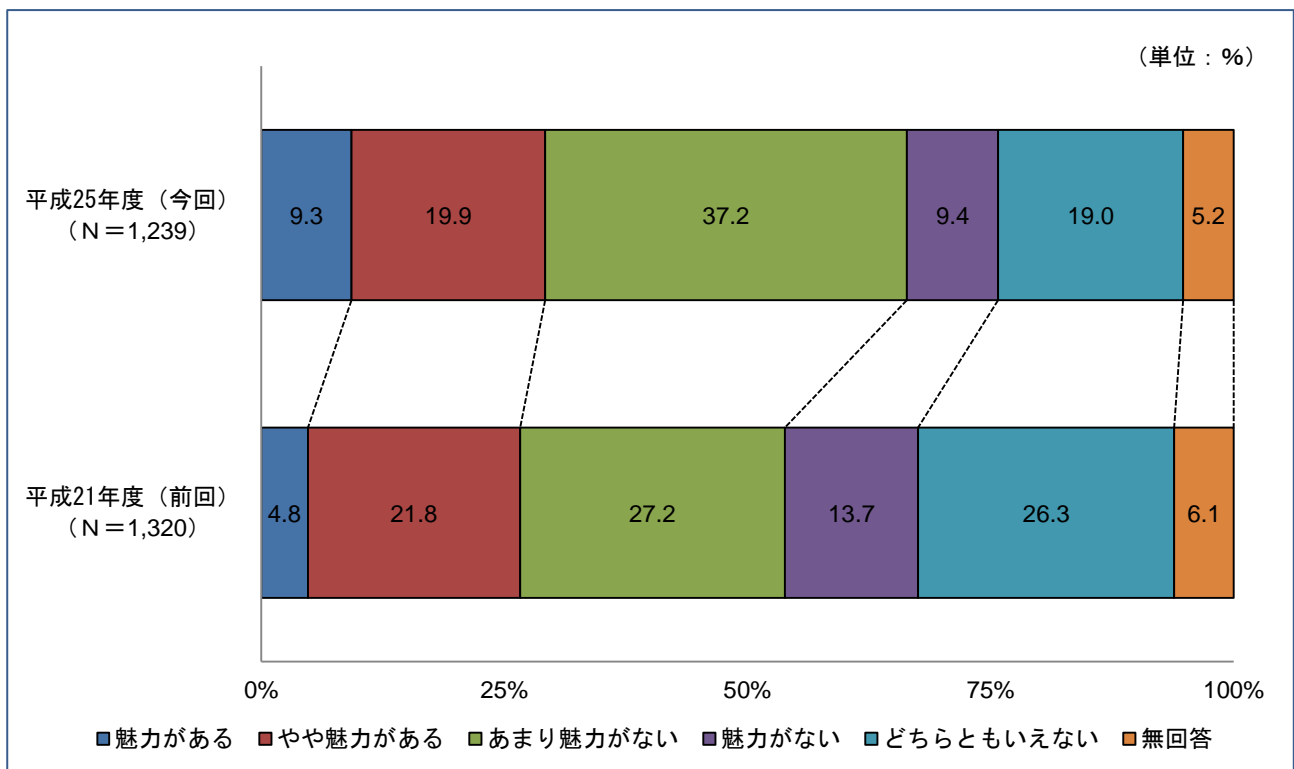
## 5 働く場としての高山市の魅力

- ・「あまり魅力がない」の割合が最も高い。
- ・「魅力がある」・「やや魅力がある」(26.6%→29.2%)、「魅力がない」・「あまり魅力がない」(40.9%→46.6%)とも前回の調査結果に比べ上昇している。

問5 あなたは、働く場としての高山市に魅力を感じますか。(1つに○印)

	回答数 (件)	回答率 (%)
魅力がある	115	9.3
やや魅力がある	247	19.9
あまり魅力がない	461	37.2
魅力がない	116	9.4
どちらともいえない	236	19.0
無回答	64	5.2
計	1,239	

(標本数：1,239件)



属性別集計（性別、年齢別）

		標本数(件)	高山市の働く場としての魅力(%)					無回答
			魅力がある	やや魅力がある	あまり魅力がない	魅力がない	どちらともいえない	
性別	男	499	9.8	21.2	37.7	11.4	15.6	4.2
	女	691	8.8	19.4	37.9	7.5	21.0	5.4
年齢	10代・20代	70	8.6	27.1	38.6	7.1	17.1	1.4
	30代	144	3.5	23.6	34.0	20.8	16.0	2.1
	40代	170	8.8	17.6	52.9	8.8	11.8	0.0
	50代	219	6.4	13.2	50.7	12.8	14.2	2.7
	60代	305	10.2	23.0	38.4	7.2	18.0	3.3
	70代以上	318	13.2	19.8	20.4	4.4	29.6	12.6

【性別】

- ・男女ともに「あまり魅力がない」の割合が最も高い。

【年齢別】

- ・「魅力がある」と「やや魅力がある」を合わせた割合は、10代・20代が最も高く（35.7%）、50代が最も低い（19.6%）。
- ・「魅力がない」と「あまり魅力がない」を合わせた割合は、50代が最も高く（63.5%）、70代以上が最も低い（24.8%）。

属性別集計（居住地域別、職業別）

		標本数(件)	高山市の働く場としての魅力(%)					無回答
			魅力がある	やや魅力がある	あまり魅力がない	魅力がない	どちらともいえない	
居住地域	高山地域	795	10.2	20.4	36.1	8.1	20.9	4.4
	丹生川地域	66	9.1	22.7	42.4	4.5	15.2	6.1
	清見地域	44	9.1	22.7	36.4	15.9	13.6	2.3
	荘川地域	20	0.0	30.0	35.0	10.0	15.0	10.0
	一之宮地域	29	3.4	13.8	48.3	10.3	13.8	10.3
	久々野地域	56	14.3	12.5	37.5	12.5	16.1	7.1
	朝日地域	26	15.4	19.2	30.8	15.4	11.5	7.7
	高根地域	9	0.0	22.2	22.2	11.1	44.4	0.0
	国府地域	124	5.6	20.2	38.7	12.9	18.5	4.0
	上宝地域	34	5.9	11.8	41.2	17.6	14.7	8.8
	奥飛騨温泉郷地域	18	0.0	27.8	44.4	11.1	11.1	5.6
職業	農林畜産業	79	26.6	22.8	22.8	2.5	17.7	7.6
	自営業	147	12.2	23.8	29.9	12.9	20.4	0.7
	会社員・公務員・団体職員	309	5.8	21.7	47.9	12.3	11.0	1.3
	パート・アルバイト・内職	209	8.6	19.1	46.9	8.6	14.4	2.4
	家事従事者	131	5.3	21.4	37.4	6.9	24.4	4.6
	学生	14	7.1	21.4	35.7	14.3	21.4	0.0
	無職	308	8.8	16.2	29.5	7.8	27.3	10.4
	その他	22	13.6	18.2	31.8	13.6	22.7	0.0

【居住地域別】

- ・「魅力がある」と「やや魅力がある」を合わせた割合は、朝日地域が最も高く（34.6%）、一之宮地域が最も低い（17.2%）。
- ・「魅力がない」と「あまり魅力がない」を合わせた割合は、上宝地域が最も高く（58.8%）、高根地域が最も低い（33.3%）。

【職業別】

- ・「魅力がある」と「やや魅力がある」を合わせた割合は、農林畜産業が最も高く（49.4%）、無職が最も低い（25.0%）。
- ・「魅力がない」と「あまり魅力がない」を合わせた割合は、会社員・公務員・団体職員が最も高く（60.2%）、農林畜産業が最も低い（25.3%）。

## 5-2 働く場としての魅力がない理由

- ・「雇用の場が少ない」の割合が最も高い。
- ・次いで、「給与水準が低い」の割合が高い。

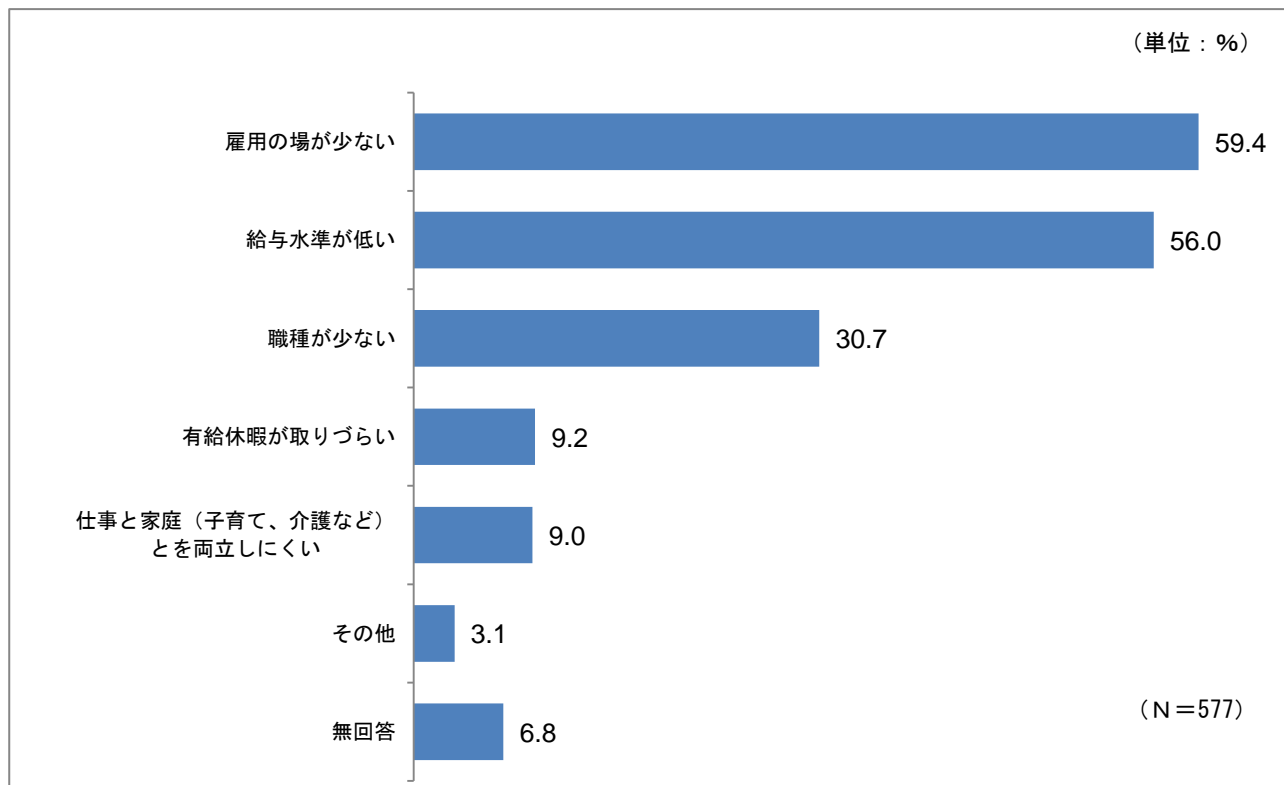
問5-2 問5で、「魅力がない」または「あまり魅力がない」に○をつけた方に伺います。その理由はなんですか。(2つまで○印)

	回答数 (件)	回答率 (%)
雇用の場が少ない	343	59.4
給与水準が低い	323	56.0
職種が少ない	177	30.7
有給休暇が取りづらい	53	9.2
仕事と家庭(子育て、介護など)とを両立しにくい	52	9.0
その他	18	3.1
無回答	39	6.8
計	1,005	

(標本数 : 577 件)

※「その他」内容

- ・「通年就業ができてにくい」、「閉鎖的である」 など





属性別集計（性別、年齢別）

		標本数(件)	働く場としての魅力がない理由(%)						
			雇用の場が少ない	給与水準が低い	職種が少ない	有給休暇が取りづらい	仕事と家庭とを両立しにくい	その他	無回答
性別	男	245	60.4	50.2	31.8	9.4	4.5	2.9	8.2
	女	314	58.0	60.2	30.6	9.6	12.4	3.5	5.4
年齢	10代・20代	32	59.4	50.0	25.0	6.3	12.5	3.1	9.4
	30代	79	41.8	64.6	35.4	12.7	10.1	3.8	8.9
	40代	105	47.6	67.6	24.8	13.3	11.4	1.9	9.5
	50代	139	62.6	55.4	30.2	8.6	10.1	2.9	7.2
	60代	139	69.1	54.0	31.7	10.1	5.8	2.9	5.0
	70代以上	79	69.6	40.5	34.2	1.3	6.3	5.1	2.5

【性別】

- ・男性は「雇用の場が少ない」の割合が、女性は「給与水準が低い」の割合が最も高い。
- ・女性は男性に比べ、「仕事と家庭とを両立しにくい」の割合が高い。

【年齢別】

- ・30代及び40代を除く年代で「雇用の場が少ない」の割合が最も高い。

属性別集計（居住地域別、職業別）

		標本数(件)	働く場としての魅力がない理由(%)						
			雇用の場が少ない	給与水準が低い	職種が少ない	有給休暇が取りづらい	仕事と家庭とを両立しにくい	その他	無回答
居住地域	高山地域	351	58.7	58.7	29.6	10.8	8.3	3.4	4.8
	丹生川地域	31	74.2	64.5	16.1	3.2	6.5	0.0	12.9
	清見地域	23	52.2	65.2	21.7	4.3	13.0	8.7	8.7
	荘川地域	9	55.6	33.3	33.3	0.0	33.3	11.1	0.0
	一之宮地域	17	58.8	41.2	35.3	17.6	5.9	5.9	5.9
	久々野地域	28	50.0	53.6	46.4	3.6	10.7	0.0	14.3
	朝日地域	12	83.3	41.7	58.3	8.3	0.0	0.0	0.0
	高根地域	3	66.7	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	国府地域	64	51.6	59.4	23.4	7.8	10.9	3.1	12.5
	上宝地域	20	85.0	25.0	55.0	0.0	10.0	0.0	0.0
奥飛騨温泉郷地域	10	70.0	40.0	60.0	10.0	0.0	0.0	0.0	
職業	農林畜産業	20	85.0	45.0	30.0	0.0	20.0	0.0	5.0
	自営業	63	73.0	38.1	36.5	3.2	3.2	6.3	7.9
	会社員・公務員・団体職員	186	50.5	65.1	26.3	15.6	5.4	2.2	8.6
	パート・アルバイト・内職	116	55.2	64.7	25.0	9.5	13.8	2.6	6.9
	家事従事者	58	67.2	55.2	44.8	10.3	13.8	1.7	1.7
	学生	7	71.4	42.9	28.6	0.0	0.0	0.0	14.3
	無職	115	60.9	46.1	32.2	3.5	9.6	4.3	6.1
	その他	10	60.0	50.0	50.0	10.0	0.0	10.0	0.0

【居住地域別】

- ・清見地域、久々野地域及び国府地域を除く居住地域で「雇用の場が少ない」の割合が最も高い。

【職業別】

- ・会社員・公務員・団体職員及びパート・アルバイト・内職を除く職業で「雇用の場が少ない」の割合が最も高い。

## 2 高山市の市政運営について

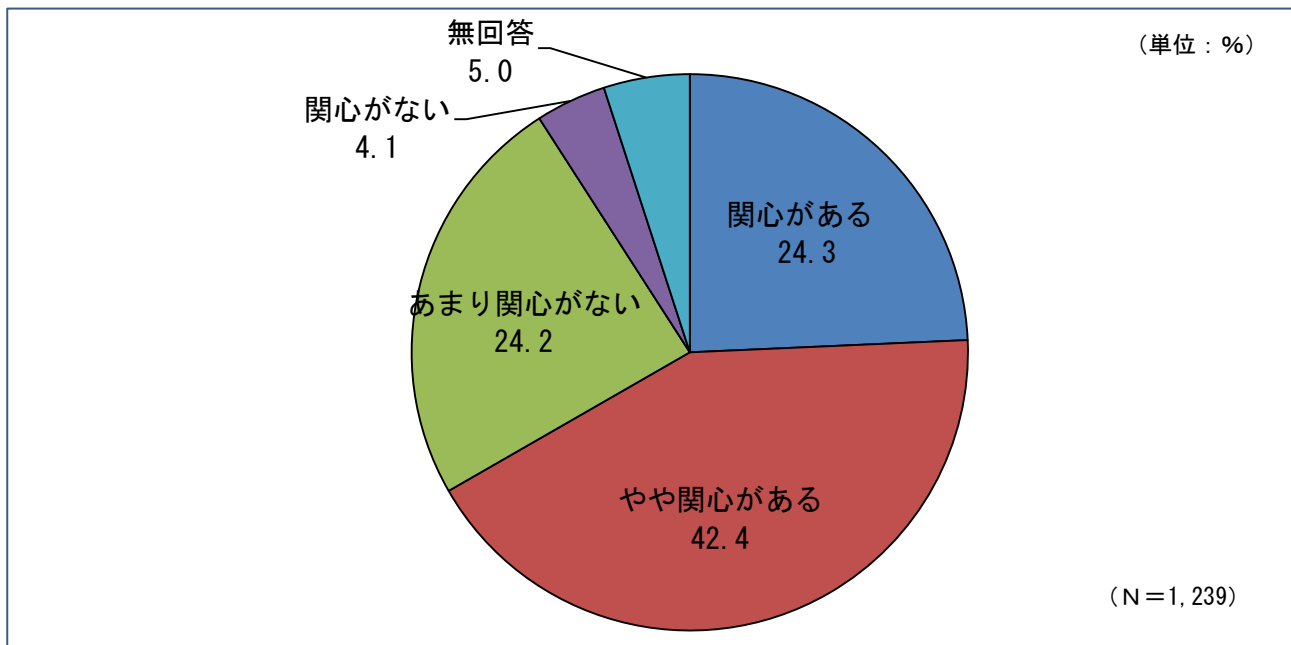
### 1 市政運営への関心

- ・「やや関心がある」の割合が最も高い。
- ・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせると 66.7%を占めている。

問6 あなたは、高山市の市政運営に関心をお持ちですか。(1つに○印)

	回答数 (件)	回答率 (%)
関心がある	301	24.3
やや関心がある	525	42.4
あまり関心がない	300	24.2
関心がない	51	4.1
無回答	62	5.0
計	1,239	

(標本数：1,239件)



属性別集計（性別、年齢別）

		標本数 (件)	市政運営の関心 (%)				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない	無回答
性別	男	499	30.3	43.1	18.6	4.4	3.6
	女	691	19.7	42.0	28.9	3.6	5.8
年齢	10代・20代	70	10.0	21.4	50.0	18.6	0.0
	30代	144	18.8	41.7	31.9	4.9	2.8
	40代	170	15.3	46.5	31.2	4.7	2.4
	50代	219	23.3	42.5	24.7	5.9	3.7
	60代	305	25.6	47.5	20.7	1.0	5.2
	70代以上	318	33.6	40.9	15.1	1.6	8.8

【性別】

- ・男女ともに「やや関心がある」の割合が最も高い。
- ・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた割合は、男性が高い（男性：73.4% 女性61.7%）。

【年齢別】

- ・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた割合は、70代以上が最も高く（74.5%）、10代・20代が最も低い（31.4%）。
- ・10代及・20代は他の年代に比べ、「あまり関心がない」の割合が高い。

属性別集計（居住地域別、定住年数別）

		標本数 (件)	市政運営の関心 (%)				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない	無回答
居住地域	高山地域	795	24.7	42.1	25.2	3.9	4.2
	丹生川地域	66	31.8	50.0	13.6	3.0	1.5
	清見地域	44	13.6	52.3	22.7	6.8	4.5
	荘川地域	20	20.0	55.0	5.0	10.0	10.0
	一之宮地域	29	31.0	37.9	20.7	3.4	6.9
	久々野地域	56	19.6	41.1	30.4	7.1	1.8
	朝日地域	26	42.3	19.2	26.9	0.0	11.5
	高根地域	9	11.1	33.3	44.4	11.1	0.0
	国府地域	124	20.2	43.5	22.6	4.0	9.7
	上宝地域	34	17.6	44.1	32.4	2.9	2.9
	奥飛騨温泉郷地域	18	27.8	38.9	22.2	5.6	5.6
定住年数	1年未満	10	10.0	30.0	40.0	20.0	0.0
	1年以上～5年未満	58	24.1	29.3	32.8	12.1	1.7
	5年以上～10年未満	76	19.7	35.5	34.2	6.6	3.9
	10年以上～20年未満	111	16.2	35.1	33.3	8.1	7.2
	20年以上	966	25.5	45.0	22.0	2.8	4.7

【居住地域別】

- ・朝日地域及び高根地域を除く居住地域で「やや関心がある」の割合が最も高い。
- ・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた割合は、丹生川地域が最も高く（81.8%）、高根地域が最も低い（44.4%）。
- ・高根地域は他の居住地域に比べ、「あまり関心がない」の割合が高い。

【定住年数別】

- ・1年未満及び1年以上～5年未満を除く定住年数で「やや関心がある」の割合が最も高い。
- ・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた割合は、20年以上が最も高く（70.5%）、1年未満が最も低い（40.0%）。

## 2 今後の重要課題

- ・「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。
- ・次いで、「医療・福祉サービスの確保」、「雇用の場の創出」の割合が高い。

問7 あなたは、今後、高山市がどのようなことに重点的に取り組むべきだとお考えですか。（3つまで○印）

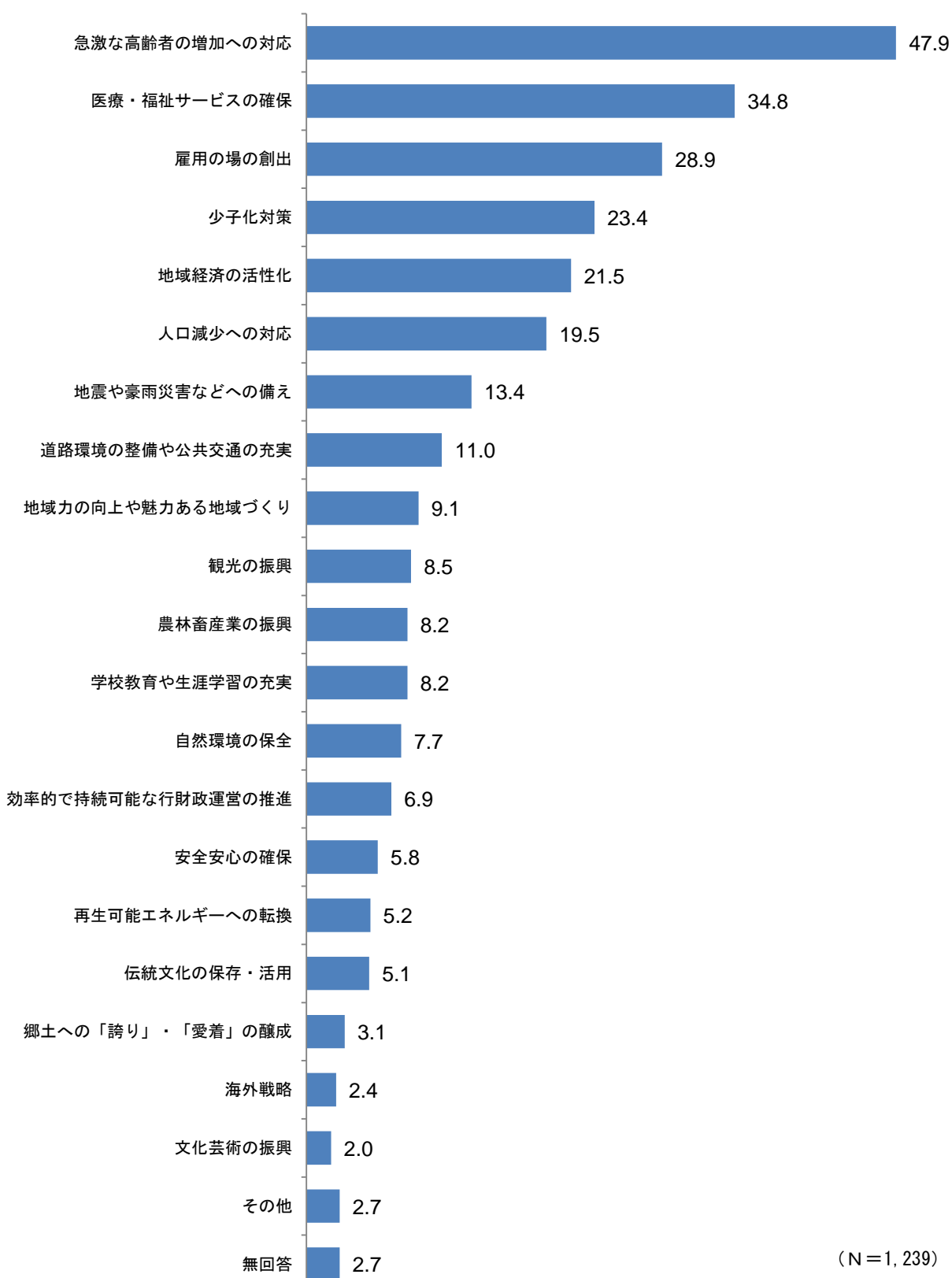
	回答数（件）	回答率（％）
急激な高齢者の増加への対応	594	47.9
医療・福祉サービスの確保	431	34.8
雇用の場の創出	358	28.9
少子化対策（妊娠、出産への支援、子育てしやすい環境づくり）	290	23.4
地域経済の活性化	267	21.5
人口減少への対応	242	19.5
地震や豪雨災害などへの備え	166	13.4
道路環境の整備や公共交通の充実	136	11.0
地域力の向上や魅力ある地域づくり	113	9.1
観光の振興（魅力ある観光地づくり、誘客促進）	105	8.5
農林畜産業の振興	102	8.2
学校教育や生涯学習の充実	101	8.2
自然環境の保全	95	7.7
効率的で持続可能な行財政運営の推進	85	6.9
安全安心の確保（消防、防犯、交通安全）	72	5.8
再生可能エネルギーへの転換	64	5.2
伝統文化の保存・活用	63	5.1
郷土への「誇り」・「愛着」の醸成	39	3.1
海外戦略（外国人観光客の誘致、地元産品の販路拡大、国際交流）	30	2.4
文化芸術の振興	25	2.0
その他（※）	34	2.7
無回答	33	2.7
計	3,445	

（標本数：1,239件）

※「その他」の内容

- ・「冬場の雪に対する対策の充実」、「大学の創設」、「情報通信網の整備」、「旧郡部の振興」など

(単位：%)



(N=1,239)

属性別集計（性別、年齢別）

		性別		年齢					
		男	女	10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数（件）		499	691	70	144	170	219	305	318
今後の重要課題（％）	急激な高齢者の増加への対応	40.9	52.4	27.1	30.6	33.5	41.6	60.0	60.1
	医療・福祉サービスの確保	27.7	39.1	25.7	22.2	32.9	40.6	35.4	39.3
	雇用の場の創出	31.9	27.5	34.3	30.6	32.9	41.1	26.9	18.9
	少子化対策	22.4	24.9	37.1	41.7	20.6	18.3	23.3	17.3
	地域経済の活性化	23.6	20.5	21.4	19.4	27.1	22.4	22.3	19.2
	人口減少への対応	25.1	14.8	10.0	11.8	15.3	16.4	20.0	28.9
	地震や豪雨災害などへの備え	11.2	14.6	12.9	11.1	14.7	7.3	14.4	17.3
	道路環境の整備や公共交通の充実	12.2	10.4	20.0	8.3	20.6	12.3	7.5	7.5
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	9.0	9.3	4.3	5.6	5.3	12.8	12.8	7.5
	観光の振興	9.2	8.2	14.3	14.6	8.8	6.8	7.5	6.0
	農林畜産業の振興	10.2	6.7	7.1	11.8	8.2	5.9	9.5	6.9
	学校教育や生涯学習の充実	7.8	8.8	10.0	15.3	15.3	8.2	5.2	3.5
	自然環境の保全	9.4	6.1	8.6	11.1	8.2	5.0	7.5	7.5
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	8.2	6.1	8.6	6.9	5.9	7.8	8.9	4.4
	安全安心の確保	4.4	6.8	1.4	5.6	7.6	4.6	3.6	8.8
	再生可能エネルギーへの転換	4.6	5.8	2.9	11.1	7.1	7.8	3.9	1.6
	伝統文化の保存・活用	6.2	4.3	5.7	6.3	8.2	4.6	3.3	5.0
	郷土への「誇り」・「愛着」の醸成	3.4	2.7	4.3	2.8	2.9	1.4	3.6	3.1
	海外戦略	2.4	2.3	5.7	5.6	1.2	3.7	0.3	2.2
	文化芸術の振興	2.6	1.4	1.4	2.8	1.2	1.8	3.3	1.3
その他	3.2	2.6	2.9	3.5	4.7	4.1	1.0	2.2	
無回答	3.4	2.0	2.9	1.4	1.2	3.2	1.6	4.4	

【性別】

- ・男女ともに「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。

【年齢別】

- ・10代及・20代及び30代を除く年代で「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。
- ・10代及・20代及び30代は他の年代に比べ、「少子化対策」の割合が高い。



属性別集計（居住地域別）

		居住地域										
		高山地域	丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝地域	奥飛騨温泉郷地域
標本数（件）		795	66	44	20	29	56	26	9	124	34	18
今後の重要課題（％）	急激な高齢者の増加への対応	51.2	42.4	50.0	45.0	37.9	32.1	34.6	55.6	41.9	44.1	55.6
	医療・福祉サービスの確保	35.2	33.3	31.8	30.0	31.0	30.4	34.6	55.6	37.9	47.1	16.7
	雇用の場の創出	26.9	33.3	31.8	35.0	20.7	44.6	50.0	22.2	29.8	32.4	11.1
	少子化対策	24.4	21.2	27.3	30.0	27.6	26.8	3.8	11.1	19.4	23.5	22.2
	地域経済の活性化	21.3	19.7	22.7	30.0	31.0	23.2	30.8	0.0	23.4	8.8	33.3
	人口減少への対応	15.8	16.7	22.7	35.0	20.7	32.1	53.8	44.4	21.0	38.2	22.2
	地震や豪雨災害などへの備え	15.1	6.1	9.1	0.0	13.8	10.7	3.8	0.0	16.9	5.9	11.1
	道路環境の整備や公共交通の充実	10.4	18.2	6.8	5.0	6.9	8.9	15.4	44.4	4.0	29.4	22.2
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	6.4	12.1	13.6	15.0	13.8	17.9	15.4	22.2	11.3	11.8	16.7
	観光の振興	9.8	6.1	11.4	0.0	6.9	3.6	3.8	11.1	4.8	0.0	16.7
	農林畜産業の振興	6.7	15.2	18.2	10.0	6.9	14.3	3.8	0.0	11.3	8.8	0.0
	学校教育や生涯学習の充実	7.8	4.5	2.3	5.0	17.2	8.9	3.8	0.0	13.7	5.9	16.7
	自然環境の保全	8.3	12.1	9.1	0.0	10.3	5.4	3.8	11.1	5.6	0.0	5.6
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	8.1	4.5	2.3	5.0	3.4	5.4	3.8	0.0	7.3	2.9	0.0
	安全安心の確保	7.2	6.1	2.3	0.0	10.3	0.0	3.8	0.0	0.8	2.9	16.7
	再生可能エネルギーへの転換	4.8	10.6	6.8	0.0	10.3	0.0	0.0	0.0	5.6	8.8	16.7
	伝統文化の保存・活用	5.8	1.5	2.3	5.0	3.4	8.9	0.0	11.1	4.8	2.9	0.0
	郷土への「誇り」・「愛着」の醸成	3.4	3.0	0.0	5.0	6.9	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0
	海外戦略	2.6	0.0	0.0	0.0	3.4	1.8	0.0	0.0	4.0	2.9	5.6
文化芸術の振興	1.9	4.5	2.3	0.0	3.4	3.6	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	
その他	2.4	3.0	2.3	5.0	3.4	3.6	3.8	0.0	4.8	0.0	0.0	
無回答	2.6	1.5	0.0	10.0	0.0	1.8	3.8	0.0	2.4	2.9	0.0	

【居住地域別】

- ・久々野地域、朝日地域及び上宝地域を除く居住地域で「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。
- ・久々野地域及び朝日地域は他の居住地域に比べ、「雇用の場の創出」の割合が高い。
- ・朝日地域は他の居住地域に比べ、「人口減少への対応」の割合が高い。
- ・高根地域及び上宝地域は他の居住地域に比べ、「医療・福祉サービスの確保」の割合が高い。
- ・高根地域は他の居住地域に比べ、「道路環境の整備や公共交通の充実」の割合が高い。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世代世帯	(うち中学生以下の子と同居)	三世代世帯	(うち中学生以下の子と同居)	その他
標本数（件）		92	236	572	(198)	284	(143)	31
今後の重要課題（％）	急激な高齢者の増加への対応	50.0	57.2	44.6	(39.4)	45.8	(43.4)	54.8
	医療・福祉サービスの確保	41.3	36.9	34.4	(31.8)	31.0	(32.9)	41.9
	雇用の場の創出	23.9	24.2	30.6	(31.3)	31.3	(30.8)	29.0
	少子化対策	16.3	23.3	23.4	(28.8)	25.0	(29.4)	32.3
	地域経済の活性化	20.7	20.3	23.6	(22.2)	20.1	(19.6)	22.6
	人口減少への対応	10.9	21.2	18.0	(15.7)	23.6	(23.1)	25.8
	地震や豪雨災害などへの備え	16.3	14.4	12.8	(11.6)	12.7	(14.0)	9.7
	道路環境の整備や公共交通の充実	15.2	9.7	11.9	(14.1)	9.5	(6.3)	3.2
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	3.3	9.7	9.1	(5.6)	10.6	(9.1)	6.5
	観光の振興	2.2	10.2	7.9	(9.6)	9.5	(9.1)	12.9
	農林畜産業の振興	8.7	4.7	6.3	(5.6)	14.4	(16.1)	12.9
	学校教育や生涯学習の充実	7.6	4.7	9.8	(18.2)	9.5	(14.0)	0.0
	自然環境の保全	9.8	10.6	7.2	(7.1)	5.6	(7.7)	9.7
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	8.7	8.1	6.5	(7.1)	7.0	(6.3)	0.0
	安全安心の確保	6.5	7.6	5.8	(6.1)	4.2	(4.2)	6.5
	再生可能エネルギーへの転換	1.1	4.2	6.5	(7.1)	5.6	(4.9)	0.0
	伝統文化の保存・活用	4.3	3.8	5.6	(7.1)	6.3	(7.0)	0.0
	郷土への「誇り」・「愛着」の醸成	3.3	3.0	3.1	(3.5)	2.5	(2.1)	3.2
	海外戦略	3.3	1.3	3.1	(3.5)	1.4	(0.7)	3.2
	文化芸術の振興	4.3	1.7	2.1	(0.0)	1.8	(2.8)	0.0
その他	1.1	0.8	3.5	(4.5)	2.8	(2.1)	3.2	
無回答	5.4	2.1	3.0	(2.5)	1.1	(0.7)	3.2	

【家族構成別】

- ・全ての家族構成で「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。

属性別集計（職業別）

		職業							
		農林畜産業	自営業	会社員・公務員・団体職員	パート・アルバイト・内職	家事従事者	学生	無職	その他
標本数（件）		79	147	309	209	131	14	308	22
今後の重要課題（％）	急激な高齢者の増加への対応	39.2	44.2	38.2	42.1	61.1	42.9	60.1	45.5
	医療・福祉サービスの確保	29.1	22.4	27.2	43.5	32.1	28.6	44.8	50.0
	雇用の場の創出	22.8	25.9	36.2	35.4	26.0	42.9	22.7	22.7
	少子化対策	29.1	24.5	26.9	23.9	23.7	28.6	18.2	13.6
	地域経済の活性化	19.0	36.7	21.7	20.1	19.8	7.1	18.2	22.7
	人口減少への対応	29.1	25.2	19.1	12.4	18.3	7.1	20.5	18.2
	地震や豪雨災害などへの備え	16.5	11.6	7.8	15.3	15.3	14.3	17.2	13.6
	道路環境の整備や公共交通の充実	6.3	10.2	14.9	9.6	12.2	28.6	9.1	0.0
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	11.4	10.2	9.1	10.5	12.2	0.0	5.8	18.2
	観光の振興	6.3	11.6	10.4	10.5	6.1	7.1	4.9	4.5
	農林畜産業の振興	43.0	1.4	8.7	6.7	6.1	0.0	4.2	9.1
	学校教育や生涯学習の充実	3.8	5.4	13.3	11.5	7.6	7.1	3.6	13.6
	自然環境の保全	3.8	9.5	7.4	6.7	7.6	7.1	9.1	0.0
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	7.6	7.5	9.1	4.3	8.4	7.1	5.5	4.5
	安全安心の確保	7.6	6.1	2.3	6.2	3.8	7.1	9.1	4.5
	再生可能エネルギーへの転換	2.5	6.8	5.8	9.1	4.6	7.1	1.9	9.1
	伝統文化の保存・活用	3.8	5.4	7.1	5.3	1.5	7.1	4.9	0.0
	郷土への「誇り」・「愛着」の醸成	2.5	2.7	1.6	2.4	2.3	7.1	5.2	4.5
	海外戦略	1.3	2.0	3.6	1.9	3.8	0.0	1.9	0.0
	文化芸術の振興	0.0	2.0	2.3	0.5	3.1	0.0	2.3	13.6
その他	2.5	4.1	3.6	1.9	1.5	0.0	1.9	13.6	
無回答	1.3	2.0	2.3	1.4	2.3	7.1	3.6	4.5	

【職業別】

- ・農林畜産業、パート・アルバイト・内職及びその他を除く職業で「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。
- ・農林畜産業は他の職業に比べ、「農林畜産業の振興」の割合が高い。
- ・学生は他の職業に比べ、「道路環境の整備や公共交通の充実」の割合が高い。

属性別集計（定住年数別）

		定住年数				
		1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上
標本数（件）		10	58	76	111	966
今後の重要課題（％）	急激な高齢者の増加への対応	30.0	27.6	39.5	36.9	51.2
	医療・福祉サービスの確保	20.0	13.8	27.6	29.7	37.7
	雇用の場の創出	20.0	20.7	28.9	31.5	29.5
	少子化対策	0.0	36.2	23.7	20.7	23.2
	地域経済の活性化	10.0	25.9	22.4	22.5	21.4
	人口減少への対応	20.0	12.1	18.4	16.2	20.3
	地震や豪雨災害などへの備え	10.0	15.5	13.2	17.1	12.9
	道路環境の整備や公共交通の充実	30.0	24.1	6.6	17.1	9.6
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	20.0	5.2	6.6	9.9	9.2
	観光の振興	10.0	25.9	14.5	5.4	7.2
	農林畜産業の振興	20.0	10.3	6.6	2.7	8.6
	学校教育や生涯学習の充実	10.0	6.9	13.2	11.7	7.5
	自然環境の保全	0.0	12.1	7.9	11.7	7.0
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	0.0	3.4	7.9	7.2	7.0
	安全安心の確保	0.0	5.2	5.3	2.7	6.3
	再生可能エネルギーへの転換	10.0	10.3	7.9	7.2	4.5
	伝統文化の保存・活用	0.0	8.6	6.6	6.3	4.8
	郷土への「誇り」・「愛着」の醸成	0.0	1.7	2.6	5.4	2.9
	海外戦略	0.0	8.6	3.9	4.5	1.8
	文化芸術の振興	10.0	5.2	3.9	1.8	1.7
その他	20.0	1.7	2.6	5.4	2.4	
無回答	10.0	0.0	3.9	2.7	2.4	

【定住年数別】

- ・ 1年以上～5年未満を除く定住年数で「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。
- ・ 1年以上～5年未満は他の定住年数に比べ、「少子化対策」の割合が高い。

### 3 高山市の取り組みに対する満足度と重要度

#### 【満足度】

- ・「安全で安心な水を安定して供給する」が最も高く、「誰もが能力を活かして働くことのできる環境を整備する」がもっとも低い。
- ・上位3施策について前回の調査結果と比べると、1位と2位は前回と同じで、3位の「一人ひとりの健康づくりを支援する」は8位から順位を上げている。

#### 【重要度】

- ・「いつでも安心して医療が受けられる環境を整備する」が最も高く、「誰もがやすらぐことのできる場を創出する」が最も低い。
- ・上位3施策について前回の調査結果と比べると、1位と2位は前回と同じで、同率2位の「災害に強いまちをつくる」は6位から順位を上げている。

問8 高山市では、「第七次総合計画」に基づき様々な施策に取り組んでいます。あなたは、これらの施策についてどのようにお考えですか。それぞれの施策ごとにあなたの考えに近いものを選んでください。（あてはまる番号にそれぞれ1つに○印）

【A】あなたは、現在、この施策にどのくらい満足していますか。

【B】あなたは、今後、まちづくりをすすめていくうえで、この施策がどのくらい重要だと思いますか。

（「重要度」、「満足度」における点数化の方法）

【A】現在の満足度	点数	【B】今後の重要度	点数
1 満足である	→ 50点	1 重要である	→ 50点
2 やや満足である	→ 25点	2 やや重要である	→ 25点
3 やや不満である	→ -25点	3 あまり重要でない	→ -25点
4 不満である	→ -50点	4 重要でない	→ -50点
5 分からない	→ 計算対象外	5 分からない	→ 計算対象外
無回答	→ 計算対象外	無回答	→ 計算対象外

（計算式）

$$\text{満足度} = \frac{(\text{満足}) \times (50) + (\text{やや満足}) \times (25) + (\text{やや不満}) \times (-25) + (\text{不満}) \times (-50)}{(\text{回答数}) - \{(\text{分からない}) + (\text{無回答})\}} + 50$$

$$\text{重要度} = \frac{(\text{重要}) \times (50) + (\text{やや重要}) \times (25) + (\text{あまり重要でない}) \times (-25) + (\text{重要でない}) \times (-50)}{(\text{回答数}) - \{(\text{分からない}) + (\text{無回答})\}} + 50$$

【A】現在の満足度

基本施策	(分野)	点数	順位	(前回)	
				点数	順位
(15) 安全で安心な水を安定して供給する	(上・下水道)	73.8	1	69.4	1
(16) 生活環境の向上と流域の水質保全を図る	(上・下水道)	73.0	2	69.1	2
(7) 一人ひとりの健康づくりを支援する	(健康・保健・医療)	68.3	3	61.9	8
(36) 郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える	(文化)	66.9	4	65.8	3
(18) 資源循環型社会の実現を図る	(環境・衛生)	66.8	5	63.5	4
(9) 恵まれた自然を守り活かす	(自然)	66.5	6	62.0	7
(34) 誰もが生涯を通じて自ら学ぶことのできる環境をつくる	(生涯学習)	62.2	7	60.0	12
(37) あらたな文化の創造と振興を図る	(文化)	62.2	7	62.8	6
(22) 日常生活における安全を確保する	(安全)	62.1	9	61.4	9
(25) 多くの人々に地域の魅力を知ってもらう	(観光)	61.8	10	61.1	10
(24) 人々のところを魅了する滞在型・通年型の観光地づくりを行う	(観光)	61.3	11	57.8	15
(23) 消費生活の安全と向上を図る	(安全)	60.6	12	55.9	18
(17) 快適に暮らせる環境を整備する	(環境・衛生)	60.4	13	63.0	5
(28) 安定した畜産経営環境を整備する	(畜産業)	60.2	14	59.0	13
(10) 潤いとおちつきをもたらす美しい景観を形成する	(景観)	59.6	15	60.4	11
(35) 誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる	(スポーツ)	58.9	16	55.4	20
(38) 地域に住み続けたいという思いを育てる	(地域)	58.8	17	57.9	14
(40) 市民と行政が協働してまちづくりに取り組む	(市民参画)	58.3	18	55.8	19
(32) 義務教育の充実を図る	(学校教育)	58.2	19	56.4	17
(8) いつでも安心して医療が受けられる環境を整備する	(健康・保健・医療)	57.9	20	45.6	37
(19) 情報社会の恩恵を享受する	(情報)	57.9	20	55.4	20
(2) 地域における支えあいの仕組みをつくる	(地域福祉)	57.7	22	53.5	26
(33) 幼児教育や高等教育の充実を図る	(学校教育)	57.6	23	54.6	22
(13) 誰もが安心して快適に住み続けられる居住環境を整備する	(住宅・公園)	57.4	24	51.7	32
(21) 災害における市民の暮らしを守る	(防災)	56.9	25	54.6	22
(6) 障がい者が安心して快適に暮らせる環境をつくる	(障がい者福祉)	56.6	26	53.0	28
(43) 地域全体の調和のとれた発展を図る	(行財政運営)	55.8	27	49.7	33
(5) 安心していきがいをもって老後を暮らせる環境をつくる	(高齢者福祉)	55.7	28	52.9	29
(11) 便利で快適な道路環境を整備する	(道路・交通)	55.3	29	56.5	16
(4) 次代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくる	(児童福祉)	54.8	30	52.6	30
(3) 誰もが安心して暮らせる環境をつくる	(地域福祉)	54.7	31	52.0	31
(39) 男女が互いに尊重しあい個性と能力が発揮できる環境をつくる	(地域)	54.7	31	54.6	22
(14) 誰もがやすらぐことのできる場を創出する	(住宅・公園)	52.6	33	53.4	27
(20) 災害に強いまちをつくる	(防災)	50.2	34	48.4	34
(42) 健全で持続可能な財政基盤の確立を図る	(行財政運営)	50.2	34	42.9	38
(26) 個性ある農業生産地づくりを行う	(農業)	49.1	36	54.4	25
(41) 簡素で効率的な行政運営を行う	(行財政運営)	49.0	37	41.7	39
(12) 公共交通機関の利便性を高める	(道路・交通)	48.5	38	48.0	35
(1) 住みよい生活環境の実現と市域全体の秩序ある発展を図る	(土地利用)	47.9	39	-	-
(27) 林業の振興と森林のもつ多面的な機能を維持する	(林業)	43.9	40	46.2	36
(29) 地域の特色を活かした魅力ある商業の振興を図る	(商業)	41.7	41	38.8	40
(30) 時代の流れに対応した活力ある工業の振興を図る	(工業)	40.3	42	36.5	41
(31) 誰もが能力を活かし安心して働くことのできる環境を整備する	(労働)	38.4	43	35.6	42

【B】今後の重要度

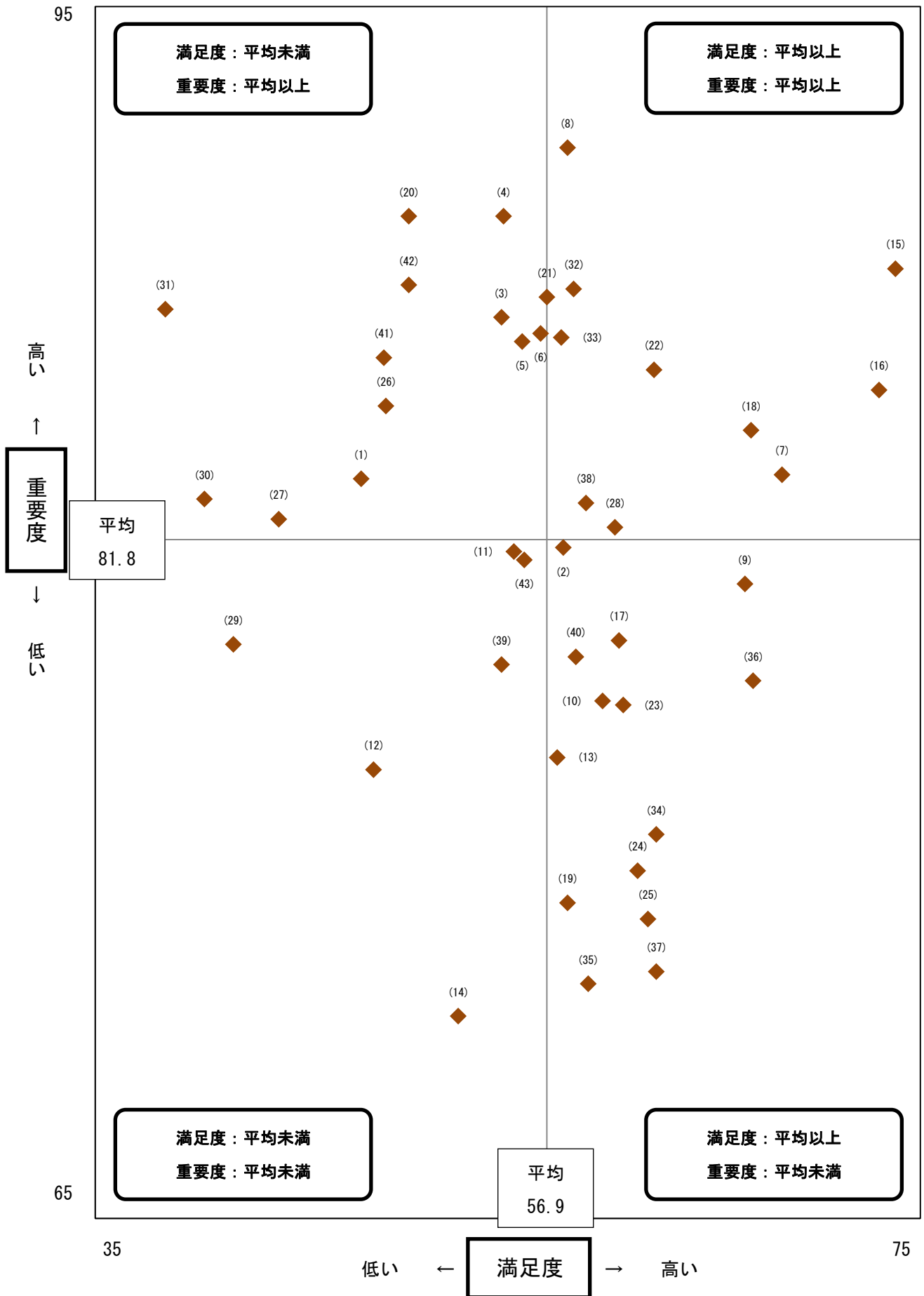
基本施策	(分野)	点数	順位	(前回)	
				点数	順位
(8) いつでも安心して医療が受けられる環境を整備する	(健康・保健・医療)	91.5	1	93.5	1
(4) 次代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくる	(児童福祉)	89.8	2	90.0	2
(20) 災害に強いまちをつくる	(防災)	89.8	2	87.2	6
(15) 安全で安心な水を安定して供給する	(上・下水道)	88.5	4	84.3	14
(42) 健全で持続可能な財政基盤の確立を図る	(行財政運営)	88.1	5	86.3	11
(32) 義務教育の充実を図る	(学校教育)	88.0	6	89.1	3
(21) 災害における市民の暮らしを守る	(防災)	87.8	7	86.7	9
(31) 誰もが能力を活かし安心して働くことのできる環境を整備する	(労働)	87.5	8	88.0	4
(3) 誰もが安心して暮らせる環境をつくる	(地域福祉)	87.3	9	87.8	5
(6) 障がい者が安心して快適に暮らせる環境をつくる	(障がい者福祉)	86.9	10	86.5	10
(33) 幼児教育や高等教育の充実を図る	(学校教育)	86.8	11	86.8	8
(5) 安心していきがいをもって老後を暮らせる環境をつくる	(高齢者福祉)	86.7	12	87.1	7
(41) 簡素で効率的な行政運営を行う	(行財政運営)	86.3	13	85.3	12
(22) 日常生活における安全を確保する	(安全)	86.0	14	84.1	16
(16) 生活環境の向上と流域の水質保全を図る	(上・下水道)	85.5	15	81.6	18
(26) 個性ある農業生産地づくりを行う	(農業)	85.1	16	76.8	27
(18) 資源循環型社会の実現を図る	(環境・衛生)	84.5	17	85.2	13
(7) 一人ひとりの健康づくりを支援する	(健康・保健・医療)	83.4	18	81.0	20
(1) 住みよい生活環境の実現と市域全体の秩序ある発展を図る	(土地利用)	83.3	19	-	-
(30) 時代の流れに対応した活力ある工業の振興を図る	(工業)	82.8	20	79.4	23
(38) 地域に住み続けたいという思いを育てる	(地域)	82.7	21	80.0	21
(27) 林業の振興と森林のもつ多面的な機能を維持する	(林業)	82.3	22	78.5	24
(28) 安定した畜産経営環境を整備する	(畜産業)	82.1	23	76.0	30
(2) 地域における支えあいの仕組みをつくる	(地域福祉)	81.6	24	84.2	15
(11) 便利で快適な道路環境を整備する	(道路・交通)	81.5	25	77.8	25
(43) 地域全体の調和のとれた発展を図る	(行財政運営)	81.3	26	81.4	19
(9) 恵まれた自然を守り活かす	(自然)	80.7	27	79.9	22
(17) 快適に暮らせる環境を整備する	(環境・衛生)	79.3	28	82.1	17
(29) 地域の特色を活かした魅力ある商業の振興を図る	(商業)	79.2	29	76.0	30
(40) 市民と行政が協働してまちづくりに取り組む	(市民参画)	78.9	30	77.1	26
(39) 男女が互いに尊重しあい個性と能力が発揮できる環境をつくる	(地域)	78.7	31	73.6	36
(36) 郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える	(文化)	78.3	32	76.1	29
(10) 潤いとおちつきをもたらす美しい景観を形成する	(景観)	77.8	33	74.2	32
(23) 消費生活の安全と向上を図る	(安全)	77.7	34	76.6	28
(13) 誰もが安心して快適に住み続けられる居住環境を整備する	(住宅・公園)	76.4	35	73.7	34
(12) 公共交通機関の利便性を高める	(道路・交通)	76.1	36	73.7	34
(34) 誰もが生涯を通じて自ら学ぶことのできる環境をつくる	(生涯学習)	74.5	37	73.8	33
(24) 人々のところを魅了する滞在型・通年型の観光地づくりを行う	(観光)	73.6	38	70.1	38
(19) 情報社会の恩恵を享受する	(情報)	72.8	39	73.2	37
(25) 多くの人々に地域の魅力を知ってもらう	(観光)	72.4	40	67.5	39
(37) あらたな文化の創造と振興を図る	(文化)	71.1	41	64.7	41
(35) 誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる	(スポーツ)	70.8	42	67.0	40
(14) 誰もがやすらぐことのできる場を創出する	(住宅・公園)	70.0	43	63.7	42

(参考) 第七次総合計画基本施策一覧 (施策体系順)

分野	基本施策
土地利用	(1) 住みよい生活環境の実現と市域全体の秩序ある発展を図る
地域福祉	(2) 地域における支えあいの仕組みをつくる (3) 誰もが安心して暮らせる環境をつくる
児童福祉	(4) 次代を担う子どもたちが健やかに育つ環境をつくる
高齢者福祉	(5) 安心していきがいをもって老後を暮らせる環境をつくる
障がい者福祉	(6) 障がい者が安心して快適に暮らせる環境をつくる
健康・保健・医療	(7) 一人ひとりの健康づくりを支援する (8) いつでも安心して医療が受けられる環境を整備する
自然	(9) 恵まれた自然を守り活かす
景観	(10) 潤いとおちつきをもたらす美しい景観を形成する
道路・交通	(11) 便利で快適な道路環境を整備する (12) 公共交通機関の利便性を高める
住宅・公園	(13) 誰もが安心して快適に住み続けられる居住環境を整備する (14) 誰もがやすらぐことのできる場を創出する
上・下水道	(15) 安全で安心な水を安定して供給する (16) 生活環境の向上と流域の水質保全を図る
環境・衛生	(17) 快適に暮らせる環境を整備する (18) 資源循環型社会の実現を図る
情報	(19) 情報社会の恩恵を享受する
防災	(20) 災害に強いまちをつくる (21) 災害における市民の暮らしを守る
安全	(22) 日常生活における安全を確保する (23) 消費生活の安全と向上を図る
観光	(24) 人々のところを魅了する滞在型・通年型の観光地づくりを行う (25) 多くの人々に地域の魅力を知ってもらう
農業	(26) 個性ある農業生産地づくりを行う
林業	(27) 林業の振興と森林のもつ多面的な機能を維持する
畜産業	(28) 安定した畜産経営環境を整備する
商業	(29) 地域の特色を活かした魅力ある商業の振興を図る
工業	(30) 時代の流れに対応した活力ある工業の振興を図る
労働	(31) 誰もが能力を活かし安心して働くことのできる環境を整備する
学校教育	(32) 義務教育の充実を図る (33) 幼児教育や高等教育の充実を図る
生涯学習	(34) 誰もが生涯を通じて自ら学ぶことのできる環境をつくる
スポーツ	(35) 誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる
文化	(36) 郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える (37) あらたな文化の創造と振興を図る
地域	(38) 地域に住み続けたいという思いを育てる (39) 男女が互いに尊重しあい個性と能力が発揮できる環境をつくる
市民参画	(40) 市民と行政が協働してまちづくりに取り組む
行財政運営	(41) 簡素で効率的な行政運営を行う (42) 健全で持続可能な財政基盤の確立を図る (43) 地域全体の調和のとれた発展を図る



満足度と重要度の相関図



### 3 市民（地域）と行政との協働によるまちづくりについて

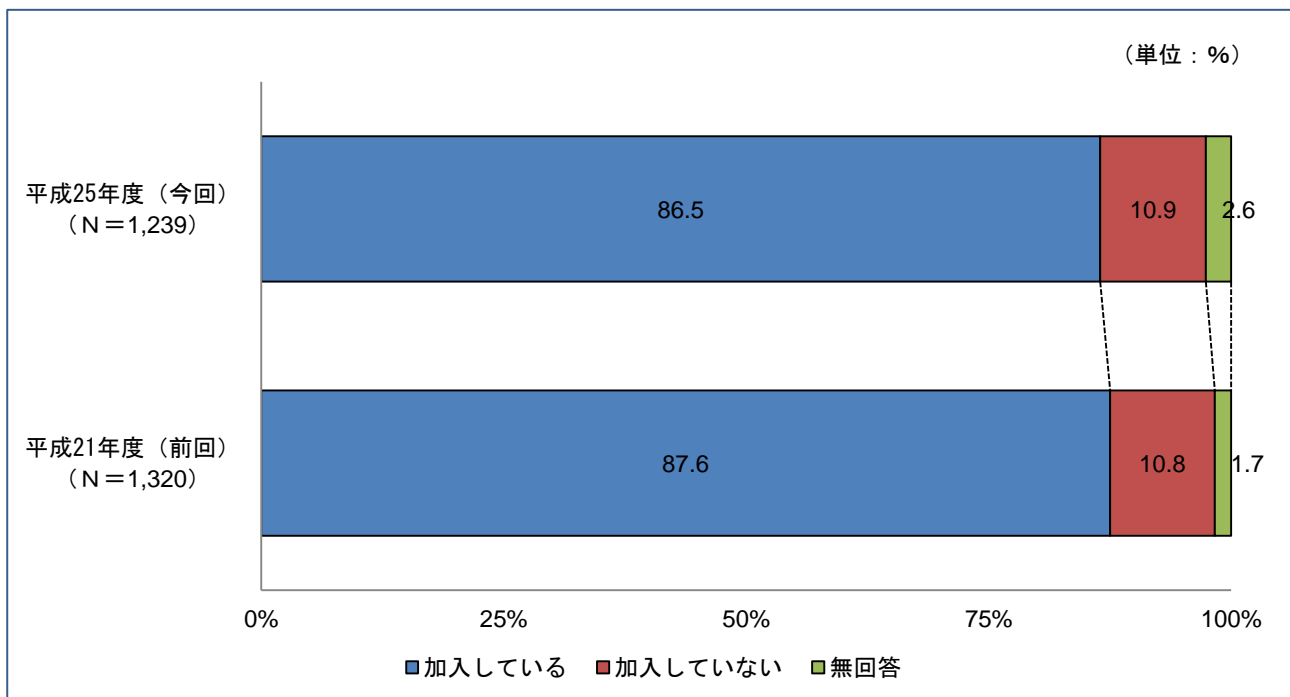
#### 1 町内会への加入状況

・「加入している」が86.5%で、前回の調査結果（87.6%）に比べ1.1ポイント低下している。

問9 あなたは、町内会（自治会）に加入していますか。（1つに○印）

	回答数（件）	回答率（%）
加入している	1,072	86.5
加入していない	135	10.9
無回答	32	2.6
計	1,239	

（標本数：1,239件）



属性別集計（年齢別、家族構成別、定住年数別、居住形態別）

		標本数(件)	町内会への加入状況(%)		
			加入している	加入していない	無回答
年齢	10代・20代	70	64.3	34.3	1.4
	30代	144	68.1	31.9	0.0
	40代	170	86.5	12.4	1.2
	50代	219	89.5	9.1	1.4
	60代	305	95.7	3.3	1.0
	70代以上	318	89.6	4.1	6.3
家族構成	単身世帯	92	66.3	30.4	3.3
	夫婦のみ	236	80.9	16.1	3.0
	二世帯世帯 (うち中学生以下の子と同居)	572 (198)	90.2 (84.3)	8.6 (14.1)	1.2 (1.5)
	三世帯世帯 (うち中学生以下の子と同居)	284 (143)	92.3 (93.7)	3.9 (3.5)	3.9 (2.8)
	その他	31	83.9	16.1	0.0
定住年数	1年未満	10	20.0	80.0	0.0
	1年以上～5年未満	58	55.2	43.1	1.7
	5年以上～10年未満	76	71.1	26.3	2.6
	10年以上～20年未満	111	79.3	17.1	3.6
	20年以上	966	91.3	6.4	2.3
居住形態	持ち家	1,083	93.3	4.2	2.6
	借家	112	33.0	67.0	0.0
	間借	0	-	-	-
	社宅・寮	25	52.0	44.0	4.0
	その他	6	66.7	33.3	0.0

【年齢別】

・「加入している」の割合は、60代が最も高く、10代・20代が最も低い。

【家族構成別】

・「加入している」の割合は、中学生以下の子と同居する三世帯世帯が最も高く、単身世帯が最も低い。

【定住年数別】

・1年未満は他の定住年数に比べ、「加入していない」の割合が高い。

【居住形態別】

・借家は他の居住形態に比べ、「加入していない」の割合が高い。

## 1-2 町内会に加入しない理由

・「賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため」の割合が最も高い。

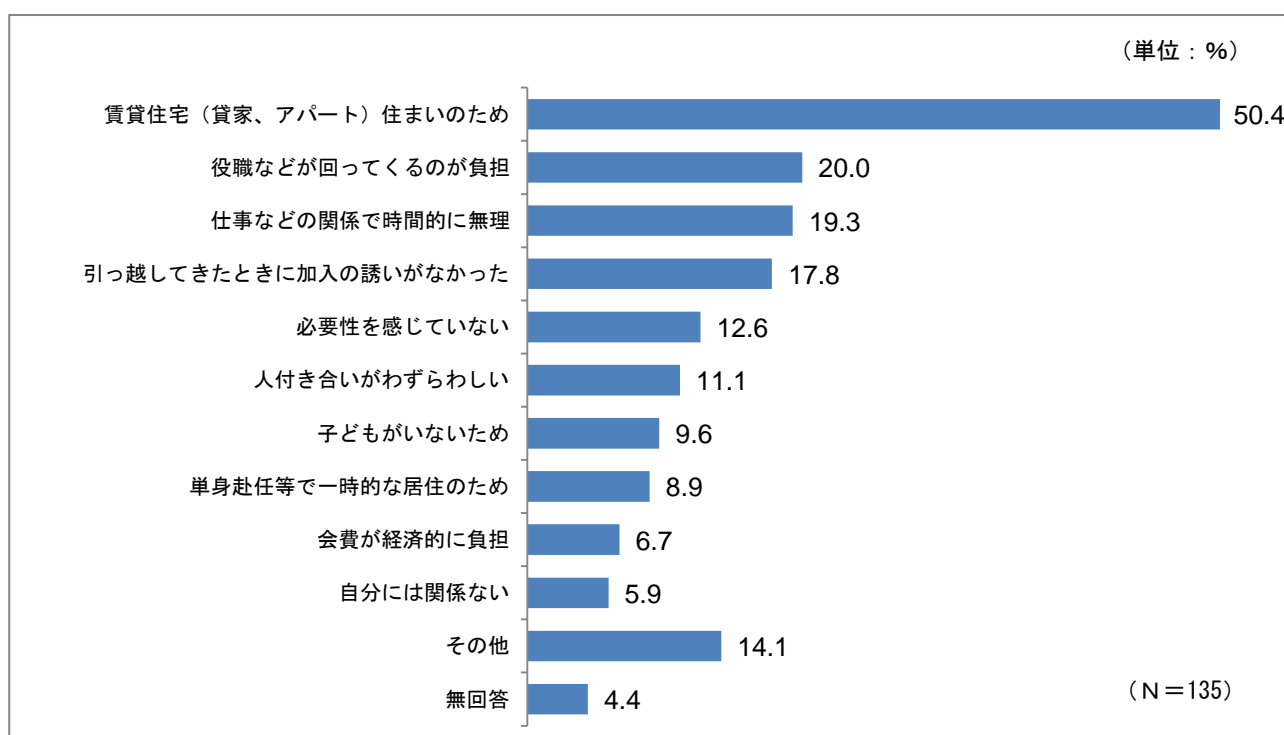
問9-2 問9で、「加入していない」に○をつけた方に伺います。その理由はなんですか。（3つまで○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため	68	50.4
役職などが回ってくるのが負担	27	20.0
仕事などの関係で時間的に無理	26	19.3
引っ越してきたときに加入の誘いがなかった	24	17.8
必要性を感じていない	17	12.6
人付き合いがわずらわしい	15	11.1
子どもがいないため	13	9.6
単身赴任等で一時的な居住のため	12	8.9
会費が経済的に負担	9	6.7
自分には関係ない	8	5.9
その他（※）	19	14.1
無回答	6	4.4
計	244	

(標本数：135件)

※「その他」の内容

・「親が加入しているため」、「体調が良くないため」、「高齢のため」 など



属性別集計（年齢別）

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数（件）		24	46	21	20	10	13
町内会に加入しない理由（%）	賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため	25.0	69.6	76.2	45.0	20.0	23.1
	役職などが回ってくるのが負担	20.8	10.9	9.5	40.0	30.0	23.1
	仕事などの関係で時間的に無理	8.3	13.0	23.8	30.0	40.0	23.1
	引っ越してきたときに加入の誘いがなかった	16.7	19.6	28.6	20.0	0.0	7.7
	必要性を感じていない	12.5	6.5	9.5	5.0	20.0	38.5
	人付き合いがわずらわしい	12.5	8.7	4.8	20.0	0.0	15.4
	子どもがいないため	8.3	10.9	0.0	20.0	0.0	15.4
	単身赴任等で一時的な居住のため	8.3	6.5	23.8	10.0	0.0	0.0
	会費が経済的に負担	8.3	6.5	0.0	5.0	20.0	7.7
	自分には関係ない	20.8	2.2	0.0	5.0	10.0	0.0
	その他	29.2	10.9	0.0	5.0	30.0	23.1
	無回答	4.2	4.3	0.0	5.0	10.0	7.7

【年齢別】

- ・ 10代・20代は年代に比べ、「自分には関係ない」の割合が高い。
- ・ 40代以上は他の年代に比べ、「単身赴任等で一時的な居住のため」の割合が高い。
- ・ 50代以上は他の年代に比べ、「役職などが回ってくるのが負担」の割合が高い。
- ・ 60代では他の年代に比べ、「仕事などの関係で時間的に無理」及び「会費が経済的に負担」の割合が高い。
- ・ 70代以上は他の年代に比べ、「必要性を感じていない」の割合が高い。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世帯世帯 (うち中学生以下の子と同居)	三世帯世帯 (うち中学生以下の子と同居)	その他		
標本数（件）		28	38	49 (28)	11 (5)	5		
町内会に加入しない理由（％）	賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため	71.4	60.5	44.9 (67.9)	0.0 (0.0)	40.0		
	役職などが回ってくるのが負担	7.1	23.7	20.4 (7.1)	27.3 (40.0)	40.0		
	仕事などの関係で時間的に無理	21.4	21.1	18.4 (10.7)	18.2 (20.0)	0.0		
	引っ越してきたときに加入の誘いがなかった	10.7	23.7	20.4 (28.6)	9.1 (0.0)	20.0		
	必要性を感じていない	7.1	13.2	12.2 (14.3)	18.2 (0.0)	20.0		
	人付き合いがわずらわしい	14.3	13.2	4.1 (0.0)	18.2 (40.0)	20.0		
	子どもがいないため	3.6	21.1	4.1 (0.0)	9.1 (0.0)	20.0		
	単身赴任等で一時的な居住のため	17.9	10.5	4.1 (7.1)	9.1 (20.0)	0.0		
	会費が経済的に負担	7.1	5.3	6.1 (3.6)	18.2 (20.0)	0.0		
	自分には関係ない	0.0	5.3	8.2 (3.6)	18.2 (20.0)	0.0		
	その他	14.3	7.9	10.2 (3.6)	36.4 (20.0)	60.0		
無回答	0.0	2.6	8.2 (7.1)	0.0 (0.0)	0.0			

【家族構成別】

- ・三世帯世帯及びその他を除く家族構成で「賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため」の割合が最も高い。
- ・夫婦のみの世帯は他の家族構成に比べ、「子どもがいないため」の割合が高い。
- ・三世帯世帯は他の家族構成に比べ、「会費が経済的に負担」及び「自分には関係ない」の割合が高い。

属性別集計(定住年数別)

		定住年数				
		1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上
標本数(件)		8	25	20	19	62
町内会に加入しない理由(%)	賃貸住宅(貸家、アパート)住まいのため	37.5	76.0	75.0	36.8	38.7
	役職などが回ってくるのが負担	0.0	4.0	15.0	15.8	30.6
	仕事などの関係で時間的に無理	12.5	20.0	5.0	15.8	25.8
	引っ越してきたときに加入の誘いがなかった	37.5	28.0	20.0	15.8	11.3
	必要性を感じていない	12.5	4.0	5.0	26.3	12.9
	人付き合いがわずらわしい	25.0	8.0	15.0	15.8	6.5
	子どもがいないため	25.0	4.0	5.0	10.5	11.3
	単身赴任等で一時的な居住のため	25.0	24.0	10.0	0.0	3.2
	会費が経済的に負担	0.0	4.0	0.0	0.0	12.9
	自分には関係ない	25.0	0.0	5.0	5.3	6.5
	その他	0.0	4.0	5.0	31.6	17.7
無回答	0.0	4.0	10.0	5.3	3.2	

【定住年数別】

- ・全ての定住年数で「賃貸住宅(貸家、アパート)住まいのため」の割合が最も高い。
- ・20年以上は他の定住年数に比べ、「役職などが回ってくるのが負担」の割合が高い。

属性別集計(居住形態別)

		居住形態				
		持ち家	借家	間借	社宅・寮	その他
標本数(件)		45	75	0	11	2
町内会に加入しない理由(%)	賃貸住宅(貸家、アパート)住まいのため	0.0	80.0	-	72.7	0.0
	役職などが回ってくるのが負担	35.6	12.0	-	0.0	0.0
	仕事などの関係で時間的に無理	31.1	13.3	-	18.2	0.0
	引っ越してきたときに加入の誘いがなかった	4.4	24.0	-	27.3	50.0
	必要性を感じていない	15.6	9.3	-	9.1	0.0
	人付き合いがわずらわしい	13.3	9.3	-	9.1	0.0
	子どもがいないため	6.7	9.3	-	18.2	0.0
	単身赴任等で一時的な居住のため	2.2	9.3	-	36.4	0.0
	会費が経済的に負担	13.3	4.0	-	0.0	0.0
	自分には関係ない	13.3	1.3	-	9.1	0.0
	その他	31.1	5.3	-	0.0	50.0
	無回答	6.7	4.0	-	0.0	0.0

【居住形態別】

- ・ 持ち家を除く居住形態で「賃貸住宅(貸家、アパート)住まいのため」の割合が最も高い。
- ・ 持ち家は他の居住形態に比べ、「役職などが回ってくるのが負担」の割合が高い。
- ・ 社宅・寮は他の居住形態に比べ、「単身赴任等で一時的な居住のため」の割合が高い。



## 2 地域活動に参加しやすくするための条件

- ・「友人など身近な人と一緒に参加できる」の割合が最も高い。
- ・次いで、「自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる」、「簡単に参加できる」の割合が高い。

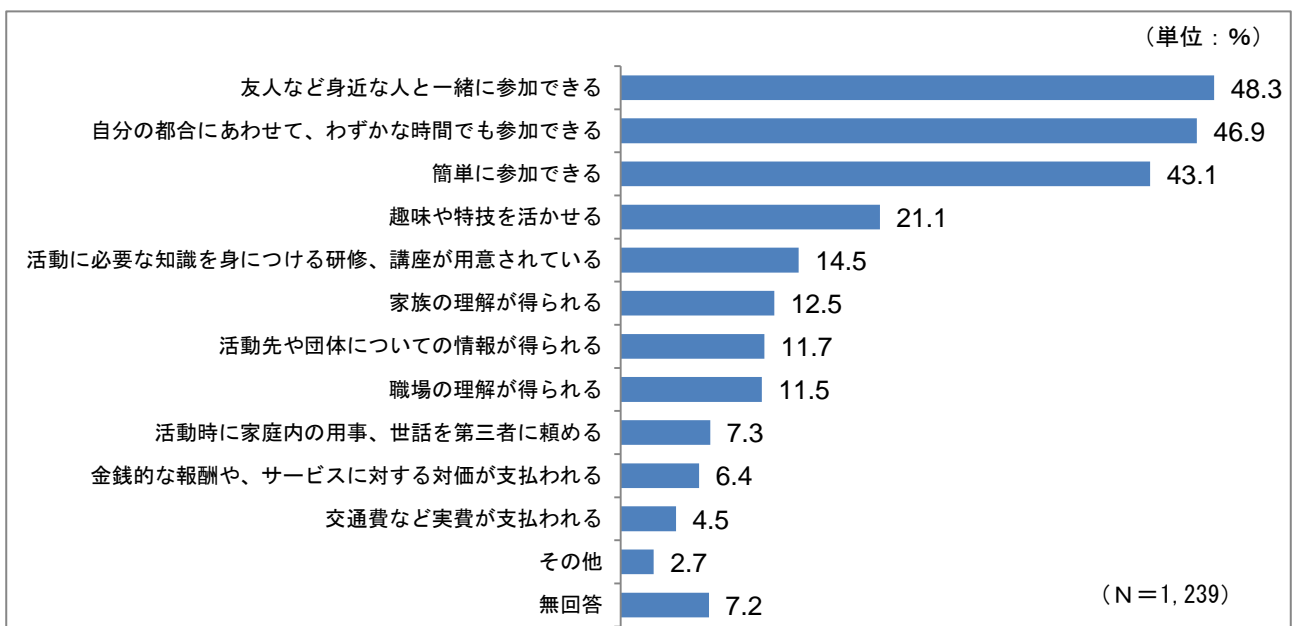
問10 あなたは、地域活動に参加する場合、どのような条件があれば参加しやすいですか。（3つまで○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
友人など身近な人と一緒に参加できる	599	48.3
自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる	581	46.9
簡単に参加できる	534	43.1
趣味や特技を活かせる	262	21.1
活動に必要な知識を身につける研修、講座が用意されている	180	14.5
家族の理解が得られる	155	12.5
活動先や団体についての情報が得られる	145	11.7
職場の理解が得られる	142	11.5
活動時に家庭内の用事、世話を第三者に頼める	90	7.3
金銭的な報酬や、サービスに対する対価が支払われる	79	6.4
交通費など実費が支払われる	56	4.5
その他（※）	34	2.7
無回答	89	7.2
計	2,946	

(標本数：1,239件)

※「その他」の内容

- ・「仕事があるので夜だと参加できる」、「経済的負担が減れば」、「交通の便がよければ」など



属性別集計(性別、年齢別)

		性別		年齢					
		男	女	10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数(件)		499	691	70	144	170	219	305	318
地域活動に参加しやすくなるための条件(%)	友人など身近な人と一緒に参加できる	43.5	52.4	75.7	38.9	41.2	39.3	49.2	56.3
	自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる	45.7	48.2	42.9	46.5	51.8	51.1	50.2	39.3
	簡単に参加できる	42.1	43.8	47.1	50.0	44.1	45.7	40.7	38.4
	趣味や特技を活かせる	24.6	18.7	20.0	16.7	16.5	17.4	26.2	23.9
	活動に必要な知識を身につける研修、講座が用意されている	14.4	14.8	10.0	9.0	9.4	15.5	17.0	17.3
	家族の理解が得られる	9.6	14.2	1.4	8.3	11.8	9.1	16.7	16.0
	活動先や団体についての情報が得られる	13.2	10.6	5.7	9.0	11.2	11.0	15.1	11.6
	職場の理解が得られる	15.6	9.0	21.4	22.9	18.2	17.4	5.9	2.2
	活動時に家庭内の用事、世話を第三者に頼める	5.6	8.7	4.3	16.7	11.8	6.4	6.6	2.5
	金銭的な報酬や、サービスに対する対価が支払われる	7.0	5.8	14.3	11.8	10.6	6.8	4.6	1.6
	交通費など実費が支払われる	5.2	4.2	8.6	6.3	6.5	6.8	3.3	1.6
	その他	3.0	2.6	0.0	2.8	2.9	3.2	1.6	3.8
無回答	6.8	6.9	1.4	3.5	1.8	5.0	5.9	15.4	

【性別】

- ・男性は「自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる」の割合が、女性は「友人など身近な人と一緒に参加できる」の割合が最も高い。

【年齢別】

- ・10代・20代は他の年代に比べ、「友人など身近な人と一緒に参加できる」の割合が高い。

属性別集計(家族構成別)

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世帯世帯	(うち中学生以下の子と同居)	三世帯世帯	(うち中学生以下の子と同居)	その他
標本数(件)		92	236	572	(198)	284	(143)	31
地域活動に参加しやすくなるための条件(%)	友人など身近な人と一緒に参加できる	45.7	47.9	48.3	(49.5)	48.9	(39.9)	64.5
	自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる	42.4	44.5	48.4	(51.0)	48.2	(50.3)	38.7
	簡単に参加できる	35.9	39.8	42.0	(44.4)	48.6	(51.7)	51.6
	趣味や特技を活かせる	16.3	24.6	19.2	(13.6)	21.8	(25.9)	29.0
	活動に必要な知識を身につける研修、講座が用意されている	15.2	17.8	12.9	(8.6)	14.4	(14.0)	12.9
	家族の理解が得られる	1.1	12.3	12.9	(14.6)	15.8	(14.0)	16.1
	活動先や団体についての情報が得られる	13.0	13.1	12.1	(9.6)	8.8	(9.1)	16.1
	職場の理解が得られる	15.2	5.1	14.0	(17.2)	12.0	(9.8)	6.5
	活動時に家庭内の用事、世話を第三者に頼める	2.2	6.4	7.3	(13.1)	9.2	(11.9)	9.7
	金銭的な報酬や、サービスに対する対価が支払われる	6.5	4.7	7.5	(8.1)	6.3	(6.3)	3.2
	交通費など実費が支払われる	4.3	2.1	6.3	(7.6)	3.5	(4.2)	0.0
	その他	6.5	3.4	2.6	(3.0)	1.8	(0.7)	0.0
無回答	10.9	10.2	5.9	(5.1)	5.6	(6.3)	3.2	

【家族構成別】

- ・二世帯世帯及び中学生以下の子と同居する三世帯世帯を除く家族構成で「友人など身近な人と一緒に参加できる」の割合が最も高い。
- ・二世帯世帯は「自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる」の割合が、中学生以下の子と同居する三世帯世帯は「簡単に参加できる」の割合が最も高い。

属性別集計(職業別)

		職業							
		農林畜産業	自営業	会社員・公務員・団体職員	パート・アルバイト・内職	家事従事者	学生	無職	その他
標本数(件)		79	147	309	209	131	14	308	22
地域活動に参加しやすくなるための条件(%)	友人など身近な人と一緒に参加できる	51.9	51.7	36.2	53.6	57.3	85.7	50.6	31.8
	自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる	48.1	49.7	53.1	42.6	45.8	35.7	42.5	68.2
	簡単に参加できる	50.6	42.2	46.3	45.5	40.5	42.9	39.6	27.3
	趣味や特技を活かせる	30.4	25.9	18.4	18.7	24.4	21.4	20.1	27.3
	活動に必要な知識を身につける研修、講座が用意されている	10.1	12.2	12.0	17.2	16.0	14.3	15.3	27.3
	家族の理解が得られる	19.0	12.9	8.4	12.4	19.8	0.0	11.7	13.6
	活動先や団体についての情報が得られる	10.1	16.3	10.4	7.7	13.7	0.0	14.0	4.5
	職場の理解が得られる	6.3	8.2	24.6	12.0	7.6	21.4	3.2	4.5
	活動時に家庭内の用事、世話を第三者に頼める	7.6	8.2	7.4	9.6	11.5	0.0	3.6	9.1
	金銭的な報酬や、サービスに対する対価が支払われる	2.5	8.2	7.1	9.6	6.9	7.1	4.2	0.0
	交通費など実費が支払われる	0.0	4.8	6.1	6.7	3.8	7.1	1.9	13.6
	その他	3.8	2.0	2.6	1.4	1.5	0.0	4.5	0.0
無回答	7.6	3.4	3.2	3.8	5.3	7.1	15.3	4.5	

【職業別】

- ・会社員・公務員・団体職員及びその他を除く職業で「友人など身近な人と一緒に参加できる」の割合が最も高い。
- ・会社員・公務員・団体職員及び学生は他の職業に比べ、「職場の理解が得られる」の割合が高い。

属性別集計(定住年数別)

		定住年数				
		1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上
標本数(件)		10	58	76	111	966
地域活動に参加しやすくするための条件(%)	友人など身近な人と一緒に参加できる	40.0	55.2	32.9	38.7	50.5
	自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる	50.0	44.8	50.0	42.3	47.5
	簡単に参加できる	40.0	50.0	46.1	37.8	43.0
	趣味や特技を活かせる	10.0	15.5	18.4	19.8	22.0
	活動に必要な知識を身につける研修、講座が用意されている	10.0	12.1	7.9	14.4	15.0
	家族の理解が得られる	0.0	8.6	7.9	12.6	13.4
	活動先や団体についての情報が得られる	20.0	12.1	17.1	8.1	11.6
	職場の理解が得られる	0.0	12.1	11.8	19.8	10.8
	活動時に家庭内の用事、世話を第三者に頼める	0.0	13.8	6.6	9.9	6.7
	金銭的な報酬や、サービスに対する対価が支払われる	10.0	10.3	7.9	9.0	5.8
	交通費など実費が支払われる	10.0	5.2	1.3	5.4	4.6
	その他	0.0	1.7	3.9	3.6	2.6
無回答	0.0	3.4	5.3	8.1	7.3	

【定住年数別】

- ・ 1年以上～5年未満及び20年以上を除く定住年数で「自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる」の割合が最も高い。
- ・ 1年以上～5年未満及び20年以上は他の定住年数に比べ、「友人など身近な人と一緒に参加できる」の割合が高い。

### 3 重点的に市民と行政が協働で取り組むべき分野

・「福祉・健康・医療（介護、子育て、健康づくりなど）」の割合が最も高い。

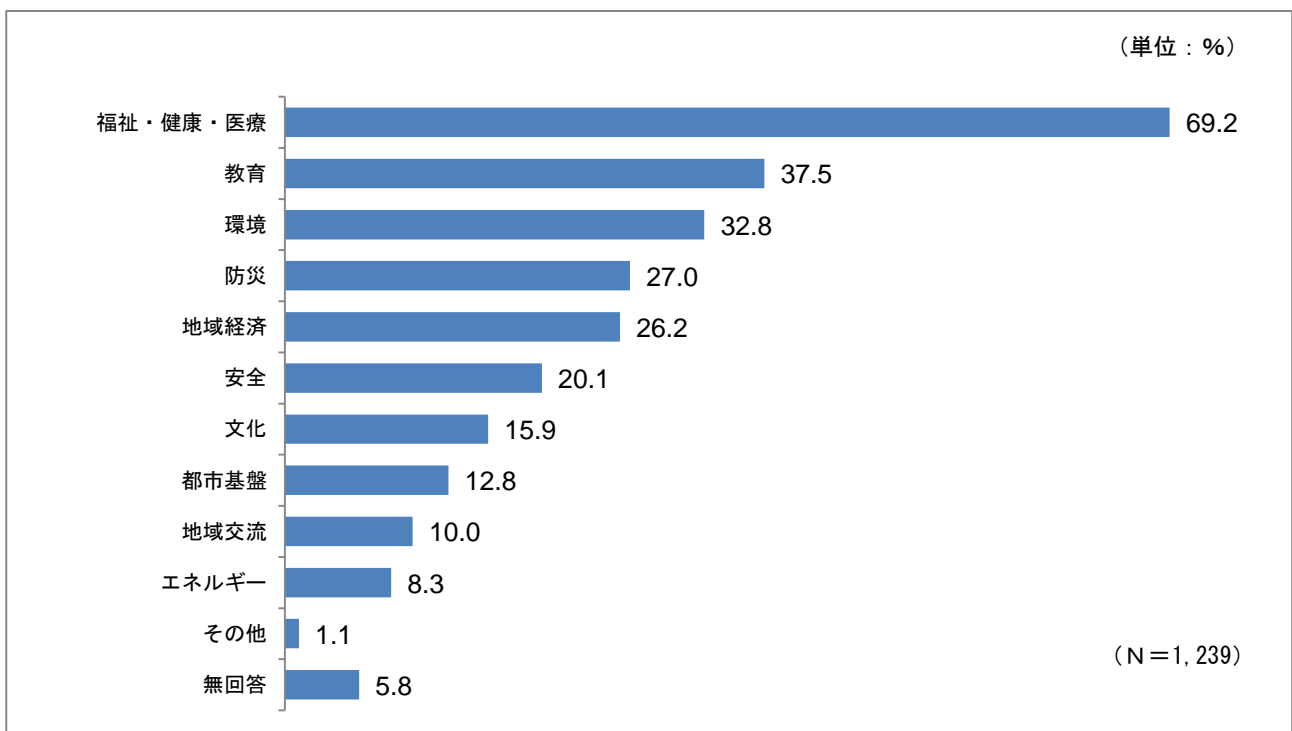
問11 あなたは、どのような分野を重点的に市民と行政が協働で取り組むべきだとお考えですか。  
（3つまで〇印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
福祉・健康・医療（介護、子育て、健康づくりなど）	857	69.2
教育（学校教育、生涯学習、スポーツ、青少年の健全育成など）	465	37.5
環境（道路・河川の美化、自然環境の保全、ごみの資源化など）	406	32.8
防災（災害予防、被災者支援など）	334	27.0
地域経済（商店街の活性化など）	325	26.2
安全（防犯、交通安全など）	249	20.1
文化（文化芸術、伝統・祭りの保存など）	197	15.9
都市基盤（道路・河川・公園の整備など）	158	12.8
地域交流（地域活動、ボランティア、NPO活動など）	124	10.0
エネルギー（省エネ、再生可能エネルギーへの転換など）	103	8.3
その他（※）	14	1.1
無回答	72	5.8
計	3,304	

（標本数：1,239件）

※「その他」内容

・「農林業」、「景観」、「観光振興」 など



属性別集計(性別、年齢別)

		性別		年齢					
		男	女	10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数(件)		499	691	70	144	170	219	305	318
重点的に市民と行政が協働で取り組むべき分野(%)	福祉・健康・医療	60.3	76.1	75.7	64.6	60.6	73.1	68.5	72.6
	教育	37.3	38.8	44.3	46.5	56.5	35.6	30.2	31.4
	環境	38.1	29.2	34.3	26.4	26.5	30.6	39.7	34.3
	防災	26.5	27.8	25.7	25.7	28.2	32.4	25.9	25.2
	地域経済	26.9	26.0	28.6	30.6	25.3	29.2	27.9	21.1
	安全	19.0	20.4	25.7	27.1	22.4	17.8	17.0	19.5
	文化	18.2	14.2	15.7	13.9	13.5	10.0	18.7	19.2
	都市基盤	14.4	11.7	14.3	11.1	14.1	13.7	14.4	9.7
	地域交流	9.2	10.7	5.7	9.7	10.0	9.6	13.1	8.8
	エネルギー	9.6	8.0	4.3	10.4	12.9	7.8	9.8	5.0
	その他	1.2	1.2	0.0	0.0	3.5	0.9	0.7	1.3
無回答	6.2	4.8	0.0	2.8	1.8	5.5	4.3	11.6	

【性別】

- ・男女ともに「福祉・健康・医療」の割合が最も高い。
- ・男性は女性に比べ、「環境」の割合が高い。
- ・女性は男性に比べ、「福祉・医療・健康」の割合が高い。

【年齢別】

- ・全ての年代で「福祉・健康・医療」の割合が最も高い。
- ・40代は他の年代に比べ、「教育」の割合が高い。

属性別集計(家族構成別)

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世 代世帯	(うち中 学生以 下の子 と同 居)	三世 代世帯	(うち中 学生以 下の子 と同 居)	その他
標本数(件)		92	236	572	(198)	284	(143)	31
重点的に 市民と 行政が 協働で 取り組 むべき 分野 (%)	福祉・健康・医療	68.5	69.9	68.7	(68.7)	69.7	(69.2)	80.6
	教育	31.5	30.9	38.8	(50.0)	44.4	(48.3)	35.5
	環境	26.1	37.7	33.7	(27.3)	28.2	(25.9)	45.2
	防災	29.3	22.5	28.1	(29.8)	27.1	(28.0)	35.5
	地域経済	26.1	24.2	28.0	(21.2)	25.7	(23.1)	25.8
	安全	21.7	22.0	17.8	(20.7)	22.2	(21.0)	22.6
	文化	15.2	17.8	16.3	(13.6)	14.8	(16.8)	9.7
	都市基盤	5.4	12.3	13.5	(12.1)	13.4	(16.1)	9.7
	地域交流	12.0	11.0	8.9	(10.1)	10.2	(10.5)	9.7
	エネルギー	4.3	8.9	8.9	(9.6)	8.8	(9.8)	3.2
	その他	2.2	1.3	1.0	(1.5)	1.1	(1.4)	0.0
無回答	8.7	6.4	4.7	(6.1)	5.3	(4.2)	3.2	

【家族構成別】

- ・全ての家族構成で「福祉・健康・医療」の割合が最も高い。



属性別集計(職業別)

		職業							
		農林畜産業	自営業	会社員・公務員・団体職員	パート・アルバイト・内職	家事従事者	学生	無職	その他
標本数(件)		79	147	309	209	131	14	308	22
重点的に市民と行政が協働で取り組むべき分野(%)	福祉・健康・医療	63.3	55.8	66.7	75.1	72.5	71.4	75.0	68.2
	教育	44.3	33.3	44.3	43.1	35.9	42.9	28.9	50.0
	環境	45.6	30.6	29.1	32.5	35.1	35.7	32.8	36.4
	防災	25.3	23.8	29.4	25.8	26.0	28.6	29.5	13.6
	地域経済	19.0	36.7	28.8	27.3	23.7	21.4	20.5	36.4
	安全	22.8	19.0	19.7	16.7	22.1	28.6	21.1	13.6
	文化	12.7	23.1	12.3	14.8	11.5	7.1	20.5	13.6
	都市基盤	7.6	19.7	13.6	9.1	13.7	14.3	12.0	9.1
	地域交流	12.7	4.8	10.0	13.4	16.8	7.1	7.5	4.5
	エネルギー	3.8	13.6	9.4	10.5	8.4	0.0	4.9	4.5
	その他	0.0	0.7	2.3	1.0	0.8	0.0	0.6	4.5
無回答	8.9	6.8	3.2	2.4	5.3	7.1	8.4	9.1	

【職業別】

- ・全ての職業で「福祉・健康・医療」の割合が最も高い。
- ・農林畜産業は他の職業に比べ、「環境」の割合が高い。

属性別集計(定住年数別)

		定住年数				
		1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上
標本数(件)		10	58	76	111	966
重点的に市民と行政が協働で取り組むべき分野(%)	福祉・健康・医療	70.0	67.2	59.2	67.6	70.7
	教育	10.0	46.6	34.2	38.7	37.7
	環境	40.0	31.0	31.6	31.5	33.2
	防災	20.0	20.7	31.6	27.9	27.2
	地域経済	20.0	34.5	19.7	22.5	26.7
	安全	40.0	31.0	21.1	20.7	19.3
	文化	20.0	19.0	14.5	11.7	16.5
	都市基盤	20.0	8.6	7.9	17.1	12.6
	地域交流	10.0	5.2	13.2	13.5	9.8
	エネルギー	20.0	10.3	10.5	9.0	7.8
	その他	0.0	0.0	2.6	1.8	1.0
無回答	0.0	0.0	6.6	4.5	5.9	

【定住年数別】

- ・全ての定住年数で「福祉・健康・医療」の割合が最も高い。

#### 4 協働でまちづくりをすすめていくうえで望まれる施策

- ・「市政に関する情報をわかりやすく公開する」の割合が最も高い。
- ・次いで、「市民の声を施策に反映させる仕組みをつくる」の割合が高い。

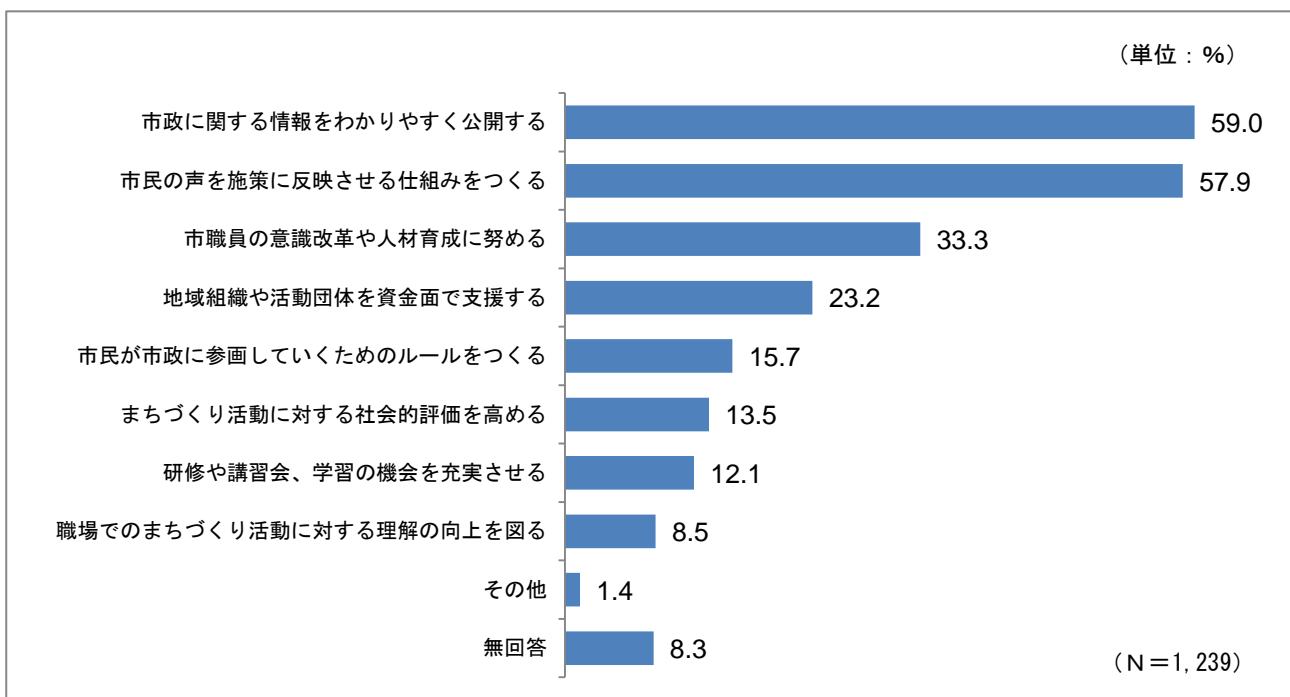
問12 あなたは、市民と行政が協働でまちづくりをすすめていくうえで、どのような施策を望みますか。(3つまで○印)

	回答数 (件)	回答率 (%)
市政に関する情報をわかりやすく公開する	731	59.0
市民の声を施策に反映させる仕組みをつくる	718	57.9
市職員の意識改革や人材育成に努める	412	33.3
地域組織や活動団体を資金面で支援する	288	23.2
市民が市政に参画していくためのルールをつくる	194	15.7
まちづくり活動に対する社会的評価を高める	167	13.5
研修や講習会、学習の機会を充実させる	150	12.1
職場でのまちづくり活動に対する理解の向上を図る	105	8.5
その他(※)	17	1.4
無回答	103	8.3
計	2,885	

(標本数：1,239件)

※「その他」の内容

- ・「市民と行政の双方の役割分担を明確にする」、「市政に対する興味が湧くようなきっかけづくり」 など



属性別集計(性別、年齢別)

		性別		年齢					
		男	女	10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数(件)		499	691	70	144	170	219	305	318
協働でまちづくりをすすめていくうえで望まれる施策(%)	市政に関する情報をわかりやすく公開する	57.7	60.3	60.0	50.7	48.8	59.8	61.0	65.4
	市民の声を施策に反映させる仕組みをつくる	56.1	59.3	65.7	49.3	60.6	51.6	66.2	54.7
	市職員の意識改革や人材育成に努める	33.7	33.4	24.3	31.9	35.9	40.2	32.1	31.1
	地域組織や活動団体を資金面で支援する	25.5	22.0	18.6	25.7	31.8	30.1	21.0	16.7
	市民が市政に参画していくためのルールをつくる	19.4	13.2	12.9	15.3	14.1	15.1	18.7	15.1
	まちづくり活動に対する社会的評価を高める	13.0	13.7	17.1	20.1	12.9	11.4	13.1	11.3
	研修や講習会、学習の機会を充実させる	11.6	13.2	11.4	11.1	10.6	11.0	14.4	12.3
	職場でのまちづくり活動に対する理解の向上を図る	9.6	7.5	17.1	15.3	13.5	9.1	4.3	4.4
	その他	2.2	0.9	0.0	2.8	2.4	0.5	0.7	1.9
	無回答	8.4	7.5	4.3	4.2	2.4	6.8	6.6	16.7

【性別】

- ・男女ともに「市政に関する情報をわかりやすく公開する」の割合が最も高い。

【年齢別】

- ・30代、50代及び70代以上は「市政に関する情報をわかりやすく公開する」の割合が、その他の年代は「市民の声を施策に反映させる仕組みをつくる」の割合が最も高い。

属性別集計(家族構成別)

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世帯世帯	(うち中学生以下の子と同居)	三世帯世帯	(うち中学生以下の子と同居)	その他
標本数(件)		92	236	572	(198)	284	(143)	31
協働でまちづくりをすすめていくうえで望まれる施策(%)	市政に関する情報をわかりやすく公開する	57.6	64.0	59.4	(57.1)	53.9	(52.4)	58.1
	市民の声を施策に反映させる仕組みをつくる	52.2	58.1	58.9	(60.6)	58.1	(58.7)	61.3
	市職員の意識改革や人材育成に努める	25.0	33.5	33.9	(32.8)	35.6	(34.3)	22.6
	地域組織や活動団体を資金面で支援する	18.5	15.7	24.7	(24.7)	27.8	(25.2)	38.7
	市民が市政に参画していくためのルールをつくる	16.3	14.8	17.8	(14.6)	12.3	(12.6)	12.9
	まちづくり活動に対する社会的評価を高める	12.0	13.1	12.4	(13.6)	15.5	(18.2)	22.6
	研修や講習会、学習の機会を充実させる	10.9	16.1	9.6	(9.1)	15.5	(16.8)	3.2
	職場でのまちづくり活動に対する理解の向上を図る	4.3	6.8	8.9	(14.6)	8.8	(7.7)	16.1
	その他	1.1	2.5	1.4	(3.5)	0.7	(0.7)	0.0
	無回答	13.0	8.9	6.6	(6.1)	8.5	(8.4)	9.7

【家族構成別】

- ・単身世帯、夫婦のみ及び二世帯世帯は「市政に関する情報をわかりやすく公開する」の割合が、その他の家族構成は「市民の声を施策に反映させる仕組みをつくる」の割合が最も高い。

属性別集計(職業別)

		職業							
		農林畜産業	自営業	会社員・公務員・団体職員	パート・アルバイト・内職	家事従事者	学生	無職	その他
標本数(件)		79	147	309	209	131	14	308	22
協働でまちづくりをすすめていくうえで望まれる施策(%)	市政に関する情報をわかりやすく公開する	69.6	51.0	54.4	58.4	66.4	42.9	63.0	59.1
	市民の声を施策に反映させる仕組みをつくる	58.2	61.9	57.3	61.2	55.0	64.3	56.2	45.5
	市職員の意識改革や人材育成に努める	29.1	40.1	33.7	31.6	37.4	21.4	31.2	36.4
	地域組織や活動団体を資金面で支援する	31.6	27.2	26.9	26.8	23.7	7.1	14.3	36.4
	市民が市政に参画していくためのルールをつくる	13.9	15.0	18.4	12.0	15.3	7.1	17.2	13.6
	まちづくり活動に対する社会的評価を高める	12.7	12.9	14.2	13.9	10.7	21.4	13.6	9.1
	研修や講習会、学習の機会を充実させる	12.7	6.8	11.7	14.4	13.7	14.3	12.7	13.6
	職場でのまちづくり活動に対する理解の向上を図る	5.1	6.8	12.9	8.1	9.9	28.6	5.2	0.0
	その他	0.0	1.4	1.9	0.5	1.5	0.0	1.6	4.5
	無回答	10.1	10.2	5.2	3.8	6.1	14.3	13.0	9.1

【職業別】

- ・ 農林畜産業、家事従事者及び無職は「市政に関する情報をわかりやすく公開する」の割合が、その他の職業は「市民の声を施策に反映させる仕組みをつくる」の割合が最も高い。
- ・ 学生は他の職業に比べ、「職場でのまちづくり活動に対する理解の向上を図る」の割合が高い。

属性別集計(定住年数別)

		定住年数				
		1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上
標本数(件)		10	58	76	111	966
協働でまちづくりをすすめていくうえで望まれる施策(%)	市政に関する情報をわかりやすく公開する	40.0	53.4	48.7	48.6	61.6
	市民の声を施策に反映させる仕組みをつくる	60.0	44.8	48.7	55.9	59.7
	市職員の意識改革や人材育成に努める	20.0	32.8	27.6	32.4	34.1
	地域組織や活動団体を資金面で支援する	0.0	15.5	28.9	26.1	23.6
	市民が市政に参画していくためのルールをつくる	30.0	13.8	15.8	12.6	16.3
	まちづくり活動に対する社会的評価を高める	20.0	20.7	17.1	14.4	12.6
	研修や講習会、学習の機会を充実させる	20.0	10.3	11.8	8.1	12.7
	職場でのまちづくり活動に対する理解の向上を図る	10.0	25.9	10.5	13.5	6.6
	その他	0.0	1.7	1.3	4.5	1.0
	無回答	0.0	5.2	9.2	9.0	8.1

【定住年数別】

- ・ 1年以上～5年未満、5年以上～10年未満及び20年以上は「市政に関する情報をわかりやすく公開する」の割合が、1年未満、5年以上～10年未満及び10年以上～20年未満は「市民の声を施策に反映させる仕組みをつくる」の割合が最も高い。
- ・ 1年以上～5年未満は他の定住年数に比べ、「職場でのまちづくり活動に対する理解の向上を図る」の割合が高い。

## 4 将来に向けた高山市のまちづくりへのご意見など

最後に、将来に向けた高山市のまちづくりについて、ご意見、提言などがございましたらご自由にご記入ください。（自由記述）

土地利用
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主要道路沿いにある市有地の利用計画を策定して下さい。（空地等）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少子高齢化により空家が多くなりつつある現状において都市計画区域の線引きにより活用ができていないです。都市計画区域とは市民が住みやすくまた、市の発展に繋がるものではないかと思しますので見直しをお願いします。</li> </ul>
福祉
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ もっと、安心して相談に乗って下さる場所があるとありがたいです。いろいろと困っている人は、多いと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉施策について、他市（飛騨地域内で）と比べて、やや冷たい印象を受ける。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感謝してくらして居ります。人口が減少し、行く末を案じております。独身の方が男女とも多いようですが、市としても何か良い方法を考えていただきたいものです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 結婚支援は、とても良い事だと思います。ワクを26歳～に拡げたら？30歳になって探すのでは遅いのです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若い人（特に女性）が、子どもを2～3人は産みたいと思う高山市にしてほしい。少子化対策にもなるし、高山市の活性化にもなると思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育て中の親が、近隣の人との交流がなく、近所でも知らない人が多いので、気軽に交流できるような場があれば良い。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもを増やすために若い人達の出会いの機会をもっと設ける。若い夫婦が生活しやすい支援、職場の充実、産婦人科の充実、子どもを育てやすい環境づくりをお願いします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高山市で助成される出産お祝い金が打ち切られることなく、今後もいただけることを望みます。私達もいただいて、とても嬉しかったです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高山では安心して出産、育児ができる環境をこれからも整備していただけると嬉しいです。遊具が外にある公園（ポップ公園のような）がもう少しあると、子どもが外で遊べると思います。今ある子育て支援センター、児童センターはとても便利でよく利用しています。ただ遠くから来る人には、駐車場から歩くことになる為、近くに駐車場があるといいという声を耳にします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 休日保育施設の増加、充実。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 娘の事で感じましたが、育休から復帰したいと思いましたが、保育園の途中入園は無理だと言われ、育休を延長する事にしました。働ける場があっても働けない、テレビのニュースでも、最近話題になっていますが、待機児童の件、高山市でも、もっと取り組んで頂きたいと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育てに対する手厚い支援にとっても感謝しています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの医療費助成や保育料の減免制度など、子どもを育てていきやすい環境を作って下さりありがたいです。子どもは町の財産でもあるので、今後も、子どもを産み育てやすい町づくりをしていって頂けるといいなと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若い世代には、働く親への子育て支援に、病児保育をもっと増やしていくといいと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育園を増やしてほしい。</li> </ul>



<p>・「子育てしやすいまち」にする事は、将来的に高山の活性化につながるのではないかと思うので、（これまでも充実している方だと思いますが）今後もより一層力を入れて頂きたいと思いません。</p>
<p>・幼児、子育て中で、市の親子イベントや児童館等利用させていただいており、ありがたいと思っております。子育てに関する講座やイベントなど、また多数行っていただけたらありがたいと思いません。</p>
<p>・活気あるまちにするには、次世代を担う若者が必要なので、安心して出産、子育てができる資金面や精神面の援助が大切だと思います。</p>
<p>・子育てに手当をもう少し上げて欲しい。物価が高く、収入だけでの子育ては、ゆとりがありません。</p>
<p>・高山（旧町村地域）に移住してきて2年目です。子育て支援に力を入れられている市だなと実感する事が多く感謝しております。ただ、高山市内と、そうでない当方の様な遠隔地でのサービス格差があるのが残念です。（保育園の入園年齢が2歳まで不可、学童がないなど）近所には、雇用がないので、高山市内まで勤めに出たいけど、子どもを預ける所がなく、仕方なく家で過ごしている母親が、私も含め多いです。結果、高山市内へ転居された方もおり、せっかく過疎の地に来て、住み続ける事が出来ない状況です。今後、田舎への移住者が住み続ける事が出来るよう支援をよろしくお願いします。</p>
<p>・久美愛病院の跡地を老人の保育園にしてほしい。家に老人二人が居る時は良いが、どちらか先に死ぬと、後は一人になる。子どもは、仕事に行く。保育園があれば、朝預けて、夕方迎えに来てくれる。子どもも、安心して働く事ができると思う。（火の心配や、食事の事）</p>
<p>・高齢になったときにすみ続けることができるかという観点では、自動車が運転できなくなったときに非常に自立した生活が難しくなり、大家族制度が崩れてきている状態では、独居や老世帯に対する個別的対応ではなく、新たな仕組みが必要になっているように思います。</p>
<p>・市民の高齢化に伴い高齢者の住みよいまちづくり。高齢者にとって雪の多い所は光熱費がかかり、雪の片づけは負担である。</p>
<p>・有料の老人ホームをつくってほしい。</p>
<p>・老人の医療費を軽くしてほしい。</p>
<p>・今後、高齢者が増加するのは目に見えています。その対策として、高齢者を受け入れる施設の充実、ヘルパーさんの充実、病院の充実、病気にならないための市民健康講座などの開催をお願いします。</p>
<p>・市も含め、民間のケアマネージャー、訪問ナースステーション、ヘルパー全て差がありすぎる。→利用者、家族は選び方もわからず、十分な対応を受けてない人も多い。</p>
<p>・美術館、図書館、遠い所はなかなか高齢者の為、出かけることが難しい。</p>
<p>・私は、八十歳を過ぎた年齢で、息子、嫁、孫に世話になっていて、何の役にも立たない老人ですが、足腰が悪くてなるべく迷惑をかけない様に頑張っていますが、何も意見も書けなくて申し訳ありません。おまけに、自転車もよう乗りませんので何処へ行くにも歩きで、何も書けませんが、よかったら、休む処がところどころあったら、一休みできて有難いと思っています。何にも御役に立てずごめんなさい。</p>
<p>・雪に対して、手間のかからない家（屋根）除雪方法等、年金生活者が安心して暮らせる様になると良いです。</p>

<p>・高齢者の増加に対して、高山市の独自の取り組みを模索してほしいです。そして、「健康長寿の町」として繁栄してほしいです。それには・・・介護と介護の必要ない自立した老人になる為の何かが必要だと思います。</p>
<p>・大型スーパー等の進出によって、町中の小さな店（食料品店）がなくなり、お年寄りの方が買い物に随分困って見える。（例えば、空町周辺）</p>
<p>・特に、高齢者に対する衣・食・住の改善に努めてほしい。 衣→老人が着られるような上質でゆったりした物を売る店がない。 食→市街地に大きいスーパーがなく、買い物困難者になりそう。 住→南北に通じている道路のドブ板を早くコンクリートにしてほしい。</p>
<p>・介護保険があまりに高いので、もう少し少額にして貰いたいです。</p>
<p>・高齢化社会に向けて、自家用車がなくても暮らしやすい環境を。商店街も買い物がしやすくなると良いですね。スーパーの宅配サービスが広まると嬉しいです。</p>
<p>・高齢化に対する対応、山間地の過疎化（絆、買物難民）仕事の確保。</p>
<p>・寒冷地で冬場の光熱費が高額になります。今後、老人が多くなり、雪降ろし等が出来なくなってくると思います。屋根の雪を降ろさなくても良くなるような設備を充実させ、その際の光熱費を補助する制度がつくられたらいいなと思います。</p>
<p>・老人が安心して生活できる高山市。</p>
<p>・子育て支援に力を入れるのはいいが、高齢者がこれから増えていくのに、特養が少ない。特養の待機者は多いです。</p>
<p>・介護施設が少ないと思います。皆、共働きの人が多く、入居待ちの人がたくさんいる事。</p>
<p>・老人ホームと幼稚園、保育園など隣同士につくる（老人の生きがいづくり）。</p>
<p>・介護施設が高額なため、低額でも入居できる場を増やしてほしいです。</p>
<p>・高根町など、高齢者が多い地域の方々の買い物とか、病院へ行くのに、のらマイカーを利用されていますが、買い物をもっと簡単にできるよう、移動販売の車等が増えたらいいと思います。その移動販売する業者の方にも助成金等を出してもらえるようにすれば、業者も増えると思います。</p>
<p>・老人ホームをふやしてほしい。</p>
<p>・老後も安心して暮らせる町づくりをよろしくお願い致します。</p>
<p>・現在、市の高齢者を収容して戴く施設は不足している状況であると思われるが、私達は高額の前金もなく、民間の施設に入所する事は出来ません。この実情も考慮して頂き、施設に入らざるを得ない時には、施設が空いていないとか希望者が多くて仕方ないということにならず、又取扱いに不公平があるという噂のないように、十分配慮し対処して頂きたいとお願い申し上げます。</p>
<p>・住みやすい高山は大好きです。しかし、老後が心配。もちろん、子どもたちの教育も大切です。働けるうちは、仕事などしたいと思っています。仕事、体を動かせる場などの情報を、身近にわかりやすく知らせてほしいです。近所には、お年寄りも住んでみえ、買い物など大変みたいです。移動スーパーなどあればいいのではと思います。もっと、高山が住みやすい町になる事を期待します。</p>
<p>・私は精神の障がい者手帳を持っています。現在は、無職で家の手伝いをしています。重度ではないかもしれませんが、やはり、家でもできる仕事があればいいと思います。身体障がい者だけでなく、目に見えない精神障がい者にももっと理解が欲しいです。</p>

健康、保健、医療
<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康相談、午後もやってほしい。子どもの体重だけはかりたい時に自由に行けたらいいです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人になっても、悪い食習慣が原因で生活習慣病になる方が大勢みえます。是非、子どもの頃より正しい知識を入れることが出来るよう（嗜好品も含め）学習する機会が増えるといいなと思います。（医療費削減や、生涯現役のためにも）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもに子宮頸がんのワクチンのお知らせが届きましたが、数日前、朝のテレビにて、ワクチンの副作用でけいれん等の映像を見て恐ろしく不安になりました。テレビの中では、厚生労働省では調査を開始とありましたが、このような結果があるのに、市ではこのままワクチン接種を推進されている事に不信感を感じてしまいます。せめて、調査結果が発表されるまで、一時的にでも中止することを希望します。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・都会との医療のレベルが違いすぎる。田舎でも安心して高度な医療が受けられるようになるとよい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山市には、何件か産婦人科がありますが、不妊治療を専門としている不妊外来の医院がないので残念です。不妊治療を受けるには、妊婦さんのたくさんいる一般の産婦人科に通わなければならないのは、強いストレスを感じます。ぜひ、高山市内に不妊治療を専門とする医療機関を誘致・設立して頂きたいです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・眼科が近くにあるといいと思います。眼科が少なく、なかなかかかりづらい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高根地区は、医師がいないため不安を感じているので、それを解決してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山という町が好きです。5年間、不妊治療に通い、高山が助成金を負担して下さっていることを知りました。高山の不妊治療への取り組みには、実際不満があります。医療施設が充実していないし、遅れていると感じます。体外受精をしなくても、5年間治療に通うのは医療費の負担は大きいです。人口減少への政策に取り込まれるのなら、不妊治療への支援、出産できる環境の整備をぜひお願いしたいです。どの年代の方も、住み良いと感じる事のできる素敵なまちを作ってください。私達市民も協力していきたいと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・軽度発達障がいを持つお子さんが増えてきています。しかし、高山には、専門医がおらず、他市の医療機関に通う家族が多いのが実情のようです。他市まで通うゆとりのない家庭のお子さんは、診断を受けられず、その後、成人へと育っていく中で、二次障がい等に悩むケースもあるようです。高山市ほどの大きな市で、専門医療機関がないのはとても珍しい事です。セミナー等もとても少なく、現場の教員の知識力も、他市と比べて低いような気がします。専門医療機関、もしくは専門医を高山に。高山市の企画で、セミナー等の開催を。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「24時間対応、安心ホットライン」は、良いと思いますが、どれ位の利用があるか知りたい。相談は、電話でなく対面の方がしやすいと思うので。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・産婦人科が少ない。（里帰り出産が、なかなかできない）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合病院が、2つあるのに産婦人科が1つしかないのはダメ。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療として、発達障がいを診断できる医師がいればと思う。</li> </ul>
自然、景観、環境
<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝日町は、自然がいっぱいでいい所です。水田も、耕地整理で大きな田になり、働きやすいようになって、とても良いです。水もパイプラインでコックをひねれば、ジャーと水が出て便利になりました。・・・が、昔は、不便だったけど、蛍が飛び交って、楽しい所だった。昔にとは言わないけれど、蛍がいる様な環境が欲しい。甲谷川が流れ、昔のままあるのですが、蛍がいる様な川ではないのです。</li> </ul>

・大好きな高山。自然を残して行って欲しいです。
・五色ヶ原の森は、入山料金が高すぎる。ツアー以外の入山も可にしてほしい。市有地でありながら、市民の為にありません。入山料は一人千円以下にしてほしい。
・外来種の草花が近年特に多く自生する様になりました。全地域事あるたび市民皆で駆除する様提案します。
・自然環境を守りましょう。川の汚れを感じます。つくられた自然ではなく、ありのままの自然保護。
・苔川の桜をバッサバッサと切る事に大変憤りを感じる。上岡本町の苔川は本当にきれいになったのか？趣はどこへいったのか？あれが高山市のやりたい事だとしたらガッカリだ。
・鍛冶橋の問題であったように、古い町並も含め、町の景観や、文化等を守ってほしい。他の公共事業と同じような落札ではなく、よく考えて業者を選び、もう少し景観を良くしてほしい。町のすぐ外に行くと、赤や黄色など派手な看板が目立つのはやめてほしい。
・高山市は、観光を重視するあまり、東京や名古屋より、緑を身近に感じる事の出来ない街になってしまったと考えています。緑の保全とは決して遊歩道などを作って、皆に見てもらうものではないと思います。
・上三之町、飲食店が多く、古い町並の景観が悪いと思います。中橋周辺は、車が走っている事も忘れていいのか、止まってくれると思うのか、いつも観光客の事故を心配します。京都で前、事故があった時、地元の方は中橋周辺も同じようにならなければと心配している。
・古い町並のエアコン室外機が景観上、悪いと感じている。外観変更は今以上に厳しくし、その支援を増やして欲しいと思います。
・地域資源を活かした未来づくり。大自然の力を活用したエネルギー政策を小型地熱発電の導入、環境づくり。
・エネルギー問題について、いろいろ取り組みが行われているが、早く実行してほしい。
・太陽光発電（ソーラーパネル）を大規模に設置して、市内での電気をまかなえるような考えはどうでしょうか？例えば、原山に設置！雪が多いので今は難しいと思うが、将来的には、効率が良くなるパネルが出来ると思います。食料、水、電気など、旧高山市内だけでも独立国家的な生活が可能になるような産業育成が出来れば、素晴らしいと感じます。
・自然を活かした小水力発電の推進。
・環境都市・観光都市高山を目指して。人が生きる上で水と食料の安全・安心は欠かせません。分水嶺に位置する高山は広大な森林を有し、下流住民にも大きな責任を負っています。森林の荒廃・農地の減少が心配される今、高山市は国に強く働きかけ一刻も早く整備体制を整えていただきたい。そして、市の重要産業として若者の雇用を増やすことにより、活気ある高山市にしてもらいたい。太陽光パネルも大事ですが、本当の意味での環境保護に取り組んでください。
・クリーンなまちづくり。景観の維持、自然の維持、エネルギー問題。高山に移り住んだ人は、こういう事に関心あります。移り住みたいと思う人も然り。
・再生可能エネルギー活用と子ども達への環境に対する意識を高める。
<b>道路、交通、情報</b>
・車道と歩道、歩道と歩道の間は無駄と思う段差が沢山あって、もっと工夫して下さい。例え1cmくらいの段差でも荷車で通れば、荷物が落ちる、自転車跳ねる、車椅子で実際通れば、不便やろなと思う道路ばかり。おまけに、点字ブロックが沢山ひいてあるけど、冬場は雪の下。何のためのブロックやろと思うことばかり。全然、工夫が足りないと思います。

・側溝に水を流してくれるとうれしいです。（雪の時に雪を捨てる所がない）
・高山の行政ですが、コンセプトの「すみやすさ」「にぎわい」にも関連し、さらに観光業や高冷地野菜等の流通にも関連すると思えるのが、松本までの道路整備です。国や長野県へ働きかけをしてほしいと願います。
・早く、宮峠のトンネルを作ってほしい。どの程度進行しているのか、情報を流してほしい。
・市内のバリアフリー道路も拡充していますが、使い勝手は本当に良いのか？再検証してみても良いのではないのでしょうか。小生の見限り、不便さがかなりあるのではないかと考えています。
・広い高山市なので仕方ないかもしれませんが、道路の傷みがひどいように思います。観光客の為にも早く舗装をしておいて下さい。
・高齢者が多い為、道路の補修等を行ってほしい。
・松本橋の交差点下り方面に対して、右折車が多いと、全然動かないので、直進と右折の二通りに分かれる道路になると、スムーズに行けるのですが。
・全ての砂利道にアスファルトを。（山林道は除く）
・道路の舗装に（ひび割れ）が多数ありますが、何ともないのか一度見ていただきたい。（茶色の舗装）
・道路がガタガタでベビーカーが押しにくい所があります。車椅子も同様では？
・住み良い町、住み続けたい環境整備をお願いします。横断歩道を、車椅子の方でも往来でき、ランニングも出来る。広い歩道は、豊かな町に見え気持ちにゆとりができる。
・バリアフリーを目指しているとの事ですけど、色々な面でバリアフリーの意味があると思います。道路（歩道）のバリアフリーを、もう一度考えてもらえないでしょうか？車椅子が安心して通れる位の道にすると、年寄りも歩きやすい道になるのではないのでしょうか。車椅子を押し歩くのも、やっとなという所が何ヶ所もあります。やさしい町づくりを願っています。
・ベビーカーでも安全に散歩できる歩道の整備。
・道路の整備等、一回でやればいいのに、同じ所を何度も掘り返して工事する。なぜ、一回で出来ないのか？子どもでもおかしいと思っています。
・市道の中で、利用者が多いのに未舗装の道路があるが、舗装をお願いしたい。
・安房トンネルのおかげで東京が近くなり、文化的にもいろいろな刺激が多くなり、観光客も増えた。しかし、平湯～松本間があまりに恐ろしく、高山に来るのをためらう人もたくさんいる。安房トンネルから白なぎトンネルまでのいかにも崩れてきそうな崖が両側にあり、トンネルはとても狭く、トラックやバスにぶつかりそう。ダムすれすれに狭いくねくね道が続く。いつ事故が起きても不思議でない。すぐに安全調査と対策を立ててほしいです！！事故があつてからでは遅いし、交通量も東海北陸道より多いと思いますが。
・県外から車の増加、流通など市内の混乱が多く、病院等へ通院する際に、スムーズに道路が流れると助かります。
・歩道が少なく、危険な所が多いので増やして欲しい。子どもやお年寄りが安心して歩けるように。
・道が狭いので、自転車や徒歩の人は危ない。
・道路の歩道が狭い。
・環境問題では、温暖化で東海豪雨のような大雨の経験をいかし、河川の嵩上げ工事の実施をした方がいいと思う。
・飛騨市古川町のように融雪装置を道路につけてほしい。

<p>・台風によって、河川が氾濫しても、その後の事は何もしない。大きい川は工事をして直しても、小さい川は何もしてくれない。これでは、住み良い町とは言えません。</p>
<p>・税金を納める一市民として冬場の除雪に対する高山市のやり方に対して平等性に欠ける面があります。（この道路は除雪して、この道路は除雪しないといった不平等な面）</p>
<p>・（冬）日・祝日も交代制等するようにして除雪して（道）頂きたいと思います。</p>
<p>・冬の除雪を丁寧にやってほしいです。</p>
<p>・今年は、雪が比較的少なかったのがよかったです。屋根の雪降ろしの設備費用を、助成してほしいです。雪が降らない所に住みたいと思うのが、希望ですね。子ども達も、大学を選ぶのに、北の地方への大学へは行きませんでした。車の運転も大変だし、負担です。</p>
<p>・除雪作業について、家の出入り口に除雪して雪が積んであるので、やり方を考えてほしい。</p>
<p>・冬期の雪またじの件ですが、私の居住区は、除雪車が入らない狭い道路故、側溝に水が流れていると雪を流せるので、冬期は、常時水の流れる様にして欲しいです。（まちなかの狭い路の住人）水の無い時は、宮川まで雪を運んでいます。</p>
<p>・せっかく、市で除雪して下さったにもかかわらず、路側にたまった雪を、又道路へ投げた跡があるが、路側の雪ぐらい各自で始末したいものです。</p>
<p>・除雪について、雪を車の為にどけるのではなく持って行ってほしい。歩行出来ない。</p>
<p>・雪害も深刻です。観光などで短期に訪れる人も大切ですが、ずっと「住む」ことに重点をおいて頂きたいと思います。</p>
<p>・除雪についてですが、町内によって違いますが、ザクザクになって、とても自分達では、またじ出来ない時は、早めに除雪に来てほしい。</p>
<p>・冬場の除雪（排雪）の改善。</p>
<p>・冬の除雪について、各町内に担当されている業者さんについて除雪作業も色々です。特に学生が通る道路等は、早めに除雪をお願いしたいです。歩道の除雪が間に合わず、車道を歩いている学生を良く見かけます。</p>
<p>・観光も大事だと思いますが、もっと住んでいる人の為に金を使って欲しいです。住みやすい、生活しやすい環境をつくってほしいです。特に、雪対策が一番です。新潟出身の知人の話ですが、雪は沢山降るけれど、除雪車が来るので、道路に雪は無い（地面が見えている状態だそうです）高山もそうなら嬉しかったです。そちらの方に予算を使って頂きたいです。私は、高山出身ですが、一度他県へ出ている為、冬期の寒さと道路状況等、冬はとても住みたいと思えません。</p>
<p>・雪に対する対策、費用などの助成があると良いと思います。出勤する前、出勤道中での精神的、肉体的疲労は大きいです。</p>
<p>・介護ほどではなくても、市内のスーパー（旧高山市の店へ）とかへ行くのに車に乗れない老人達の足がないので、利用しやすいバスなどの本数を増やしてほしい。</p>
<p>・日常の買い物が不便。市街地以外からの買い物を利用しやすくしてほしい。</p>
<p>・交通の便の悪さ改善（遠方レジャー、老人の医療、買い物）。</p>
<p>・広い高山市で、移動用のバス料金が、旧エリア内100円になったのは大変ありがたかったです。しかし、エリアを越えると急に高価になってしまいます。1エリア100円なら、2エリア200円というような料金体系がありがたいです。</p>
<p>・旧高山市以外の地域のバス運行が、まだまだ少ないと聞きました。高校生までの子どもさんが通学に困らない様運行が増えたら良いと思います。</p>

<p>・市の中心部（古い町並など）の交通量が多く、行きづらいので車の乗り入れなど制限してはどうか。そのかわり、バスなどの公共交通機関を充実させてほしい。本来、信号がついているべきと思われる交差点から外れた位置に信号が設置されているのはどうしてなのか。通行しやすい道路、安全を考慮した道路づくりをしてほしい。</p>
<p>・高山市は、車社会ですが、私みたいに車がない人には、なかなか住みにくい市です。乗らマイカー、濃飛バスがありますが、時間が学生に合わせてある為、タクシーで移動することが多いです。学生ばかり大切にすることがあるのでしょうか。税金を支払っている人達こそ、大切にすべきではないのでしょうか。もっと本当に必要としている人達にあわせてバスを走らせる事はできないのでしょうか。</p>
<p>・のらマイカー、まちなみバス、空席が目立ちますが、どの位赤字になっているのかと思います。うちの老人は、時間もあわないし、不便だとあまり利用していません。</p>
<p>・市の郊外に住んでいるが、のらマイカー等の時間が少なく、もうすぐ免許の返納の年をむかえるが、その後の足の心配がおおいにある。</p>
<p>・高速バスと市内バスを乗り継ぎしやすいダイヤに出来るだけしてほしいと思います。バスの一日フリー乗車券があるのなら、各地域から高山バスセンターへの往復は、その券一枚で出来る様にしてもらえればより利用しやすくなると思います。</p>
<p>・私は、買い物はバス頼りなので、清見線で行きも帰りもバスの時間、昼前にもう一回か、昼からももう一回増やしてもらえないものかと、いつも思っています。これから、年寄りも増えるので、是非お願いします。</p>
<p>・地方は何処もそうですが、交通機関が発達していないので、自動車利用で、運動不足、足、腰が弱くなります。少しずつでも増やして頂けたら、歩き、自転車の利用が可能になります。</p>
<p>・のらマイカーの運行について一言です。国府地区荒城方面です。田畑で仕事をしていて、いつ見ても、のらマイカーは空っぽで、人件費、ガソリンの無駄が走っているようです。自家用車が普及しているこの頃、どうしても必要な方は、何か手立てがありそうです。例えば、申請した人には、タクシーの補助券を出すとか。</p>
<p>・高齢化社会になっていくので、他の地域でやっているようなバスの予約（前日の）で利用できるような仕組みを考えてほしい。</p>
<p>・すみずみの人まで、一日一本でも公共交通機関の利用を。</p>
<p>・市内における駐車場の不足、渋滞を解消する施策をお願いしたいです。（入込制限、環状道路とか）</p>
<p>・何か行事があると、いつも駐車場の為に走り回ります。いろいろ考えて下さっていることはわかっていますが、駅前などに、二階、三階の最低料金でのサービス駐車場があればいいななどと都合の良いことを考えています。</p>
<p>・西口に、マイカー無料の送迎用の駐車場を完備してほしい。</p>
<p>・観光地として全国的に有名で、多くの観光客の方が見える事は大変ありがたい事だと思います。限られた土地の中で、なかなか駐車場の確保に御苦労されると思いますが、一時的な混雑ばかりに対応をするのも御苦労だと思いますが、自家用車でみえる観光客の方々も増えたことを考えると、駐車場の確保や料金（高いとってみえた観光客が見えました）をもう少し、見直されたいと思うところです。</p>

<p>・市営駐車場のバス乗り入れに関して、バス満車の場合、中橋公園前位にパネルを持った人が立っていないと、団体客など多くの方が橋の上におり、バスだけの列で大変な事になっています。排気ガスもすごいし、景観を大切にまちづくりするのなら、もう少し考えて頂きたいです。</p>
<p>・バイクでみえるお客もとても増えているのに駐輪場がないとよく苦情を言われます。大型バイクを止める場所を作った方がいいと思います。</p>
<p>・駅前の大改造を望みます。ショッピングセンター、食堂などあまり都会的でなくても、何か市として良い方法を考えてみて下さい。</p>
<p>・高山駅西口の開発を早く進めてほしい。小京都、高山らしい駅前の開発、現在の駅前は高山らしさを感じられず、少し寂しいという意見を多く聞きます。新しい中にも高山らしい落ち着いた玄関口としての雰囲気づくり、大切だと思います。</p>
<p>・高山駅の改修に万全を。</p>
<p>・駅前の開発には期待したい。</p>
<p>・高山駅を含む整備事業がいよいよスタートと聞いております。一市民として非常に関心を寄せています。観光都市にふさわしい玄関口としての駅も大切ですが、高山市民がJRを利用するだけの駅ではなく、子どもや若者、お年寄りなど楽しく過ごせる駅になるよう希望します。その為に、市民の意見を聞く機会を是非計画してもらいたいと思います。</p>
<p>・駅前をもっと綺麗な町にする事を望みます。高山駅の開発が遅れているようにおもわれますが、高山駅に降りたとき何か物足りなさや暗い雰囲気が漂っています。女性をターゲットに考えるべきだと思います。</p>
<p>・各戸に任意で設置する無線は、合併以前では無償配布だったために、近隣に申込者が少ないです。また、幸いなことに今までに切迫した災害もなかったため、必要性が希薄になっています。また、ケーブルテレビも地域によって利用料金が違うことや、工事費が必要なことなど、加入のためのハードルが高く思えます。市で推奨するのであれば、工事費や利用料金の価格帯を下げて加入数を上げて採算を考えてほしいと思います。利用料金の設定が加入を遅らせている原因だと思います。</p>
<p>・情報通信整備の件ですが、高山市は、ケーブルテレビ会社だけに力を入れているように見えます。（市の職員が住民への説明会出席など）どの市町村でも、通信の整備は、大手の通信事業者など数社あり、住民が複数の選択ができるようになっていきます。これにより、競争し、利用料の値下げが発生して、加入者が増加していると考えられます。高山市のように一社だけにかたよると将来的に、地域住民としてデメリットが発生することは言うまでもないと思います。また、最近パソコンでなくモバイル端末を持ち出して使う時代（無線化）になりつつあります。通信事業者も、数社が、高速な無線通信も行き、他の市町村では、環境が整いつつあります。（かたよりが無く参入し易いのは）他の民間ケーブルテレビ会社は、企業をスポンサーとして取り組みを行っているのが現状です。官民のすみわけは、明確にしていく必要があるのではないかと思います。</p>
<p><b>住宅、公園</b></p>
<p>・人口が減少傾向にあるにも関わらず、マンション等が多く新たに建設されるのはなぜでしょうか？空き家を市補助でリフォームして、若い世代に賃貸するなどの施策によって、今ある資源を有効に活用できればいいのにと考えています。</p>



<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内地（古い町並周辺）に空地、駐車場が目立ちます。歯抜け状態の町並みはなぜかみずぼらしいものです。集約するような方向はないのでしょうか。空き家も数多く見られますので、これらの活用の道も考えて頂けたら、すばらしい町になると思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼっぼ公園もいいけれど、親子共に自然になじみながら汗を流すことができる大きな公園がほしい。最近の子育ては、放任、自己中心が多く、子どものゲーム遊びが主流です。健康の大原則は、「食事・休養・運動」と習いましたので、気分をすっきりするためにも運動は人間にとって重要なことです。心も健康でなくてははいけないと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・パークボール跡地は、公園になっているが、人があまり来ない。あまり人に知られていないようだ。もったいない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが遊べる公園が少ないです。運動する公園も少ないです。もっと元気よく明るく遊べる場を作ってもらいたいです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年をとっても、暮らしやすく住みやすく、いつでも公園とか行けるまちづくりをお願いします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう少し、公園など遊具のある、親子で過ごせるような場所があるといいと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園の清掃、安全点検などしっかりやってほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山市は、観光に力を入れていますが、他県からの知人などは「高山は山国なのに、町の中に緑が少なく、疲れて休みたいと思っても、無料で腰を下ろして休む木陰も少ない。観光地としては不親切。都会の方が緑が多く、休息所も多いのに。」と何度か聞かされました。旧郡部も高山市になり、車の往来も多くなり、道端で遊ぶ子ども達の姿が見えなくなったように思います。公園を考える時代になったのですね。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達が、遊べる公園が何ヶ所かがあると助かります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然を取り入れた公園を高山市の南方面につくってほしいです。</li> </ul>
<b>水道、衛生</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道代がとて高くなったと思います。隣に空き家を一軒持っているのですが、冬場3～4ヶ月の間、水道を元栓から止めていて、何も使用していないにもかかわらず、基本料金は仕方ないとしても、高い下水道代を支払わなければいけません。何も使用していない時ぐらいは水道代をもっと安くしてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンホールの蓋を振動の少なくなるように考えてもらいたい。朝晩、大型生コン車やダンプが頻繁に通るたびに、家への振動がひどいです。夜中に2階で寝ていると、地震かと目が覚めます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・禁煙の拡大。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客のマナーの悪さ、常識のなさに毎日腹が立っています。植え込みを掃除すれば、団子の串や空き缶、ペットボトルが山のように出てきます。市役所は、誘致するだけでなく、自分のゴミは自分で持って帰れとPRしてほしいです。それが出来ないのであれば、町の至る所にゴミ箱を置いて下さい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・美しい自然に囲まれた高山も、道端に落ちているゴミ、空き缶、ペットボトル等、観光客が見たらどう映るでしょうか。又、犬の糞など論外です。子どもから大人まで、自分で出したゴミは自分で正しく始末する指導を宜しく願います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだまだいろいろな所にゴミが落ちています。観光客が大事なので、もっともっと皆が気を付けてほしいものです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみのポイ捨てや雑草など町、中心地だけでなく、全体に見回りしてほしいですね。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・焼却場と火葬場の問題は、出来るだけ早期に長期的な課題を市民の皆さんと話して解決してほしい。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・市で行っているリサイクルリフォームなのですが、前は、自転車が売りに出されていましたが、今は自転車は売りに出されていません。すごい量の自転車があるのを見ると、まだ直せば乗れるのがあるのと思ってしまいます。勿体なくも思います。また前のように、自転車が売りに出されるのを願います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・とにかく、ゴミの無い街を希望します。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ箱やトイレが少なく感じますので、観光客の方々にも良いと思ってもらえる街づくりをして欲しいです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙禁止区域の徹底。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・可燃ごみのシール制を変えてほしい。ごみの量を減らすように努力して、ごみシールがかなり余るが、すでに税金として引き換えになっていると思うと、ごみを減らせてもやや不満。余ったシールは、結局捨てることもある。シール制はやめて、飛騨市の様に、ごみ袋制にしてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ねこ、カラスの被害で、ゴミ捨て場が汚いので、小屋の様なゴミ捨てステーションをつくって欲しい。きれいな高山！！にして頂けたらと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラ、紙のゴミ袋ですが、透明な袋（小）なら、OKして頂けたら助かるのですが・・・袋代も高いので、ゴミが少ない時はありがたいと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・火葬場の建設を早く行う。いろいろ土地の選択がありますが、現在の焼却場の埋立地を利用すれば土地代金も安く、市民の利用も良い、交通の便、他の環境にも影響がなく、反対者も少ないと思う。故人にとっても市全体が見えるので良い。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・火葬場の移転、新設関連工事等、交通等の便の良い場所に早急を実施して下さい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・火葬場の件ですが、駅西に新設してはどうでしょうか。多目的ホールは、文化会館があるので必要ないと思います。私は、以前葬儀で、三回大阪へ行きましたが、都会では市街地にあります。近代的な建物で、コンサートホールの様です。平野区の北区天神の市営斎場です。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・火葬場の移転、早くすべき（強く要望）。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・火葬場を都会の様に、広くて綺麗な建物にしてほしいです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多分、今論議されていると思いますが、火葬場を実現してほしいと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・火葬場に関しましては早急にお願いしたいです。移転等難しい難題ですがよろしく願います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人が歩いて行ける距離に浴場がほしい。例えば、市の経営でもいいのではないかな。</li> </ul>
<b>防災、安全</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災に対する考え方をしっかりしてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一年に一度、防災の日（市で、ライフラインを一日全てストップさせる）。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・原発で避難の際、バス、場所（他県）の確保をお願いします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に、町の中に人の避難場所を確保してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災ラジオは必要と考えてレンタルしていますが、買い上げを可能にし、毎月の負担が不要になると良いです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市からの防災無線をつけているが、コールの音でいつもビックリしている。お知らせや英会話などあまりいらぬのでは？コールの音を、柔らかい音にしてほしい。あくまで、災害時用でやってほしいです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災のお知らせも、遠くの方からなので、はっきりわかりません。お願い致します。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・近所トラブル、騒音、虐待・・・など 安全性の確保。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・治安が悪くなってきている。各町内で青パトによる巡回をしたらどうか。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・還付金詐欺が発生したようだが、ひっかかりやすい老人に、チラシとかを配るべきではないか？携帯やパソコンを持っていない人も多い。アナウンスも聞き取りにくい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問販売が近年多く、昼でも鍵をかけています。時代かもしれませんが、これにも頭を痛めます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・お年寄りにも子どもにも、誰もが安心、安全にすごせる町。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・この地域のドライバーの運転マナーに閉口することがあります。全ての人がそうではありませんが、例えば、「右左折直前にウインカーを点滅させる」や「右左折車線にいるのだから、曲がるのは当然だからウインカーを出さなくても良い」とでも思っているのでしょうか。今までの経験でも、「もっと早くウインカーを出してくれていれば、交通ももっとスムーズになるのに」と思ったことが何度もあります。事故防止のためにも交通ルールの徹底指導をお願いします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山はとても良い所だと思います。経済的には大変かと思いますが、これからも安全、安心で過ごせるよう、よろしく願い致します。自分で出来る事は協力して行きたいと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・古いものも大事にして、安心、安全なまちづくりが大切だと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・防火施設で町内会が要望している防火水槽がつくってもらえない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団員入団者がいない。市としても情報提供を求む。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団に対しての待遇、入った時のメリットなどをもっと分かりやすく良くしてほしい。</li> </ul>
<p><b>観光</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客の誘致（外国人、国内問わず）観光課に期待します。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人へのサービスについて、ボランティアのサービスを希望される人への案内があればいいです。よく道で、ガイドの紙をみせてわからない所（行先）など聞かれます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光地が、上町と下町で、お客様が全然違ってきます。出来る事なら、まんべんにならぬかといつも思っています。施設が少ない事もありますが、どうにかなるとよいと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光をもっと充実させる。観光客にもう一度来てもらえるような町づくりが必要。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・やはり、観光産業が主になると思いますが、（食材と水）水が良いので、食物が全体に美味しいと感じます。牛肉だけでなく、山菜やパンケーキ、飛騨にしかないお土産、そば、うどんなど、市民が普通食べている食品食材の観光アピールが大切だと思います。（情報発信）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山市は、世界的にも有名な観光都市です。都会と比べたら、少し不便な所もあります。ですが、それなりに生活でき、緑も山も水も人の心もきれいな都市です。色々と企業が進出することもあると思いますが、高山市をけがす様なもの（わいせつ系の店など）は進出されないようにしてほしいです。自然を大切にしていける事もいってみえますが、私の子どもの時から、道路や宅地の造成等で山などがなくなりました。便利になる事は良いのですが、少し寂しいです。後、アニメによって、観光客を呼ぶのもやめてほしいです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・TVアニメとコラボして、色々な企画をされたそうで、こういった新しい試みは非常に良いと思います。（市としてどれほど関わったのかは知りませんが・・・）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山祭等のシルバー人材の育成（対応の悪さ）。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光業が、もっと発展する為に、現在の観光のあり方の他に、長期滞在型の観光があっても良いのではと思います。都市部の方々へ、空き家などを長期滞在の施設として利用して頂いては！</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛騨の野菜、家具、牛、豚、卵など（農業、林業、畜産）観光で、賑わいが出れば、住み良い町になっていくのではないのでしょうか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客が、道路いっぱいになって歩いている事が多い。（観光シーズンは特に）何か看板みたいな物を立ててみたらどうですか？（特にえび坂から中橋の間）</li> </ul>

<p>・高山市は、観光都市であるのに宣伝があまりに下手だと感じるのです。市民が動き、それを行政がサポート（金銭的に）したほうが、いいものができるのではないのでしょうか？</p>
<p>・観光客を見ると、高齢の方、お祭りの時などに集中しているので、もっと幅広い方が通年来ても楽しめるモデルコースをHPに載せるなど、今後を考えた（団塊世代が来なくなっても良い）観光地としての魅力づくりをしてほしい。四季を感じられる、市民の生活体験（海外の人も含め）のような、もっと高山の四季らしさに合わせた、気軽にできるものを増やしてほしい。駅前の案内で申し込むと、体験ツアーに参加できるなど。手での田植え、川での魚釣りなど、海外の人も分かりやすい窓口にするなど。</p>
<p>・高速道路が整備された事により、飛騨地域は宿泊点から通過点になっている事は御存知の通り。観光客のリピート率を上げるために、高山、飛騨地域をアピールする何かを考えなければならないと思う。</p>
<p>・観光整備、誘客、歴史、文化（財）を守る。</p>
<p>・高山市、飛騨市、下呂市が協力した観光と歴史等を組み合わせて、滞在を長く出来る様な施策を考える。</p>
<p>・高山市の一番のPRポイントは観光なのだから、今以上に力を入れていくべきであると思う。昨年行った陣屋前でのお菓子のイベントや、まちの博物館でのお酒のイベントなど、PRの仕方がイマイチであった。担当者等は、もっと他県に出向き、PRの方法や観光地の様子などを見て勉強して欲しい。</p>
<p>・ウルトラマラソンは、人気があるようなので、このまま力を入れていって頂ければ良いと思います。</p>
<p>・新たな高山市の情報を取り上げて宣伝してもらいたい。例えば、高山祭、春祭りとお〇〇地域の〇〇のように組み合わせ、PRしてほしい。高山市に入るルートもパターン化した紹介でなく、〇〇ルート以外に、野麦峠ルート、長峰峠ルートなど幅広くPRしてもらいたい。</p>
<p>・海外への観光アピールも必要とは思いますが、地域への経済影響を考えると、国内でのアピールに努めた方が良いのでは・・・</p>
<p>・最近、高山は観光に力を入れているようで、平日でも上二之町あたりは観光客の方がたくさん歩いてみえます。でも本当に「一部」だけにしか思えません。歴史と文化の町と言うわりには、いたる所にコンビニがあるし、全国チェーンのお店があるし、住民には便利ですが、わざわざ高山へ行く価値があるのか？と勝手に思います。</p>
<p>・観光客が、高山に何を求めて来るのか、真剣に考えているのか？整備された都市から、田舎町“高山”に来た人が、都会化された便利な高山に感動するのか？不便で、古くて、でも何かあったかーい、そんな癒しを求めているんじゃないかと私は思う。せめて今のまま、変えない姿を持続させること、金の使い方を考えましょう。</p>
<p>・高山市内は、古い町並等で、観光客も多いが、新穂高の温泉、高根高地トレーニングなど周辺地区の目玉政策を推進してもらいたい。</p>
<p>・高山市へ訪れる観光客の方が「古い町並を観に来たが、土産物屋ばかりだった。」と言っていました。古い町並と、買い物する街は区別するべきだ。本町商店街を上手く利用すれば良い。</p>
<p>・この時代、観光地として特色を出して行くのは、とても大変だと思います。市民の皆様も、色々なアイデアを出して、市民が協力しないと、海外、国内からの観光客に楽しんで頂くのは大変だと思います。</p>

<p>・宮川朝市について、日本三大朝市と言って、観光客を沢山集めていますが、あまりにもみすばらしくて、観光客に対して申し訳ない気持ちです。もっと、充実できたらいいと思います。</p>
<p>・朝市の出店者も、数が少なくなりつつある。宮川朝市は、向かいの商店の売らんかな主義に巻き込まれて、美しい方言と真心を売る昔の姿が消えてしまっている。何とか補助でもしないと客も背を向ける。三町でも、高山にしかないその店にしかない一品の創出を規定しないと、朝から焼肉串焼きの街になり下がってしまうのである。観光客すら、昔は素朴で良かったと言っている。</p>
<p>・どこも同じ様な観光都市ばかりになって来ている現在、最終的にはもちろん文化遺産を守りながら、そこに生きる人の人情が一番大事だと思います。その人情と文化遺産、自然とが一体となった鬼に金棒の高山市になると思います。何事にも、エッセンス、ユニークさも大事だと思います。</p>
<p>・観光に関する仕事をしています。パート勤めながら、この高山市を紹介できる事に誇りを持って働いています。世界中からお客様がいらっしゃるのですから、市職員の方も観光業の方も、広い視野を持ってお仕事をして頂きたいです。たまに、「縄張り意識」みたいなものを見せつけられて、がっかりする事があります。こんな時代ですから、公も私も、垣根を取り払い、柔軟に取り組めば、高山市はもっともっと素敵な町になるのではないのでしょうか？</p>
<p>・資金面等で、様々な理由があると思いますが、本物の観光地を目指していただきたいと思いません。安っぽさが少し気になります。</p>
<p>・観光地だけが高山ではない。観光に来られる方々が望んでいるものは、静かで落ち着いた場所（街）。何処にでもある街なら何処に行っても同じ印象を受け、やがて記憶から消える。</p>
<p>・観光を中心に据えた街づくりという考えに異存はないが、振興に走りすぎ、高山の持つ本当の良さを見失わない様に注意すべきである。例えば、上三之町を中心にした古い町並。確かに景観は保たれているが、その中で行われている「商い」には、眉を寄せたくなるものが多々ある。地元の間人が、そんなもの知らんというような土産品があったり、飛騨弁が全く通じない店員がいたり。もう少し、地に足がついた振興を図るべきではないか。いかに、古いものを守るといっても、時の流れと共にそれが変化していくのは止むを得ないと思う。私が、50年前の三町を懐かしんでも、今の三町にそれを求めるのは無謀だと承知している。しかし、飛騨の人が持つ誠実さと優しさだけは失わない観光立市に努めてほしい。</p>
<p>・高山市は、海外の観光客を多く呼び込んで見えますが、肝心の日本の観光客は、ざるで水をすくっているような気がします。土台をしっかりとさせましょう。海外の観光客は、マナーが悪くて、お金も落とさないし、イメージを悪くするばかりです。（アジア系の人々）もう一度見直して、日本の観光客を大切にしてほしいです。</p>
<p>・高山に嫁いで35年経ちました。その頃の高山は、今の様な賑わいも無く、飛騨高山らしさがありました。時の流れと申しましょうか・・・今の高山は観光化され、何処に行っても、中華そば、ざるそば、牛コロッケなど、商品も同じ様なものばかり。町並み歩けば、コーヒー一杯500円！町並みも人、人、人で・・・全国から足を運んでくれる人々の為に、これ以上、高山を観光化したくないと思います。まだまだ力を入れて欲しい地域を大切に考えて頂きたい。自然や伝統ある高山が大好きだから。</p>
<p>・我が家も観光業を営んでいるが、古い町並みだけで売っていくと、いずれ飽きられる。例えば、屋根の統一性や看板の自主規制、「自分だけが儲けりゃいい」と目立つ看板をせず、10年20年飽きられない観光地づくりをすべき。</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛騨の里、もう少し何とかならないか。久々に行きましたが、ライトアップにも結構きてみえますが、しまった店、そのままの店、もったいないと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛騨の里は、昔のように、にぎやかな所にしたい。観光バス、食事どころがなくなり残念です。白川郷より近い所で合掌造りが見られると喜んでいてる人の声も聞くので人が来るような対策をしてほしいと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・匠の森や飛騨の里などの施設を考えてほしいと思います。</li> </ul>
<p><b>農林畜産業</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・水田の管理や、傾斜地の管理に多大の税金が使われていますが、チェックが甘く、不正の温床になりやすいように見受けられます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・これから農業だけで生活していくにはTPPの問題などがあり厳しいものがあります。農業関係団体でなく、農家が潤う支援をお願いしたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地を、今の機械や生産性に応じて、改良する時期である。農家の負担無しで土地改良を行い、儲かる農業が出来る様にする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛騨にある資源は、水、森、農業等々なので、第一次産業をもっと発展できないかと思います。観光のみがいいのでは？</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野県飯田市が「食の拠点づくり」「食と農のファクトリーパーク」をかかげて活動した様に、高山の豊かな農作物、食材を活かした企業活動を期待したい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアパークの廃止。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧高山市街地は、道の駅の様な産地直売所がない。宮川朝市は、近年観光客用になって、値段も高目で市民の台所としてはあまり魅力が無い。問屋センター地内を整備して、例えば直売所や、観光客にも立ち寄ってもらえるイベント広場的な場所につくり直すことは出来ないか。近年、問屋自体の需要が減ってきているように感じます。広い場所で、高速道路にも直結で勿体ないと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然が豊かな高山を良いと言ってくれる観光の方の声は多いですが、義務教育を終えた子ども達にとっては、魅力が少ないように思います。進学や就職で一度高山を離れても、また戻ってきたいと思う気持ちは、幼い頃の体験（高山ならではの自然の中での学び、食事、飛騨弁の面白さなど）が重要だと思います。教室や教科書だけの学びだけでも精一杯なのでしょうが、高山だからこそ、体験できる農業や林業からの学びの場が増えると良いと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規の事業所を導入することもですが、農林業の活性化ができるの良いのではと思います。地産地消もですが、他地域あるいは外国へなど、消費拡大への助成をして頂ければ、農林業の活性化になるのではと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山市の農業振興地域での経営支援や人員の確保をして欲しいです。ほがらかな人柄ですが、うとい面が多々有ると思いますので、よろしくお願いします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業、林業も、もっとしっかりしていかないと山の中の立地が無駄になってしまう。高山だけの問題ではないが、1次産業をしっかりしないと他の産業もしっかりしてこないと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業、林業は、自然環境の改善につながるのではと思えますし、今までの様な植林育成ではなく、広葉樹の植林への助成をするなど、産業化への手助けをしていただけると、もっと地域が活性化するのではないかと期待を込めて要望してみたいです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業だけでなく、林業、農業に男女関係なく若い力をいかす良い方法を考えて頂けたらと思います。</li> </ul>

商工業、労働
<p>・商店街の中にも、空き店舗がありますが、意欲のある若い人たちが安い賃料で出店できるようなシステムがあれば、もっと活用できるのではないのでしょうか？また、古い町並の中にも、外からの資本の店が増えているようで気になります。ただのおみやげ物ストリートになっているのが残念です。全体的にせっかくの高山の景観が、以前と比べて魅力の乏しいものになっていっているような気がします。このままでは、リピートのお客様も減っていくのではないのでしょうか。もっと、高山の町を大切にしたい方がよいと思います。</p>
<p>・本町通り商店街はシャッターが下りたままで人通りが少ない。常に人通りのある所になってもらいたい。</p>
<p>・上三之町だけ観光客が入っている。本町商店街の屋根を外して、昭和の町にして下さい。</p>
<p>・商店街等の閉店時間が早すぎる。観光客の為に、少しでも長い時間開けて頂ければ、まちづくりの一つとして良いのではないのでしょうか？</p>
<p>・町中の商店街の活性化に力を入れてほしい。がらくた市や、味まつりなど行事があるときはたくさんの人で町が賑わっています。ふだんの町中は、歩く人もなくとても寂しい雰囲気です。大型店にはない、魅力あるお店もたくさんあるのに、お店のアピールも消極的に感じます。やはり、商店の方、町内の方、市の方、アイデアを出し合って元気な町づくりをしてほしいと思います。</p>
<p>・今、本町、特に3丁目、4丁目は、閉店が多く見られて寂しい感じだと思っています。</p>
<p>・古い町並、商店街、皆同じ様な土産物店になって昔からの特徴がなくなってしまった。</p>
<p>・古い町並だけでなく、本町にも人が通るようにしてもらいたい。将来は、全体に目を配っていただきたいと思っています。</p>
<p>・本町通りは、数十年前は、非常に活気があったような気がします。今は商店の数も少なく活気がありません。地域の住民は、大手スーパーへ買い物に行くことになってしまったことによる時代の変化と思われるが、もしそういうことであれば、せっかくの観光地なので、地元の名産品が並んでいる商店街に一新することで、活気を取り戻せる可能性があるのではないかと思います。どこの観光地へ行っても必ずまとまって、地元の名産品がならんだ商店街があるように思います。高山市として、市内の特産品を作られている会社を集めて頂くなどして、出店して頂くメリットを打ち出して頂き、地元産業の活性化が、市の活性化になる一つ的手段としてご検討頂ければありがたいです。</p>
<p>・高山市は、観光の町です。道路の整備によって日帰り観光客が増えたため、宿泊する観光客が減少しているように思われます。本町、国分寺、安川など以前に比べ外観などにこだわったおしゃれなお店が増えたと思います。良い事だと思っています。朝日町に関しては老朽化が進んでいるお店が多いように見受けられます。市で補助を率の良い方法で貸し付けるなど、お店を出している人を助けるべきだと思います。一部補助金等がでているようですが・・・</p>
<p>・もっと町の中心に人が集まる様に。今だと、駐車場の事を考えるとなかなか行けない。土日は観光客の車などで、身動きできない事も。そこが改善されれば行くんだけどなあ。観光客も大切ですが、もっと市民の事も考えてもらいたい。</p>
<p>・地元の商店の存続強化。</p>
<p>・大学で県外に出てしまう若者が、地元で就職が出来るような企業誘致などが出来るといいと思う。又、本町などの商店街の有効利用や活性化が必要！</p>

<p>・行政あげて、徳島の葉っぱビジネスではないですが、高齢者でも働く意欲と少なくとも収入につながる生涯現役を促す企画を行ってほしいと思います。</p>
<p>・地方の小さな市町では、アベノミクス効果は実感が出来ず、このまま経済が良くならずに終わるのではないかと不安です。とりあえず、観光事業ばかり力を入れなくて、もともとの高山の産業などに目を向けて市民の生活を守っていただきたいと思います。</p>
<p>・まちづくりについて、大きな事は言えませんが、最近、特に郊外の大型店舗の進出には、あまりいい感じを受けません。何処へ行ってもあるような店は、もうありません。市で、それを止める事は出来ないのでしょうか？（コンビニもそうです）高山のような町に、こんなに多くの店はいらぬと思います。お年寄りの人たちは、車に乗って買い物に行けないという声をよく耳にします。町中にある小売店は、どんどんなくなり、困っている人々は多いはずで。</p>
<p>・駅より東側に、スーパー、コンビニがほしい。実家が、城山保育園のあたりにあり、20年前までは、スーパーがたくさんありましたが、すべて、潰れてしまいました。車がないと、とても生活できません。一人暮らしのお年寄りは、本当に気の毒です。</p>
<p>・もっと若者から年寄りまで興味が持てる様な施設がほしい。ラーメン横丁とか、家族で楽しめる場所は必要。ファッション系も少ない為、常に高山市の外に買い物に行くといった状態の為、もう少しそういった施設がほしい。</p>
<p>・高山産品の高額販売（有利）と地産地消の推進。</p>
<p>・アウトレットモール、ショッピングモールを誘致したらどうか。</p>
<p>・コンビニが多すぎる（規制出来ないのか）。</p>
<p>・大型ショッピングセンターの誘致。</p>
<p>・伝統工芸の一位一刀彫、春慶塗、陶磁器、また屋台の維持管理。それぞれに、後継者、資源（いちい、うるし、陶土）面で問題を抱え、将来の展望がみえず、直接作業に従事して見える方に伺っても、この代限りいうことを聞きます。市として、各種の“売り”にこういったものを活用していくのなら、根本的な対策に業界団体と取り組んでいる姿が、市民には見えてこないと思う現状です。</p>
<p>・文化を創出する場であるためには、ものづくりの場でもなければならぬ。学校教育や職場でも効果的に役立てていかなければならぬ。飛騨の匠、デザイン関係等、各専門分野のチームをつくり、物づくりの問い合わせや、ノウハウを提供できる編成チームを構成してはどうか。</p>
<p>・建設業、特に公共工事の発注単価を底上げし、下請け業者までいきとどくようにしてほしい。現状の単価では、若い職人は減り続け、下請け業者は、破綻してしまう。大都市並みの単価では、高山では無理がある。</p>
<p>・別荘で、これから永住者が住むと思いますが、今の会社だと、住む人がいなくなります。もっと、永住者が住むようないい会社が入るといい。</p>
<p>・高山市が発展して企業も発展していってくれるのなら、家計も潤うのかな・・・とか思います。</p>
<p>・大学をつくる・・・観光学に関する教育を充実し、卒業生がつくるまちは、観光地にふさわしいまちになると思う。若者は一度大学や専門学校で出てしまう。新たに観光を学ぶために来てくれる若者が高山を活性化してくれると良い。</p>



<p>・私は、高山に生まれ育ってまいりました。大学の時高山を出ましたが、帰って結婚し、子どもが3人います。3人の子ども達は、今の世です。大学に進学すると思います。しかし、高山に戻り職に就く事は、非常に難しいと思います。老後は、夫婦二人の生活になり寂しさを感じます。観光で地域の人が集う、賑やかな高山も大事だとは思いますが、地域の産業により、若者が住み、子ども達が増える政策が必要と感じます。</p>
<p>・大学生の子どもを持つ親としては・・・知識や資格を持って卒業しても就職先が余りないと感じています。本人は、自分の知識を地元で活かし、高山で就職したいと思っているが、活かせる企業がない。もう少し、若者の働ける場を確保して欲しい。企業誘致にも力を入れて欲しい。高山にも優秀な若者が沢山出ていると思うが、働く場がない為、他県で就職している傾向がほとんどだと思う。優秀な若者が戻って来れ、知識を発揮してくれたら、高山市のまちづくりに貢献できるのではないのでしょうか。</p>
<p>・人口をくい止め（減少）、出生率ではなく、働き手の世代（18歳から）を地元に残って頂く様、働く場（企業の誘致）の提供に力を入れてほしい。</p>
<p>・観光学関係の教育機関の設立、誘致を積極的に推進してみてもどうか。飛騨は、豊富で多様な自然資源、雄大な自然景観に恵まれている。観光には雇用吸収力も大きく、飛騨は依存度の大きい産業の一つでもある。</p>
<p>・雇用の創出には企業の誘致を進め、若者が地域に定着し都会並みの給与所得になれば自然と消費も増し地域経済活性化につながり、他産業、就職に普及元気な高齢者の雇用も必然的に増加されることになると考えます。その為には幾つかクリアしなければならない問題があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 交通アクセスの拡充と資材輸送の円滑化及び迅速な対応</li> <li>2 通信網の充実と世界情報の最早入手</li> <li>3 誘致の為の敷地確保</li> <li>4 従業員家族の娯楽施設（遊園地キャンプ場等）</li> </ol> <p>以上を提案します。かなりの資金が必要かと考えますが観光施設の見直しも御一考下さい。</p>
<p>・若い人達が、高山市で暮らしていけるような産業の誘致を行い、高山で就職出来、活性化されるような町づくり。</p>
<p>・老後に向けて、少しでも不安がなくなればと思います。都会では、施設を作るにも、土地も確保できないらしいです。そういった会社を誘致しては？</p>
<p>・民間企業誘致と雇用機会の拡大</p>
<p>・高山で就職出来る様に、工場、企業等の誘致。（若者の定着の為に、流出を防ぐために）</p>
<p>・観光や農業など以外の産業の育成、誘致。</p>
<p>・観光だけに頼らない市づくり、その為の企業誘致を進めてほしい。</p>
<p>・若者が経済的にも安心して働ける場所、職場（企業の誘致）を真剣に考えて頂きたいと思っています。</p>
<p>・大企業誘致により、雇用安定、経済活性化へ。</p>
<p>・子ども達が大きくなった後、高山市で働こうと思った時に、どれだけ活力のある企業が残っているか不安があります。優秀な人材や気力のある人材が地元に残ってもらうために、企業支援が必要だと思います。</p>
<p>・若い人たちが、地元に戻って来れないような現状では、将来不安。結局、高齢者の高山になりそう。企業誘致など、まず働く場からでしょうか。幅広い年齢の方との話し合いは必要ですね。税金が高いのが不満です。</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来性のある企業、働く職場が少なすぎ、大手企業が高山へ進出できる街づくり。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アベノミクスといわれますが高山市内大きいといわれる企業でも、給料アップどころか、雇用も危ない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者の雇用の場を創出する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・15年間住んでいます、やっと少しまわりに認められる様になってきました。もっと仕事がいっぱいあって収入が安定してくればもっと魅力的な街になると思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用ですが、いくら就労支援施設・窓口を作っても、現状ハローワークでは毎回同じ求人となっています。雇用そのものを創出することが、まちの活気、安定的な財政や若い世代の定住につながってくると思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の高卒、大卒の子ども達の就職を考えてほしい</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山に大学をつくってほしい。大学で高山以外へ必ずといっていいくらい出て行き、帰ってこようと思っても雇用に限られている。どんなに高山を愛していても、雇用がなければ定住できずあきらめざるをえない。高齢者が増えて若者が減っていくことを考えて頂きたい。30～40代での働き場、50代からの働き場と年齢と体力を考えた場所を何とかつくってほしい。年金がまだもらえず、働く場がなく困っている人が多くいることを理解してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一家の大黒柱が、家族全員を養う収入がある事が何よりの福祉であり、介護であり、教育である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近、NPOが仕事を沢山持って行くので、シルバーの仕事が減って来たと聞きます。今一度見直しをして下さい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・先ず新卒者が働きたい（高山に住みとどまりたい）と思う街づくり。その他全体的に雇用の確保。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市外の学校（大学・専門・短大）卒業後、高山に戻って就職できる職場を確保してほしい。高山の給与水準をあげてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て真っただ中で強く感じるのが、大学、高校を卒業した後に、地元に戻って来る事の難しさで雇用面で、なかなか希望にかなわず、せつかくの若い力が他の地域に流れてしまう事は、ますます高齢化を進めてしまいます。やりがいはもちろん、資金の面でも魅力を感じられる事が大切だと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの数がだんだん減少しているなかで、大学進学率だけが高まり、一旦、都会へ出るとそのまま都会に住みついて、こちらは年寄りだけの家庭が随分多い。もっと、高山市、民間企業、高等学校、大学（小学校・中学校も含む）、地域が一体となって地元就職の奨励と受入体制の確立を真剣に取り組まない限り、高山市はだんだん衰退の方向へ進んでしまう事が危惧される。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育についても、選択肢が少ないです。高校卒業後、都会の大学へ出すだけ出して、Uターン者を一生懸命呼ぼうとするのは無理だと思います。魅力ある大学、学部づくり、そこで学んだことを活かせる職場をつくる必要があると思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事が欲しい。アベノミクスの効果を受けたい。これからも、高山市が住みやすい地域にして下さい。どの地域も温度差がない様に！</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の全職場の現状の状況をもっと把握してほしい。毎日12時間以上働いても、残業代は1時間位しか出してくれない職場に不満があります。もっと徹底的に市内の職場の現状を見て下さい。経営者の意志のみで社員はロボットの様に扱われている会社もあります。経営者が経費を自由に使い、その分従業員の残業代を削るといふ会社を何とかして下さい。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業の充実のために農業の活性化、働く場所の誘致を。人が元気で、人が増えれば、町は活性化すると信じます。よろしくをお願いします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達が、職に就こうとしても、なかなか良い職がなく、やはり、名古屋等に出ていく事になります。職業の安定、収入面での安定を望みます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山に限らず、日本全体の事ですが、若い人も生活が苦しいから、何人も子ども産めない状態です。仮に、子どもを何人か作っても、都会の学校へ行くと、卒業しても地元働く所がありません。（安定した所）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住して来ましたが、（飲食業を営んでいます）環境面では素晴らしいとは思いますが、一人一人の労働者のレベルの低さ、意識の低さに驚かされる日々です。他県からの客をむかえる高山市民は、このままでは危険だと思います。研修制度をもっと充実させてはと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統や自然景観の保全等、努力が感じられます。が、高齢化は深刻であり、若者が都会へ出てしまう要因の一つは「大学」などの機関の少なさ、そして雇用だと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、都会へ出ている人が高山に戻りたいと言われる30～40代の若い声を多々聞くのですが、一番は就職の問題で、そういう人が戻られたら、もっと活気ある町になると思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校を卒業した若い人達ほとんどが、市外の学校へ行き、高山に戻ってくるのは、わずか数人。このままでは、高山の将来が不安です。外へ出て勉強した人達が戻って来れる様に施策を考えて頂きたい。地元で就職する事を条件に奨学金を出すとか、地元で就職した人は補助金を出すとか、何かしないと優秀な人材が高山からいなくなってしまうと思います。非常に不安です。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今のままだったら、高山は将来、5～6万の小さな町になり、老人ばかりの（飛驒）地域になってしまいます。本当に高山の事を思うなら、まず若者の雇用を考え、高山で生まれ育った人間が、将来高山へ戻ってこられるような町にする。または、高山でそのまま就職し、定住できるような町にしてほしい。観光ばかりに力を入れず、若者が学校を卒業したら、高山に残って就職したいと思うような町づくりができないでしょうか？また、他地域で生まれ育った人が、高山に住みたい、働きたいと思える町にできないでしょうか？市長さんも、職員の方も大変だとは思いますが、まず最優先に考えていかなければならないことは、どうしたら将来（高山）の人口減をくい止める事が出来るかだと思うので、真剣に考えてもらいたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校卒業後、高山を離れた人達（大学進学等で）が帰って来れるような場所であってほしい。（就職面で）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者の就労対策。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・給与水準を上げてほしい。若者は都会に出て行ってます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・僻地にも住みやすいまちづくりを切にお願い致します。特に、若い者達の働き口の確保。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・賃金が低い。生活水準が向上する様にしてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・Uターン等の移住促進に対するやり方には大賛成です。（私自身もUターンなので）ただ、このまま移住者が増えた場合、ずっと地元を守ってこられた方々とのギャップは、この先間違いなく問題になると思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山市は、ドラッグストア、コンビニ等が多すぎる。</li> </ul>
<h3>学校教育</h3>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども、高校生等の通学路で暗い所がまだあります。街灯を早急につけて下さい。玄関のあたりは夕方から夜9時、10時くらいだと思いますし、夜遅く帰る学生を見るとかわいそうです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが地元に戻って活躍できる場や魅力ある高山市になってもらうためにも、中学までの補助ばかりでなく高校も、さらに大学を設立してほしい。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・農山村地域の子ども達の通学安全について細かく調査して安心して登下校出来る道を確認してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが将来、高山に住んで暮らせる様に、教育が一番大切だと思います。高山、飛驒の文化や歴史をしっかりと身につけて誇りを持てる様な人に育てていけば、高山についても考えてくれるでしょう。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山ならではの雄大な自然を活かした教育施設等があってほしい。特に小さな子ども達が、四季折々の環境の中で遊び、学べる機会と施設を民間と共につくってほしい。“森のようちえん”</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校施設、維持関係には、もっと予算をつけてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育に道德教育を取り入れてほしいです。思いやりのある心を育て、心豊かな子ども達が育つことを願うものです。</li> </ul>
<b>生涯学習、スポーツ、文化</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の管理施設、文化会館、公民館の利用について市民が利用しようと思っても利用料が高すぎる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山から発信する教養、学びの場の提供。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校卒業後、他県に行かないと学ぶ機会がないのが現状。高山の地で学びを深められる専修施設、専門施策があるとよい。留学生を積極的に受け入れる国際教育施設。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年会館の講座が35歳までなので、もう少し幅広い年代でも利用できるようになると思う。35歳までは、子育てに忙しく、なかなか夜の講座は受けられない。やっと、子育てが一段落した時は、年齢が35歳以上になってしまい、行きたくても行けない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人への生涯教育に力を入れてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びの場（特に冬の雪時）の確保、例えば、ゴミ処理場隣接の室内プール、室内グラウンド（フットサルなど出来る）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県から来ましたが、岐阜県はとても良い県だと思いました。又、高山も大好きです。市長さんも市民の声を聞いて下さり、とても身近に感じられます。奥飛驒に住んでいますが、プールが利用できて本当に幸せに感じています。せっかくの施設、無くさないようにお願いします。高山にもプールはつくった方が良いのではないのでしょうか。お金がかかるからといって、この市に一つもないなんて考えられません。子ども達の健康の為にも、スポーツ施設は大いにつくるべきだと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ振興に対しての未熟さを感じます。施設の不足を特に感じます。部活、スポーツ少年団の練習場所、体育館使用、又は専用グラウンドが少ないと思います。サッカー専用グラウンドが無い。中山球場の老朽化など、整備が必要かと思っています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私の生まれ育った地元は、幅広い年齢の方にスポーツを楽しんでもらうよう、とても充実している。高山市は、そういう環境が少し遅れているような気がします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・プールをつくってほしいです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもを連れて観光に来て遊べる所がないように思います。バッティングセンターなどスポーツに親しめる場所が欲しいです。パチンコなどの店が多いわりに多目的スポーツができるなどの施設が少ないです。バッティングセンターは是非お願いしたいです。そのまわりに子どもも遊ばせ温泉もあるプールもあるなど多目的遊技場をつくって欲しいです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケート場、プールができるといい。</li> </ul>

<p>・「こだま〜れ」の予算に納得しない。旧町村で、毎年行っているお祭り、伝承行事など、毎回予算確保に、旧町村の方はとても苦労している。市民参加イベントと言っていますが、同じイベントをするなら、旧高山市だけじゃなく、高山市全体でまちづくりをする事に、予算をつけて、市民のまちづくりをしていけばと思います。</p>
<p>・芸術や音楽に触れる機会が少ないので多くしてほしい。映画館が少なく、上映時期も遅れています。演劇、舞台、コンサートも出来ません。</p>
<p>・芸術活動にもっと力をいれてほしい。クラシックコンサート（有名な）とか、宝塚とか。</p>
<p>・高山でも、ミュージカルが観られるようにしてほしい。</p>
<p>・文化財の保護などにも力を入れてもらいたい。</p>
<p>・市町村合併により、重要文化財が多くなり、一度、全高山文化財としての紹介なり、書籍（単行本）などの発行をしてほしい。</p>
<p>・高山祭については、人口が減るなかでどうなっていくのかと思う。町内＝氏子となっていて、伝統文化と宗教の問題で、ずっと違和感がある。高山祭は大事だと思う。でも、神社を信仰しているつもりはなくて、ずっと誰かに聞きたいと思っていました。（他県からきましたので）</p>
<p>・新しさを追い求めるだけでなく、高山の伝統文化習慣を大切にしたい。まちづくりもそこに基本があると思います。</p>
<p>・「心のふるさと飛騨高山」として今後もあり続けるためには、高山に居住する人達が歴史風土・伝統文化を理解し、守り、後世に伝えていくとの思いがなくてはなりません。民間の活動が大切で、強力なサポート体制を望みます。</p>
<p>・ここ最近でとても残念に思ったのは、鍛冶橋の改修工事です。鍛冶橋という名にふさわしい改修ならまだしも、安っぽい橋に変わってしまったのが、とても残念です。ここに税金が使われたかと思うと悔しいです。少し前に、本物志向という言葉が流行りました。高山の景観も、本物志向でないで後世に受け継がれていけないと思います。本物志向を貫くことが、高山の伝統の技、職人を守る事であり、それは世界に発信できる高山らしさになると思っています。</p>
<p>・高山の町は、私達の子どもの頃とは随分変わってしまいました。時代と言えればそれまでですが、あまりにも土産物店が多く、落ち着きの無い様に思われます。もう少し、伝統文化を大切にしたい町づくりができませんでしょうか？</p>
<p>・現在、高山市政は元気があると思われれます。ただし、国の制度、政府の政策等、地方自治体を抑制する様では、何のために地方自治体が存在するのか理解できない。地方の個性を活発化する事が必要で、自主性を尊重する事が大事で、地方が生きてくる。地方の特色ある観光資源が生まれてくると思います。現在の伝統的な町並みは、当初から比較すると、相当様変わりしていますが、今のうちに取り戻せば、将来も生き続けられるのではないのでしょうか。伝統的建造物群のみでなく、全市で考える、取り組む必要があると思います。</p>
<p>・高山は、全国どこにでもある観光地になってしまった。「世界遺産に登録を」なんて、恥ずかしくて言えないし、私の周りの人々も笑っています。このまま、全国どこにでもある方向へ進めば、答えはおのずと出るでしょう。</p>
<p>・せっかく高山に来た観光客もガッカリしないようにしてほしい。「売らんかな〜」の土産物店、中には全国共通のみやげ〜 以前に壊された造り酒屋の様な伝統的建造物を、どうして市は守れなかったのか・・・先が思いやられます。イギリスのナショナルトラストなどを真似して自然や建物の保護を是非。</p>

地域、市民参画
<p>・町内会の加入を、市としても支援するものがあると良い。地域のコミュニティーを形成する最小単位であり、未加入家族が増えることで地域で知らない人が増え、ますます地域が崩壊していくように思います。地域のネットワークは町内会であり、災害時等もしもの時に、子どもも高齢者も守るところになると思います。負担にならずに、町内会がより活性化される施策を望みます。</p>
<p>・高山でも高齢化が進んで、一人世帯の生活が身近で目立ってきました。そして、その人が亡くなると、ご多分にもれず空地となり、町が特に空町が寂しくなっています。若い人が、その家族が高山へ来てくれる為には現在何が必要で何が無いのか・・・大きな身近な問題に悩んでおります。住み良い町とは何か、安心して生活するには個人的ではありますが、家庭の充実をもっと考えるべきではないかと思えます。</p>
<p>・町内活動について、高齢化した中心地の町内会は運営自体が難しくなっている。大きな町内と小さな町内の役割を見直していくべきではないかと思えます。</p>
<p>・60歳以上でも働いています。そんな人が多いと思います。それでも、班長がきたりとかで、今年は大変な年です。祭りのけいご（女世帯）でもあてられるとかで、負担に思っている人も多いと思います。町内会は入らなければなりません、近年、家族も増加し、私もそれを希望します。（町内会に入る意味を考えよう）そうすると、班のつきあい、出られないときは互いに補い合うとか、もう少し、互いに理解があってもよいのではないかと思います。</p>
<p>・昔から続いていた行事が簡素化され、地域内の絆が薄れたため、町内会活動が弱体化された感じがする。</p>
<p>・祭等の出役に対する不安もある。</p>
<p>・町内会の再編をしないと、町内会活動に無理が出てきている。町内によっては、市民の負担割合が非常に厳しい状況になっている。崩壊寸前の町内会もあるのではないかと？</p>
<p>・手に職を持った移住者の受け入れ（徳島県神町参考）。</p>
<p>・人口の減少については、改善は難しいかと思えますが、他県からの移住者も、もっと地域の活動に参加出来る様に工夫した方が良くと思う。</p>
<p>・少子高齢化により、町内の編成が必要だと思えます。</p>
<p>・協働のまちづくりの中で「地域に住み続けたいという思いを育てる」とありますが、私も人一倍「この地に住み続けたい」気持ちを持っている市民でありますので、この高根にあっても住みやすい環境をつくっていただきたい。勿論、私達地域の者も協力は惜しみませんのでお願いします。</p>
<p>・地域ぐるみで子育ての出来る環境づくり。</p>
<p>・山間部では、若者の減少もあり、良い文化等を残していきたくても、負担が増えるばかりで安易に取り組めない。役もいくつも兼ねている者ばかりで、定住に対し大変なイメージをどうしても持ってしまう。田舎を守っていく為の人的支援も期待します。</p>
<p>・血縁と言う結びつきよりも、地縁など横のつながりにより、助け合う事が大事になって来る（少子化でもあり）と思われまます。昔は、普通であったことがそうでなくなって、今だからこそ、コミュニティー力のようなものを強化させたいと思っています。</p>

<p>・市の中心部では、年寄りのみの家が多く、その後継ぎは他地域へ出て帰る事もなく、町内会などは年々戸数減が進んでいる。若い世代が入っても、町内会へは参加せず（できず）、地域の活動は衰退する一方です。個別の事であるので、行政として打つ手は少ないと思いますが、大変心配です。行政としては、その様な問題に取り組んでいる先進地域等を参考にして、対策案を立てて早急に行うしてもらわないとすぐに町内が成り立たなくなる。</p>
<p>・封建的な物事の考え方（男尊女卑）を改める取り組みを。</p>
<p>・高齢者への情報（わかりやすい）がほしい。就労、医療、生活・・・。文化への情報拡充を。</p>
<p>・市のHP更新が遅い。</p>
<p>・高山は住みやすく、ずっと住みたいと思っている町ですが、私を始め、友人などでも市政の事についてあまり興味を持って情報を取り入れようとしている若い子は少ないと思います。（子供のいる方はわかりませんが）どうしたら興味を持てるのでしょうか？</p>
<p>・もう少し、若い人達の意見を聞いて欲しい。その際、何かの団体の青年部とかだけではなく、誰でも自由に参加出来る会議があっても良いのでは。また、その意見がどう反映されたのか広報で報告してほしい。</p>
<p>・今回の様に住民の意識調査をしていただけるのは大変ありがたい事です。個人的意見であっても、市民面談日などを設けてもらい、直接話してみたいという希望を持っています。</p>
<p>・健全な市政、市民の声を反映した市政の運営をお願いします。</p>
<p>・市街地の本町、有楽町で時々車を通行止めにして露店が出るイベントが時々あるらしいです。そのようなイベント情報を広報などで教えてもらえるといいなと思います。</p>
<p>・ボランティア活動の充実をお願いしたい。</p>
<p>・このようなアンケート調査を定期的に市民になげかけると良いと思います。</p>
<p>・市民と行政が協働してまちづくりに取り組む（市長との対話集会等）。</p>
<p>・住民参画の行政に向けて、町内会加入の為の施策を（市独自の条例の作成）。</p>
<p>・今後、高山市も少子高齢化が進んでいきます。その為、税収も少なくなっていくと思います。税収が少なくなるという事は、市の財政も厳しくなり、財政規模も縮小していくと思います。そんな中で、今までの様に地域を守っていく為には、地域住民が今まで以上に助け合う必要があると思います。地域住民が、自分達の地域を自分達で良くしていく為の多様な学習機会を行っていく事が重要だと思っています。ただ、市が主導ではなく、民間の力（コーディネーター）を借りて、それぞれ平等な立場で意見を出し合い、より良い地域づくりを行っていく為の学習機会を行い、市民自らが地域づくりを楽しんで行える仕掛け作りを行っていく必要があると思います。</p>
<p>・市民活動団体が、活動しやすい様に、資金面での援助をもう少しお願いしたいと思っています。</p>
<p>・市民に市政に関する情報を公開する。市民の声は大事だと思う。</p>
<p>・日本一広い市政ですが、その為には、広くなった部分への手厚い行政対応が必要ではないですか。旧市街地は従来通りですが 旧郡部は以前と比べ行政が行き届いてないと実感しています。高山市が真に市行政として評価されるためには、市民の行動も重要ですが、市行政の実行担当者の意識改革が必要では？八次総に向けて、地域の意向を十分に把握いただき、市政に反映されることを期待します。</p>
<p>・中心的な旧高山市だけでなく、郡部にも目を向けてほしい。地域活性化イベント開催事業も、これからも継続してほしいです。反面、住民の高齢化、若者は旧高山市へ出て行き、今まで盛り上げてくれていた商工会、観光組合、旅館組合なども減り、イベントを行うのも役の人の負担が大きくなっている。参加するのは楽しいが・・・</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧市内と旧郡部の格差解消。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧高山地域以外の旧町村に住んでいる人に目を向けてほしい。地域での格差がない高山市になればいいと思っています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の格差があり過ぎる。合併に依る不便さや不安が増えた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧高山市内の整備ばかりでなく、旧大野郡地域への施設整備もお願いしたい。</li> </ul>
<b>行財政運営</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・合併してから何年か過ぎるけど、吸収合併なので、私たちの住んでいる遠隔地区では後回しになり、発電所やダム固定資産税や温泉に関する税金等は市の会計に入るけど、地にはその見返りがありません。それぞれの地では犠牲を払っているのにあきらめるより仕方ありません。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・合併により、地域審議会が設置されましたが、地区市民の思い、願いがどのように反映され、合併後、10年、15年、20年先の地区のまちづくりの展望がどのように描かれ、市政への提言がきちんとどのようにされている（きた）のか、地区住民には全くわかりません。この間、地域審議会が地区（地域）まちづくりのためにどのような役割を果たしてきたのか、情報の提供を広く地域の住民にしていだけたらと思います。また、10年を節目に、この情報提供に合わせて、地域審議会に相当する会や、会の性格、構成メンバーの工夫等、10年後の新しいまちづくりを考える会がどのようになっていくのかも十分考えて頂きたいと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高根地域では、人口減・・・子どもの減により、保、小、中学校が統合され学校がない状態。人口減に対応した適切な措置だと思う。しかし、一方では、人口減にかかわらず選挙投票会場数に見直しがない。区民一人当たりの投票にかかる費用は、他と比べて格差が大きすぎるのではないかと。（一人の立候補者に対する投票者数は5名程しかいない）こういう公費の無駄づかいを見直し、もっと有効に国費を使うよう勧めて頂きたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政、財政の改革。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民にとって、納税は義務ですが、なるべく将来の生活をしていく為にも、無駄なことを見つけ（内部の事は、何処が無駄なのか判断できません）少ない年金生活者からなるべく税金、保険を上げないでほしいです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私は、市などが行うイベントなどには、ほとんど参加しませんし、公共の施設等もほとんど使いません。使用している人はたくさんいると思いますが、小さい子どもや、体の不自由な人はともかく、そうでない人からは、出来るだけ料金を取って、少しでも市の財政に協力してもらった方が良いでしょう。地域のイベントも、文化水準を保つなどやる意味はあるのですが、やったことで実際の効果、成果がしっかり判断されているには思えません。公共のイベントだから、採算などは考えなくても良いとは思えませんし、そのあたりが、どうも曖昧なまま企画されているような気がします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・長年同じ人が、同じ役職についているのが色々な意味で透明性に欠けて来ると思います。裏金や慣れ合い、怠慢へと結びついて行くように思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉や支援、補助など、本当に困っている人に行きわたるように。誰か少人数が（一部の人）助かったり、裕福になったり、得する事のないよう、調査し無駄のないような策をお願いします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私達が払う税金をもう少し何とか金額を下げてもらいたいと思っています。子ども達の時代になると、払えなくなると思います。いつも支払う月になると大変です。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・道州制促進基本法案を国会に提出、市町村に代わる新たな「基礎自治体」が行政を担うことにしている。この地域間格差や地域経済の停滞に対応できるよう、人口減少問題（支所地域力）、財政計画、社会経済情勢への対応に取り組んで頂きたい。</li> </ul>



<p>・効率的な財政運営をしてほしいです。また、意味のないバラマキはやめて下さい。コンパへの助成や、払う必要のない補助金など（例えば、ちょけらまいとか）。</p>
<p>・少子高齢化と人口減少を踏まえた町づくり検討が重要。過剰、過大サービス、施設設置、整備等の抑制が必要でないか。</p>
<p>・地域の現状と将来志向を具体化し、自然、伝統、文化（山林）等の先に立った、最小の経営で、効率的な経営を望みます。</p>
<p>・将来に向け、若者、子ども達の事を考え、負担の先送りをしない。</p>
<p>・実現可能な計画を（将来の人口減、財政力に見合ったもの）。</p>
<p>・税制について、あまり詳しくありませんが、国税に対してですが、以前九州に少し住んでいました。高山に引越してから、いかに温暖な地はお金（生活費）がかからないかに気付きました。寒冷地は、スタットレスタイヤから始まり、防寒具服、暖房器具（ストーブ等）雪よけ等、全てに関してお金も労働も要します。そこで提案です。寒冷地に対して税を軽くすべきです。その事により、高山にも定着者が増えるのでは？と強く感じております。</p>
<p>・次の世代に「ツケ」を残さない高山市。</p>
<p>・すぐに、補助金や助成金に結び付けるのは、いかがなものかと思う場合もあります。</p>
<p>・旧町村地域の行政窓口として、支所は残してほしい。</p>
<p>・ムダなことにお金を使わず、高齢者や子どものお金に使ってください。</p>
<p>・第七次総合計画に基づいた町づくりを継続してほしい。</p>
<p>・将来に向けて、何をどうすればよいか、ポイントをしばって考えてはどうか。飛騨には、お宝が（人、自然、伝統、文化など）たくさんあります。気付いていないものにも目をむけて、それを活かした策で活気ある飛騨を目指してほしい。他の市町村との連携も大切にしてほしい。</p>
<p>・建設関係の仕事をしています。業者登録をしていないと（面倒すぎる）市の仕事に参加できない。もっと簡単に参加できる方法にしてほしい。いつも同じ業者が、市の仕事をしている！！</p>
<p>・補助金や助成金の申請書類の作成が難しい。普段、パソコンやデスクワークをしている方なら、まだ対応できることもあるが、手書きで記入するのにも大変な労力を必要とする。家族が、町内会から出す要望書を作成するために、パソコンやプリンター、デジカメ等を自分で購入して、多額のお金を使って書類を作っている。手書きでもいいと言われるが、実際、パソコン等を使わないと出来ない事がある。公費を使う事だから、色々書類が必要なのは理解できる。だが、少しでも負担が減るような方法に出来ませんか。個人の利になる事は進んでできるかもしれませんが、特に町内活動についてまわる事務的な部分（市役所関係）の負担が大きく苦しい。</p>
<p>・支所、市役所の職員の各書類の手続き、対応が悪すぎる。</p>
<p>・名古屋市長の様な議員報酬カットのような思い切った税制改革に市民の賛成は大きい。</p>
<p>・出費の抑制、職員給与の抑制、減額、市会議員報酬の減額、箱物予算抑制他、見直すべきこと 多々あり。</p>
<p>・若者が高山の行政、教育に携わりたいと思える公務員の職場環境、給与保証を求めたい。国の基準に合わせるのではなく、働きに対する給与を考えて欲しい。</p>
<p>・市職員の育成。特に福祉、保健（医療）に関しては、人により知識、態度の差あり、不満である。</p>
<p>・行政も頑張っているとは思うけど、まだ昔の考えでいる所もかなり多いと思う。冬の灯油手当などありえないし、ボーナス、退職金も高すぎる。議員の頑張っている方もいるが、人数ももう少し減らしてしっかりやってほしい。</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政コストの縮減も重要ですが、市職員個人への負担が増えるだけだと市の行政運営の質が低下し、結果的に、市民負担も増えると思う。メリハリをつけ、捨てる所は思い切って捨てるという選択も必要になるのでは。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市の職員が積極的に取り組んでほしい。町内要望を出しても、なかなか実施できない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市役所の職員の皆さん方は、前に比べて、親切な人が増えました。とても感じがいいので、続けてほしいと思います。いつも市民の為に尽くして下さいありがとうございます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市の職員の働くという意識レベルがまちまち。一生懸命市民のために働いている方も、もちろん多いと思いますが、「その意識、生ぬるくない!？」と感じる方も。民間会社との意識の違いは、やはり公務員ですね。特に、合併後、旧高山市の職員と新高山市の職員とでは、けっこう差があるのでは？</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市職員の人材育成（対応の悪さ）。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市職員の採用従業者が多過ぎるのでは！！</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在でも、夫婦又親子等で、市役所で働いて見える方がいるのでしょうか？大学を出ても、高山市役所での求人が少ない為、高山に帰れない出身者がいると聞きました。人口が増えないと、活気のあるまちづくりは出来ないと思います。一家族に市役所公務員は一人にして下さい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行革も大切だと思いますが、必要な所に必要な人材の配置をお願いしたい！！</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市職員のレベルアップ（各部門（分野）の専門職員の育成と継続性を）。異動する場合、個人の特徴を活かし、かつ業務のレベルアップになるような異動を。初めての部署で、いきなり専門的な業務を遂行する事は困難。資格のある職員の育成（資格試験の推奨）。各グループごと（各職場ごと）にミーティングし、業務の進行管理と情報の共有が少ない。（隣の局員の業務に無関心なように感じられる）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高山市は、職員の削減を必死になってみえますが、私は公務員は必要であり、まちづくりや防災に関しても、ある程度的人员は必要です。その為にも、これ以上の削減には反対であるし、給与も下げるべきではないと思います。雇用の場の確保の為にも、公務員は必要であると考えます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市職員の削減の強力推進。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選挙の時だけ、「お願いします」ではなく、広い高山市内をよく見て頂いて、これからの高山市の町づくりに、議員さんは、目、耳を向けてほしいと常に思っています。私達市民も努力しますのでよろしくお願いします。</li> </ul>
<p><b>その他</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 賃金に対して物価が高い。（常用日用品、水道、光熱費、ガソリン、食料品）居住定着には、都会化（地下鉄、複合施設、大型店参入）を。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高山市も変わったなあ～と実感出来るような行政をお願いしたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高山市は、川もきれいだし、何処に行っても、あまりごみ等もないし、人情もやさしいし、空気もきれいだし、今の私は、言いたいことは何もありません。どうか、高山市が、今のままで続いていきますよう祈っています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大名田町、高山町の合併の歌を、皆で声を合わせて唱った昔の事です。高山は住みよい町でしたので、今後も、より良い町、暮らしよい町として下さい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これからの将来は、「やさしい人」の時代が、必ず来ると信じています。今、その時代が来る兆しがあると思います。そういう町づくりが、必ず良い町に導く近道だと思います。</li> </ul>

<p>・日本全体から見た市政づくり、積極的な被災地支援、自分の町だけを良くすることに片寄らない意識こそが素晴らしい人材育成のカギ、人が地域を作り育てているということを常に念頭に置くことが必要である。</p>
<p>・83才の老母ですが、現在の生活に満足しております。不安のない生活に感謝しています。有難うございます。</p>
<p>・子どもや女性が、もっと住みやすい街にしてほしい。</p>
<p>・高山は、日本に残された数少ない自然景観、文化を現在に伝えている魅力ある町です。その大切さに住民が気が付かないまま個人の自由の名の下に失われていく事に心を傷めております。次の世代に高山の良さを熟成させて伝えていく為には、市民自らの意識を変え、行政が後押ししていく努力なしには出来ません。お金をかければ良くなるものではありません。お金をかけない方が良いこともあります。</p>
<p>・若者が定住できる夢のある高山市となるような施策が欲しい。</p>
<p>・とにかく、夜に人がたくさん出るようにして下さい。高山を活性化するにはそうしたらいいんでしょうね。お酒が飲みたくなるようなイベントたくさんしてほしいです。今までやっているイベントは家族で来て、家族で帰ってしまうものです。夜のお店は余計に静かです。後は、とにかく緑あふれる町づくりめざして、応援しています。</p>
<p>・平和で住みよい町、ついの住み家として安住できる町。</p>
<p>・我が家は、老夫婦だけの世帯で、子どもや孫は東京に居てこちらに帰って来る予定はありません。現在の住み良い高山に満足しております。高山市がそう発展しなくても現状に満足しております。</p>
<p>・ケーブルテレビを見ていると、市長の一生懸命さが伝わってくる。高山市が明るく感じられる。その明るさが、すみずみまで行きわたり、高山市が元気になればいい。</p>
<p>・高齢者には暮らしよい町です。あまり町づくりは急がないで今のままの高山であってほしい。(自然で静かな高山であってほしい)</p>
<p>・通学の為、県外へ出て、高山の良さや魅力に気づくようなまちであってほしい。</p>
<p>・他の地域に無い自然と伝統文化の残っているすばらしい町だと思います。他の地域の様に、都市部の真似をした特色の無い街づくりではなく、高山市の個性を活かした街づくりを期待しております。</p>
<p>・齢を重ねるごとに世間とのかかわりがわずわらしくなります。寝たきり、認知症などにならぬため、個人的には、わずらわしいながら、体操(市)、長寿会等に参加して居ります。時折、街歩きをしますと、空き店舗の多さにも驚きます。高山市全体が老化しない様、望むものです。</p>
<p>・旧市街地と合併前の町村とが、うまく同一条件でのまちづくりが出来る事を願います。</p>
<p>・心ある高山、作りましょう。</p>
<p>・少子高齢化の進行の中、やはり、若者が定着できるまちづくり、組織づくりが大切だと思います。</p>
<p>・私達の過ごした時代は、まあ色々ありましたが幸せだったと思います。今後、高山市の将来は、何かと問題も山積みで大変だと思います。今まで、しるして参りましたアンケートの結果により、良い方向に市政が改善して行かれる事を望みます。</p>
<p>・合併後、もうすぐ10年を迎えます。市の一体化、市民感覚も住民に根付いてきて嬉しく思います。</p>

<p>・市長を中心に、明るい住みやすい高山市、世の誇れる美しく伝統ある高山市の為に今後もご活躍下さい。</p>
<p>・高山市は、高山市の良い所をもっと自信を持って伸ばして行けばよいと思います。飛騨牛も古い町並も高山祭りも、それ以外いっぱいあります。こんなに恵まれた市はあまりないと思います。</p>
<p>・若者が、住みたくなるまちづくり、地域づくり、社会づくりが重要である。具体的には、現在高山市で、地域活動を頑張っている若者に「なぜ、よそへ出ていかずに、高山にいるのか。」質問してみれば、その答えが見つかるような気がする。このような質問を、私の周りの若者に聞いたことがあるが、「祭りに参加したかったから」「この地域が好きだから」といったことだった。つまり、多少、不便なことがあっても、それを越えるような魅力があれば良いのかと思う。</p>
<p>・市政は、高山市長や市職員に、ほとんど任せるとは思いますが、厳しい将来がまっているのは、100%間違いありません。30年前に、こんな世の中（悪い）になるとは思いませんでした。痛みが伴う改革は必要ですが、弱者にも配慮していただくとありがたいです。飛騨地区は自死（自殺）率が、全国平均より高いと聞きました。心ある（思いやり）行政であるよう願っています。</p>
<p>・これからの高山市が、日本全国、世界にも親しまれるまちづくりが出来ますように。</p>
<p>・子どもの躰、道徳心など、親が教え育てなければならぬことを若い親に理解してもらうことが大切。行政として、研修会などの機会をもっと増やすべきです。子どもの心は、学校や保育園などでは育たない。親がなすべき最大の仕事です。</p>
<p>・古い町並や、文化など大切にしてほしい。わけのわからない店が増えているのが残念。駅や市内についた時から、高山の良さがわかる町になるといいと思う。R41なども、看板など整理してすっきりさせてほしい。山が美しいのに電線が多すぎる。地中化も検討してほしい。下水道は思った以上に早く整備されありがたいです。しかし、なかなか水洗化しない個人の家もあり、下水を利用しないとペナルティを与えるなどして、環境を守る方向に向けてほしい。市長さんが、市民の声を聞いて下さる機会が増え、本当にありがたい事と思います。今後も高山のためによりしく願います。</p>
<p>・高山市に、特区を設け、今後の課題を解決する方針を打ち出す。特区の具体的なテーマは沢山あります。よろしく。</p>
<p>・良く耳にする医療、子育て、雪などの財政的な問題は、もちろんほかっておいて良い問題ではありませんが、地方行政で解決できる問題とも思えません。地方には、その地方に特化したやり方があっても良いのではと思う時があります。</p>
<p>・既存の十分にポテンシャルの高い地域資本の再評価と、演出で世界に通用するこの地域、それが故に、スケールの大きいコンサルティングが必要不可欠であると思います。個別の事象への対応も大変な業務だとは思いますが、将来に関わる施策の策定には、是非、積極的な取り組みを願います。</p>
<p>・子どもが、学校をでても戻ってこられるような魅力ある地域をつくってください。</p>
<p>・市職員は厳しい財政状況の中、大変だとは思いますが、文化観光都市、高山の水準を下げることなく、まちづくりを進めて頂きたいと思います。</p>
<p>・この素敵な街を、守って欲しいです。大好きな町並み、自然を美しいまま残して欲しいです。</p>
<p>・若者が此の地に残るような行政を。</p>

<p>・高齢化、少子化を最も考慮すべきで、町の発展だとか活性化だとかという言葉よりも、もっと深く考えて発信していくべきだ。例えば、“やさしい町づくり”というような訳の解らない発信はやめてもらいたい。</p>
<p>・他県より嫁いできました。自然に恵まれ、子育てには最適な所だと思います。子育ても終わりに近づき、自分の老後に目を向ける年齢になりました。老後、高山でどのように暮らしていくのでしょうか。車の運転ができ、元気でいられるうちはいいのですが、体が弱ったりしてきたら、どこに楽しみを見い出せるのかと思います。東京の友人が遊びに来た時の印象が、「お年寄りが元気がない街」でした。少し、びっくりしましたが、納得。この調査で、いろんな事業があるのだなあと改めて知りました。でも、ほとんど知らない事ばかりです。高山にずっと住み続けたいと思える魅力あるまちづくり、期待しています。</p>
<p>・今住んでいる地域は、若者が少なく、ますます高齢化が進んでいます。私の子どもは2人とも、都会の大学に行き、そのまま就職し飛騨から出ています。高校卒業しても飛騨には大学がなく、自分の進路を考えた場合、飛騨から遠ざかってしまう流れとなってしまう結果、若者が少なくなり、高齢化が進み地域の活気がなくなっていく感じです。家の跡継ぎ問題や、後継者問題、さらに高齢者の福祉、介護の問題にもつながって行きます。子どもを大切に育て、若者が飛騨で住み続けたい環境づくり、また、飛騨に地方の方が住んでみたい魅力的な地域づくりにさらに努力して行ってほしいです。</p>
<p>・若い世代に「まちづくり」を意識させる為に、高校生の有志にまちかど案内人をさせてはどうでしょうか？英語に興味がある子どもには、外国人と接して、実際に海外に行かずに本物の英語と接するいい機会になります。老人に案内されるより、若人に案内された方が、多少たどたどしくても喜ばれると思いますよ。</p>
<p>・若い人は、結婚、子育てを行い、家族は3世代同居で暮らしていけるまちにしたいです。</p>
<p>・高山市が更に活気ある町になることを応援しています。</p>
<p>・公共施設の充実を目指してほしい。例えば、火葬場や税務署、労基・社保事務所など。</p>
<p>・山々に囲まれた、古い（歴史ある）まち高山という認識を、私自身は抱いています。人にやさしい街とは、便利な街と同義であるのなら、高山の魅力である自然環境の部分がおろそかになってしまうおそれがあります。人にとって便利な事は、動植物にとっては負担となりかねず、動植物を敬うには、人との距離間が重要です。人にも動植物にも負担のない市政（自分でもよく分かりませんが）を期待します。中心部は、商業・文化、周辺は環境保全・・・自然と文化、両方の遺産を共に損なう事のない、市内、市外に誇れる市政を望みます。市民の評価も重要ですが、氏神、仏、先君金森公に恥じる事のない「政」こそ、望むところです。</p>
<p>・未利用資源の活用。</p>
<p>・観光地として車のマナー、ペットの飼い主のマナー、煙草のマナーを徹底してほしい。</p>
<p>・新しい事で良くするのではなく、今ある物で継続して行うことが大事な気がします</p>
<p>・老人に目が行きがちですが、若い世代（10、20代）の人達が、高山にいて楽しい住みやすい地域づくりも進めてほしいです。若い人達で活性化しなければ、高山は発展しない。若者の意見も尊重すべき。</p>
<p>・今のままでいいのでは。</p>
<p>・素晴らしい自然と温かい心の人達が多いが、高齢化が進み伝統的な行事等、人数不足で将来が心配。若者が、田舎で頑張れるよう寛大なサポートを宜しくお願いします。</p>

<p>・もっと若い人の声を聞いて、活かして行ってほしい。これから何が求められるか。環境、子育て、アレルギーなどもっと考えて欲しい。</p>
<p>・もっと、市民一人一人の“強み”を活かせるような町づくりを。形ばかりで行っているイベントや行事はないか見直しを。</p>
<p>・高齢化している高山市で、若者が住みやすいまちづくり、活気あるまちづくりをしていけるよう考えていかなければならないと思います。</p>
<p>・必要な補修などに使うべき。</p>
<p>・皆が高山への「誇り」・「愛着」を持てるようになると良いです。他の地域の人達から「良いまち」と言ってもらえるが、住んでいる人も「良さ」を感じているようになりますように！どうかよろしくお願いします。</p>
<p>・もっと気軽に、アウトドアスポーツできると（リフト代安く、バス代安くなど）よい。ずっといたいし、都会に住む友人にも「こんな高山のいい所」伝えやすいです。</p>
<p>・他府県から転入して来た人達が、高山は給料（収入）が少ないのに、物価が高いのに、よく生活しているとびっくりしています。特に、家賃、もっと暮らし易い様になるといいです。</p>
<p>・人生皆が我慢をすれば、何事もうまく行く。譲り合いの心を持てば良い。一度、災害を受けたところの人達は、素晴らしい。「苦あれば楽あり」人生見捨てたものではない。現在、人の金を当てにして楽をしようと思っている若者が多い。夢に向かって苦勞をし、実現した時の感動を味わって欲しい。街づくりも人間造りから始まる。</p>
<p>・高山市の今後の発展を願ってやみません。孫達が、夢のある暮らしが出来る様であってほしいものです。</p>
<p>・将来の明るいまちづくりとは、老人も笑顔が要。老人が安心して住める街イコール明るい街。イコール活気づき、若者も思いやりの心が育つ。市民が（誰もが）手をつなぎ合え、支え合える活気あふれる高山市を望みます！</p>
<p>・定住しない者にとって、最初から相手にされていない感じがする。もう少し、柔軟に受け入れる雰囲気があっても良いのでは・・・。一歩外側から見た高山市に対する意見にも、耳を貸す余裕があれば、何らかのヒントにもなると思う。</p>
<p>・過疎化が進み田舎程お金もかかります。子ども達も不便さに年々少なくなりました。そのわりに行事（女性部等）が多く役もすぐまわってきます。どうにかなりませんかでしょうか。高山に帰って来ても仕事がないからとさみしいかぎりですが、これが現実です。限界集落になり老人だけで住んでいる所が半分以上です。</p>
<p>・現状を推進して下さい。</p>
<p>・高山市が日本で一番住みやすく、誇れる街であることが続くように願っています。</p>
<p>・子どもばかり目を向けないで、独身者は多いし、単身世帯の事も政策を考えてほしい。</p>
<p>・今後、益々高山市を住み良い日本一高山市にして頂く様お願いします。</p>
<p>・市でやる親子参加行事は、土曜日が多すぎます。仕事をしているので、いいなと思っても、なかなか参加できません。そんな親さんは沢山いると思います。親子で参加は、特に日曜日にやってくれる方が参加しやすいです。</p>
<p>・町づくりも大事だと思います。将来、皆が住みやすい高山にしてほしいです。</p>
<p>・高山市に住んで良かったと、皆が思えるような町づくりをお願いします。</p>

<p>・私事ですが、散歩に出かけて感じた事ですが、アリーナ周辺には木製の立派なベンチが置かれてあり、観光客や高齢の方々が体を休めておられ、私も利用させてもらっています。このベンチは一年中放置されていて、特に冬の長い高山では雪にかぶったままで、折角作ったベンチも傷みが早く来る事になり、せめて冬の間だけでも、軒先に保管するなど大切に出来ないのでしょうか。残念に思います。</p>
<p>・一人暮らしの人が、孤独にならない様（隣、近所との交流がなくなってきたので）行政が介入しなければいけない時代になってきたと思います。（自殺などを防ぐため）</p>
<p>・高山市は、市民の夢、企業の声を出せるだけひろって頂いていると思います。今後も高山市として出来る事、高山市と市民で出来る事、高山市と地域企業で出来る事をお互いが考え、今すぐに出来る事は、すぐやりたい。今すぐに出来なくても長期的に出来る事、又、金をかけて出来る事などをして、よりよい高山市にしていけたらいいなと自分も思います。自分は他県から移住したものです。こんな熱心な行政はなかなかないと思います。これからも、一緒に頑張っていきましょう。</p>
<p>・もっと若い人の声を聞いて、活かして行ってほしい。これから何が求められるか。環境、子育て、アレルギーなどもっと考えて欲しい。どんな高山にしたいか、どういう町にしていけるか、明確にしてほしい。</p> <p>有機農業をもっと応援してほしい  食育をもっとやってほしい  若者をもっと応援してほしい  ヘリ農薬散布は絶対にやめてほしい  米をもっと作らせてほしい  畑をもっと安く貸してほしい  まきも、もっと安く（補助金）してほしい  アトピーに補助金がほしい  母子手当、低所得者手当、もっと頑張してほしい</p>
<p>・今、一番ネックになり、気がかりになっている事は、身近な問題ですが結婚の事です。このままですと、いろいろ社会問題にかかわって来ます。外国からのお嫁さんが嫁いで来て下さっていますが、お金の争いで大変な思いをされていたり、それぞれに苦しんでいらしゃって・・・みえるとか。日本もアメリカ合衆国みたいになってしまうのでは・・・？</p>
<p>・高山は観光都市ですが、まずは、生活している暮らしのことを一番に考えるべきだと思う。</p>
<p>・今日まで、観光による施策が多いが、高速道路の開通により、今後、高山市の観光客は増えても、お金は落ちないと思います。観光のみに頼らず、生き抜く高山市政にしてもらいたいです。</p>
<p>・高山市は、観光都市として重要とは考えますが、観光客、観光業ばかりに目を向けず、観光に携わられていない市民の方が多い事に気付いて下さい。一般市民が遠慮して生活している面が多々あります。</p>
<p>・観光も大切ですが、若い世代の人達が都会へ働きに行かず、永住し安心して生活が出来る高山市に。ここ何十年も人口が増えてない理由、人口が増える事が高山の発展に繋がり、観光にも大いに役立つと考えます。</p>
<p>・観光一辺倒でない町づくりをお願いします。</p>

<p>・具体的に見てみると、高山市のまちづくりについていえば、分野をもう少し絞り込んでやった方が良いと思います。例えば、海外戦略の国際交流などより本当に生活で困っていることを改善してもらわない限り、高山は住みやすい町とはならないのではないのでしょうか。やはり、予算も限られているので、良く考えてもらって本当に高山の人々にとって住みやすいまちをつくってもらいたいと思います。でないと、本当に老後、高齢化社会になってからでは遅いと思います。</p>
<p>・少子高齢化が急速に進んでいる中で、日本一広大な市をどう守り、次の世代に残していくかを、もっと真剣に考えるべきです。なぜ若い人が都市部へ出ていき、帰ってこないのか、せっかく子どもができて、保育園等に預けづらいなど、次世代の為の政策や対策がまったく見えてこない。確かに、収入としての観光は大切であるが、今高山で生活している人の為に、もっとやるべき事は沢山あると思います。高齢者や障がい者、子どもが暮らし易いという事は、皆が生活し易い事であり、その為にも、もっと支所地域での対策を考えなければ、高山の将来は厳しいものになるでしょう。これは、行政だけでなく、私達市民も、しっかりと将来に向けて考え行動する事が大切であると思います。</p>
<p>・高山城の復元と周辺の整備。高山市に住む者として夢と誇りを子ども達から大人まで持っていただけ希望を与えたい。計画的に資金積立を行い、一般からの寄付金等も含め長期的計画で実施したらよい。市のバックボーンとしたい。</p>
<p>・城山の城跡は、あのままではもったいない。月、3回位行きますが、どうしても目につきます。</p>
<p>・城山を復城しよう。飛驒の匠による築城を行い、一年中を通して、観光都市の知名度を上げる（雇用も技術も上がる）。</p>
<p>・高山城を建築する。</p>
<p>・駅⇄国分寺⇄古い町並⇄陣屋といった観光客の流れがあるが、城山公園に（難題であるが）城型施設があればと思う。名古屋城完成木造化に劣らず困難な事案ではあるが、市民に未来や夢を示すのも、政の一環ではないかと思い、冗談まじりに書いてみました。</p>
<p>・若い人にもっと魅力的な町になるように、アトラクションなどがある施設があるといいですね。</p>
<p>・伊勢神宮のおかげ横丁と、「オールウェイズ3丁目の夕日」の映画をミックスした町並みを実現して下さい。</p>
<p>・町並み保存、駅前に昔の蒸気車の回転台などを再現し、ぼっぼ公園の機関車を使う。古き良き日本を再現できる。</p>
<p>・高山の町なみ、雰囲気も大事、資金面も大変かとは思いますが、スポーツ、レジャー施設があまりにも少ない為、若い人達も他県へ・・・ってなってしまうのではと思います。私には、子どもが一人いますが、公園が少ない為、学校まで遊びに行く事が多いです。もっと、公園も増やしてほしいです。年配の方々にとっては、とても住み良い町ですが若者にとっては、物足りない町だと思います。</p>
<p>・若い人達の娯楽施設もあってほしい。</p>
<p>・駅の前に、全国チェーンのカフェを誘致し、富山や福岡の様に新たな観光スポットにしてほしい。（駅西の再開発計画に入れてほしい）です。</p>